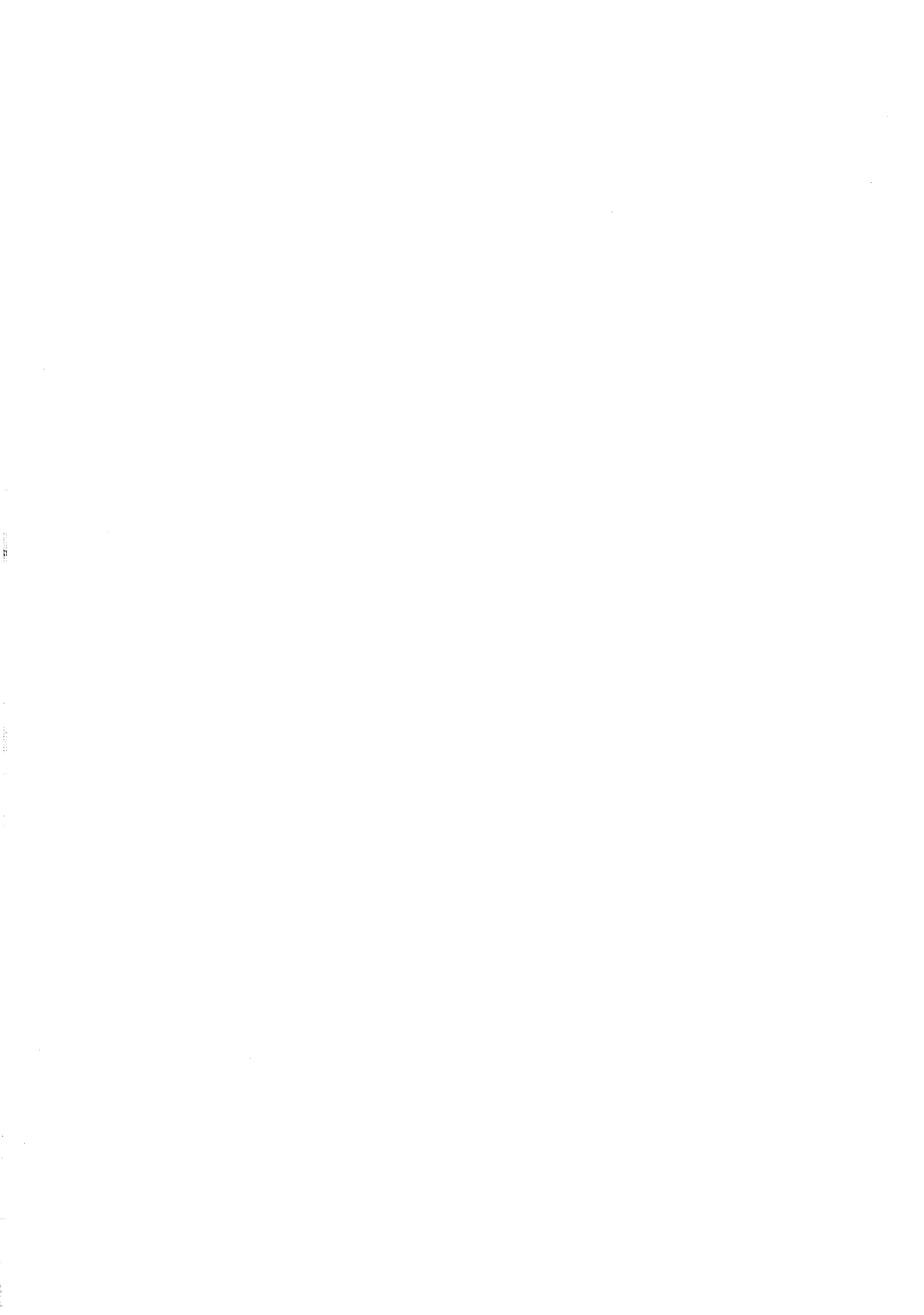
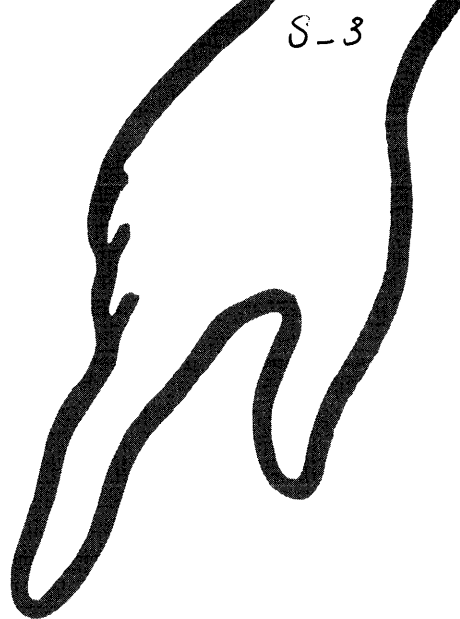


# SÁCH THAM KHẢO

**Mã số : DT-06**

Liên hệ : [vnjpmail@gmail.com](mailto:vnjpmail@gmail.com)





# 絵で導入・絵で練習

Practise with pictures,  
Learn through pictures



著

足	立	章	子
梅	田	康	子
亀	田		仁
齋	藤	伸	子
斉	藤	祐	美
鶴	田		優





## はじめに

初級の文型の指導では、導入が大切です。でも、「導入には絵を使いたい。でも、絵を描くのは苦手」「自分で描いてもいいけれど、忙しくてとてもできない」などと考えている方が多いのではないのでしょうか。

また、初級の授業では、導入後に定着をはかるための練習も大切です。ここでは、導入でつかんだイメージをこわさず、無理のない流れを作りたいものです。しかし、基本的な例文をたくさん考えるのは時間のかかる作業ですし、どのような順番で定着させていけばいいのかわからない、という悩みを抱える方もいらっしゃるでしょう。導入に続き、もう少し絵を使って練習したいけれど、どんな順番でどのくらい準備すればよいのか迷う方もいらっしゃるでしょう。

『絵で導入・絵で練習』は、そんなとき活用していただきたい教材です。本書には、文型をわかりやすく表した「導入のための絵」と「練習のための絵」が、コピーしてすぐに使える形で掲載されています。絵は全部で650点。しかも、絵の入ったCD-ROM付きですので、加工してオリジナルの教材を作成するのも簡単です。宿題や書く練習には、巻末の練習シートも便利です。

また、文型ごとの【導入例】と絵に対応した【例文】は、導入から練習まで絵を十分に活用した授業の組み立てに活用できます。

本書で扱う文型は、初級文型65です。メインテキストがある場合でも使いやすいように、文型は、広く使われている一般的な日本語教科書に対応したものが選ばれています。

本書は、経験の浅い日本語教師の方やボランティアで教えている方、海外で日本語を教えている方はもちろん、毎日忙しいベテラン教師の方にも、便利に使っていただけたらと思います。

最後に、長い間企画と準備にかかっていた本書が今回ようやく出版の運びとなりましたことは、イラストレーターの方々および、凡人社のご協力の賜物です。ここに筆者一同、感謝の意を表します。

2004年10月

筆者一同

# 本書をお使いになる方へ

本書は、初級日本語の授業における文型の導入と文型練習のために、主に教師や指導者が使用することを目的として作られています。文型の導入とそれに続く基本的な文型練習を視覚的に行いたい方を支援するために、イラストと導入例、基本的な例文を掲載しています。さらに、練習プリント作成のための練習シートも掲載しました。

## 1. 本書の構成

本書は、大きく「イラスト編」と「導入・例文編」の二つに分かれています。

1～65の基本的な文型を扱っており、それぞれの文型ごとに、以下のものが用意されています。

- ① 導入のためのイラスト
- ② 導入の例文
- ③ 導入方法の例（【導入例】）
- ④ 9種類の基本的な例文を表すイラスト
- ⑤ 9種類のイラストに対応した例文（【例文】）

## 2. 本書の使い方

本書には、大きく分けて二つの使い方があります。それは、「導入のための使い方」と、「練習のための使い方」です。どのように使うかは、使用目的とその時々状況に合わせて決めてください。二つを組み合わせることもできます。

なお、付属のCD-ROMは上記どちらの場合にも利用できます。使い方は「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

### 2-1. 導入のために本書を使うとき

各文型ごとに導入のための絵があり、78ページから121ページには各文型の【導入例】をあげています。絵と【導入例】を使って文型を導入します。

ただし、学習者の属性や人数、構成は状況によって異なりますので、【導入例】はあくまでも参考として、状況に合った方法を工夫してください。例えば、【導入例】ではことばを最小限に絞り、学習者に対する文法説明や語彙の説明、板書の方法などは割愛していますが、必要に応じて適宜入れるようにしてください。また、学習者ともっと話をしながら進めたほうがうまくいくと思われる場合は、状況に合わせたやり取りを増やすなどの工夫をしてください。

【導入例】の下にある①は、特に補足説明があるときのマークです。参考にしてください。

## 〈使い方の例 — 導入〉

- ① 導入の絵の大きさを決めます。学習者数や教室の広さなどによって決めてください。
- ② ①で決めた大きさに絵を拡大・縮小コピーします。
- ③ 教案を作ります。
- ④ 実践します。

\* 付属のCD-ROMを利用して、パソコンから直接プリントを作ることができます。詳しくは、「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

以下のような工夫もできます。

- ・【導入例】が学習者や教室の状況に合わないと感じられたときは、【例文】の絵を導入にすることも可能です。
- ・学習者が理解しにくい項目の場合、【導入例】の絵だけではなく【例文】の絵も利用して導入の時間を多めに取ると理解がしやすくなることもあります。
- ・導入の文を提示した後、文型練習に入る前に、学習者の身近な話題を使って似た文を作るのもいいでしょう。

## 2-2. 練習のために本書を使うとき

それぞれの文型ごとに、文型定着のための練習に使う9種類のイラストと、それに対応する例文をあげています。イラストは、9種類が1枚の紙に並べてレイアウトされているので、そのままコピーをとって一度に使うこともできます。

イラストの配列は、基本的には易しいものから難しいものへとなっていますが、例えば品詞によって接続方法が異なる文型の場合など、品詞ごとに配列されていることもありますのでご注意ください。お使いになる前に、9種類のイラストからどれを選んで使うのか、順番はどうするのかなど、例文を参考にしながら十分考えてください。

練習のためのイラストは、作文練習や宿題をはじめ、いろいろな使い方ができます。また、巻末の練習シートを利用すると、プリントを簡単に作ることができます。

## 〈使い方の例 — 教室での作文練習〉

- ① 練習で使う絵を決めます。
- ② 使う絵をコピーします。学習者に配布するプリント用であれば、通常大きさは変えなくても大丈夫でしょう。
- ③ 巻末の練習シートをコピーします。
- ④ ②で作ったコピーと練習シートを一緒にコピーします。
- ⑤ 完成した絵入りの練習シートを学習者分コピーして、配布します。

\* 練習シートは、9種類の絵をそのまま使うときに、特に便利です。

\* 付属のCD-ROMを利用して、パソコンから直接プリントを作ることができます。詳しく

くは、「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

以下のような工夫もできます。

- ・授業中、学習者一人一人に配付して作文練習をします。
- ・宿題として配付します。
- ・絵と例文をばらばらに配列して、例文と絵を合わせる活動（線で結ぶ、選ぶなど）をします。
- ・【例文】の絵を1枚ずつ拡大し、フラッシュカードのようにキューとして使い、口頭練習をします。

このほかにも様々な工夫をすることで、様々な使い方が生まれるでしょう。ぜひ多彩な方法で活用していただきたいと思います。

### 2-3. 【例文】を使う際の注意点

本書後半の「導入・例文編」に載っている例文は、あくまでも「解答例」です。絵だけを見たとき、学習者が想像を膨らませ、例文と異なる文を考える可能性があります。「解答例」とは違う作文を学習者がした際に、作文が絵の場面・状況や文型に対して適切な意味用法である場合は正解としてください。

例文に使われている語彙は、日本語能力試験3級までを目安として、多くの日本語教科書で使われているものを中心に選びました。ただし、シラバス、使用教科書、授業の進捗などによっては、その文型を学習する時点で未習のものがあることが考えられます。その点を十分配慮し、使用する前に必ず例文を確認してください。未習語彙がある場合は、その例文は使用しない、あるいは新出語彙としてその場で示すなどの対処が考えられますので、学習者や授業の状況によってご判断ください。

また、前述のように、項目によっては例文の提出順が文法的な条件などによって決められている場合もありますので、使用の前にこの点も十分ご確認ください。

### 2-4. CD-ROMの使い方

付属のCD-ROMには、テキストに収録されているすべての絵が入っています。テキストをコピーする代わりに、コンピュータを使って直接CD-ROMから絵をプリントアウトすることもできます。ワープロソフトなどでオリジナルシートを作り、それに絵を貼りこむこともできます。

〈基本的な使い方〉

- ① CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れる。
- ② 自動的にソフトが立ち上がります（※注1）。
- ③ CD-ROMの構成は、(1)目次(2)導入の絵(3)練習の絵となっています。目次で見たい項目をクリックすると、そのページに飛ぶことができます。

④ [絵の一覧]：練習の絵9枚を表示します。

[絵の印刷]：表示している絵をA4サイズで印刷します（※注2）。

[絵のコピー]：表示している絵をコンピュータのクリップボードにコピーします。絵を直接クリックしても[絵のコピー]ができます（[絵の一覧]を表示しているときは9枚セットの状態のコピーされます）。コピーした絵は、ワープロソフトなどにペー  
ストすれば、自由にサイズを変更することができます（最大A3サイズまで対応）。

※注1 Macintoshの場合、OS9までは自動起動しますが、パソコンの設定でCD-ROMを自動起動しない設定にしている場合や、OSXの場合は、それぞれフォルダ内の「EDE\_OS9」、「EDE\_OSX」をダブルクリックして起動してください。

Windows Vista®の場合、自動起動しない場合があります。自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」のCDドライブを右クリックし、「開く」を選択してください。

※注2 Macintosh OS9で印刷する場合、1回目のみ用紙サイズ設定ウィンドウが出ます。このときに用紙の縦・横を間違えてしまった場合は、システムフォルダ→初期設定の「PrintOMATIC Preference」をゴミ箱に捨てると、もう一度用紙サイズ設定ウィンドウが出ます。なお、他のソフトから印刷する場合は、そのソフトのご使用方法に従ってください。

・Macintosh は、Apple Inc. の商標です。

・Windows Vista®は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

### 3. 本書ご使用の目安

本書の文型提出順は、一般的な初級の教科書に準じたものとなっています。1番から順に使用しなくてはならないということはなく、学習者の状況や授業の内容によって、必要な個所を選んでご使用ください。どこから使い始めてもかまいません。ただし、初めのほうに出てくる文型には比較的易しい語彙、後のほうに出てくる文型には比較的難しい語彙が使用されています。その点も考慮しながら、ご使用の計画を立てられることをお勧めします。

お使いになる方によって様々な使用方法が可能なことが、本書の特徴の一つです。皆様の工夫とアイデアで、本書を十分にご活用ください。こんな工夫をしてみたという、皆様からの声やご提案もお寄せいただくと、有り難く存じます。

# 目次

## はじめに

## 本書をお使いになる方へ

	イラスト編	導入・ 例文編
1    ~をください .....	12	..... 78
ジュースをください		
2    ~から~まで .....	13	..... 78
学校は9時から3時までです		
3    ~で(手段・道具) .....	14	..... 79
鉛筆で名前を書きます		
4    ~ませんか .....	15	..... 79
コーヒーを飲みませんか		
5    ~ましょう .....	16	..... 80
バスに乗りましょう		
6    もう・まだ .....	17	..... 81
もう名前を書きましたか・いいえ、まだです		
7    ~は~が .....	18	..... 82
私は髪が長いです		
8    ~に~がいる・ある .....	19	..... 82
動物園にライオンがいます		
9    ~がいちばん .....	20	..... 83
メロンがいちばん高いです		
10   ~より~のほうが .....	21	..... 84
バナナよりりんごのほうが高いです		
11   ~たい .....	22	..... 85
ごはんが食べたいです		
12   ~しに .....	23	..... 85
喫茶店へコーヒーを飲みにいきます		
13   ~てください .....	24	..... 86
窓を開けてください		
14   ~ている(進行) .....	25	..... 86
ごはんを食べています		
15   ~てもいい .....	26	..... 87
電話を使ってもいいですか		

16	～てはいけない …………… 27 …… 87 <small>くるま</small> 車をとめてはいけません
17	～て <small>せつぞく</small> (接続) …………… 28 …… 88 <small>かお</small> <small>あは</small> 顔を洗って歯をみがきます
18	～てから …………… 29 …… 89 <small>しゃしん</small> <small>み</small> <small>あ</small> 写真を見てから会います
19	～くて・～で …………… 30 …… 90 このかばんは <small>おお</small> 大きくて <small>くろ</small> 黒いです
20	～ないでください …………… 31 …… 90 <small>じしょ</small> <small>み</small> 辞書を見ないでください
21	～なければならぬ …………… 32 …… 91 5 <small>じ</small> 時に <small>おき</small> 起きなければなりません
22	～なくてもいい …………… 33 …… 91 <small>かさ</small> 傘をささなくてもいいです
23	～るまえに …………… 34 …… 92 ごはんを <small>た</small> 食べるまえに <small>て</small> 手を <small>あら</small> 洗います
24	～たり～たり …………… 35 …… 93 日 <small>にちようび</small> 曜日に <small>せんたく</small> そうじをしたり洗濯をしたりします
25	～くなる・～になる …………… 36 …… 94 <small>かみ</small> <small>なが</small> 髪が長くなります
26	～とき …………… 37 …… 94 ごはんを <small>た</small> 食べる <small>とき</small> 、 <small>つか</small> はしを使います
27	～と <small>いっばんじようけん</small> (一般条件・ <small>はんぷくじようけん</small> 反復条件) …………… 38 …… 95 <small>はる</small> 春になると <small>はな</small> 花が <small>さ</small> 咲きます
28	～たとき …………… 39 …… 95 日本へ <small>にほん</small> 来た <small>とき</small> 、 <small>かんじ</small> 漢字がわかりませんでした
29	あげる・もらう …………… 40 …… 96 <small>はやし</small> <small>やまだ</small> 林さんは山田さんにプレゼントをあげました・ <small>やまだ</small> <small>はやし</small> 山田さんは林さんにプレゼントをもらいました
30	くれる・もらう …………… 41 …… 97 <small>はやし</small> <small>わたし</small> <small>いぬ</small> 林さんは私に犬をくれました・ <small>わたし</small> <small>はやし</small> <small>いぬ</small> 私は林さんに犬をもらいました
31	～てあげる・～てもらう …………… 42 …… 98 <small>はやし</small> <small>うえだ</small> <small>おし</small> 林さんは上田さんにスキーを教えてあげました・ <small>うえだ</small> <small>はやし</small> <small>おし</small> 上田さんは林さんにスキーを教えてもらいました
32	～てくれる・～てもらう …………… 43 …… 99 <small>はやし</small> <small>りょうり</small> <small>つく</small> 林さんは料理を作ってくれました・ <small>はやし</small> <small>りょうり</small> <small>つく</small> 林さんに料理を作ってもらいました

33	～たら (仮定条件) ..... 1 週間、休みがあったら海へ行きます	44	...	100
34	～たら (確定条件・時間) ..... 駅に着いたら新聞を買います	45	...	100
35	～ても ..... お酒を飲んでも酔いません	46	...	101
36	～ことができる・可能 ..... 吉田さんはドイツ語が話せます	47	...	101
37	見える・聞こえる ..... 見えますか・聞こえますか	48	...	102
38	～しか～ない ..... 10円しかありません	49	...	103
39	～ながら ..... 本を読みながら(お)風呂に入ります	50	...	103
40	～ている (習慣) ..... 夜、走っています	51	...	104
41	自動詞・他動詞 ..... ドアが開きます・ドアを開けます	52	...	104
42	～ている (結果) ..... さいふが落ちています	53	...	105
43	～てしまう (後悔) ..... 寝ぼうしてしまいました	54	...	105
44	～てある ..... 名前が書いてあります	55	...	106
45	～ておく ..... (会議のまえに) ごはんを食べておきます	56	...	107
46	～たほうがいい ..... 部屋をそうじしたほうがいいです	57	...	108
47	～かもしれません ..... 病院へ行くかもしれません	58	...	108
48	～たあとで ..... 韓国へ行ったあとで中国へ行きました	59	...	109
49	～ないで～する ..... 寝ないで勉強します	60	...	110
50	～ば (一般条件・仮定条件) ..... 薬を飲めば風邪が治ります	61	...	110



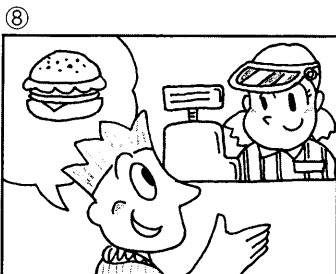
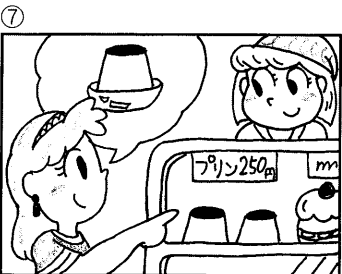
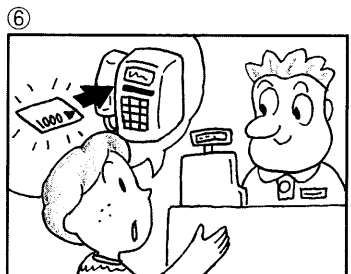
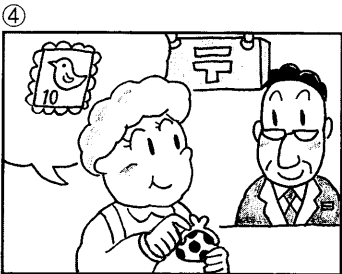
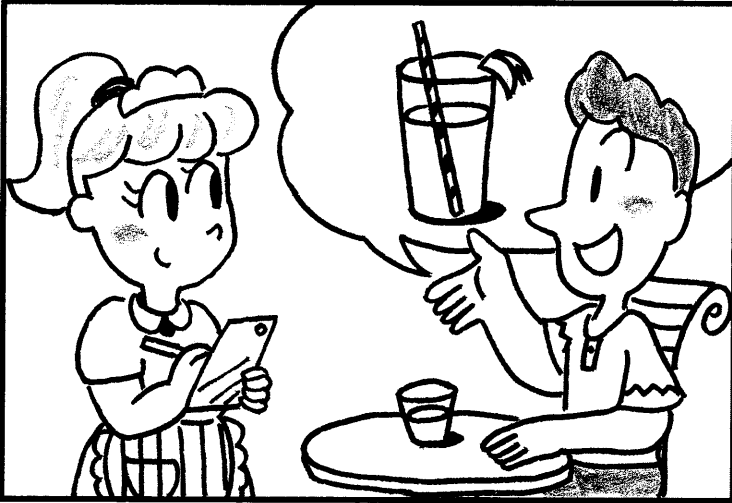
51	～なら (仮定条件) ..... いい天気なら洗濯をします	62	...	111
52	～ようになる ..... 日本語が話せるようになりました	63	...	112
53	受身 (直接) ..... ひろし君はお母さんに呼ばれました	64	...	113
54	受身 (持ち主) ..... えりさんはお母さんにセーターを着られました	65	...	114
55	～で (原因・理由) ..... 風邪で仕事を休みました	66	...	115
56	～てみる ..... 箱を開けてみます	67	...	115
57	さしあげる・いただく ..... 山田さんは部長にワインをさしあげました・ 山田さんは部長に本をいただきました	68	...	116
58	くださる・いただく ..... 部長は私にボールをくださいました・ 私は部長にボールをいただきました	69	...	117
59	～てくる ..... ジュースを買ってきます	70	...	118
60	～すぎる ..... この靴は大きすぎます	71	...	118
61	～くする・～にする ..... 部屋を暖かくします	72	...	119
62	～のに ..... 猫なのにねずみがこわいです	73	...	119
63	～ところだ ..... 靴下をはくところです・靴下をはいているところです・ 靴下をはいたところです	74	...	120
64	～ようだ (状況からの判断) ..... 風邪をひいたようです	75	...	120
65	使役 ..... お母さんはかなさんに本を読ませます	76	...	121

索引	.....	122
----	-------	-----



# 1 ～をください

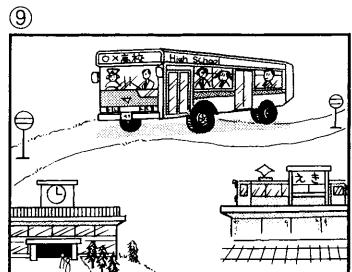
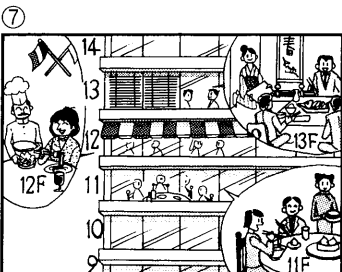
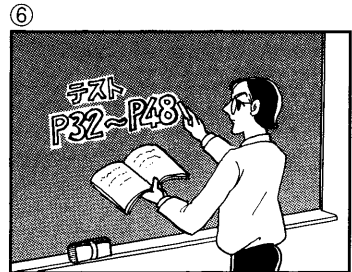
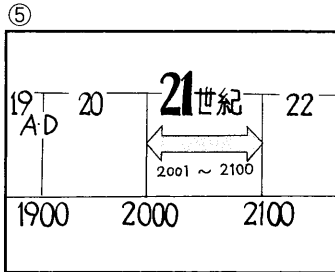
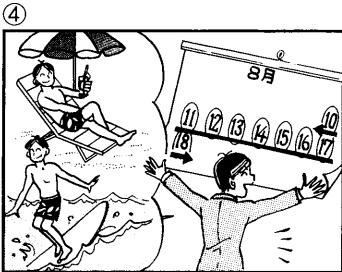
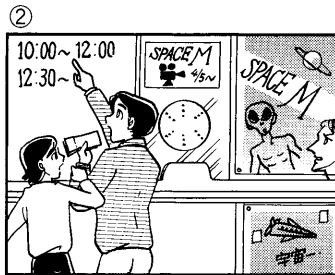
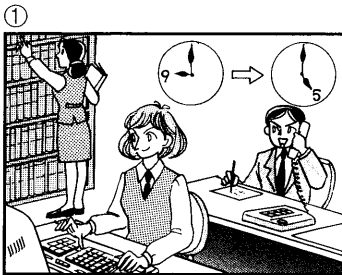
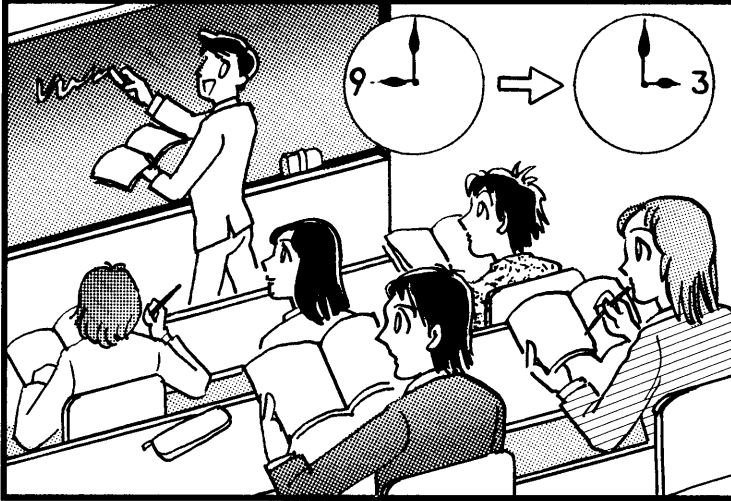
ジュースをください



# イラスト編

## 2 ～から～まで

がっこう じ じ  
学校は9時から3時までです



### 3 ～で (手段・道具)

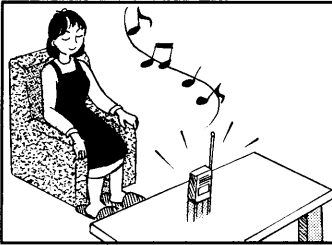
えんぴつ なまえ か  
鉛筆で名前を書きます



①



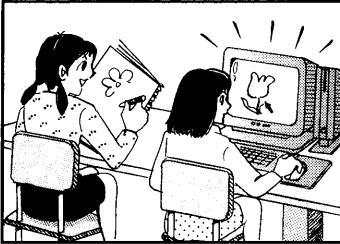
②



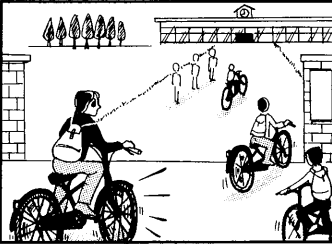
③



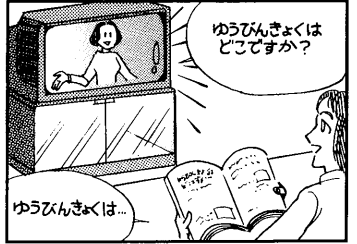
④



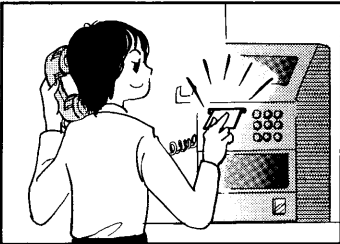
⑤



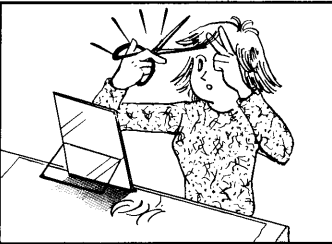
⑥



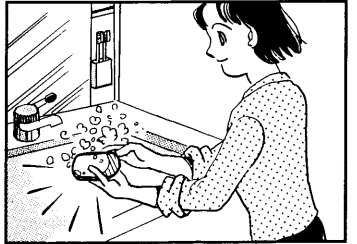
⑦



⑧

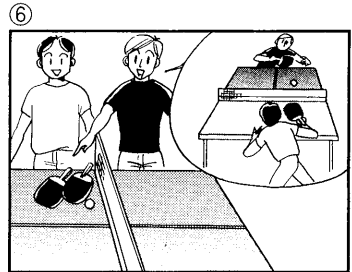
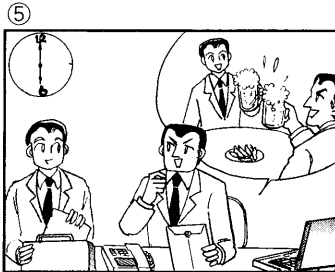
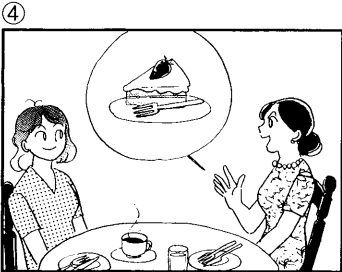
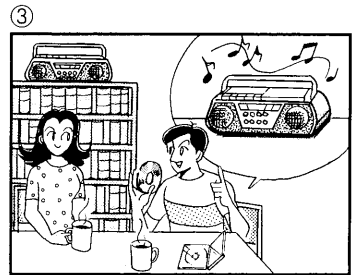
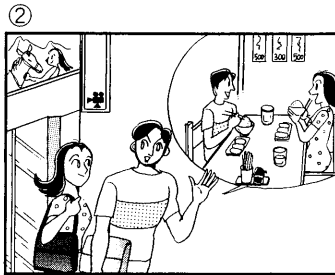
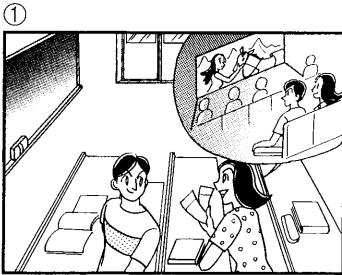
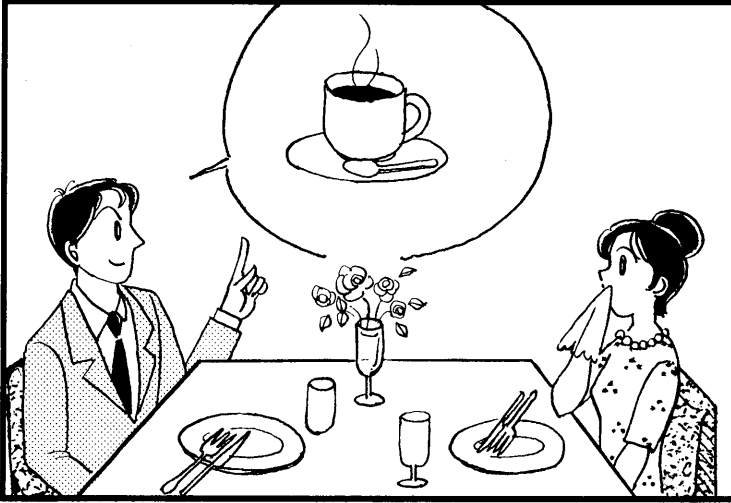


⑨



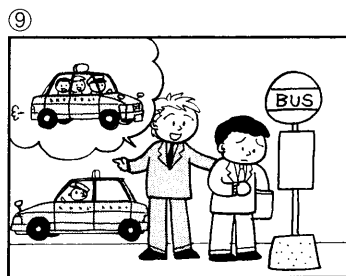
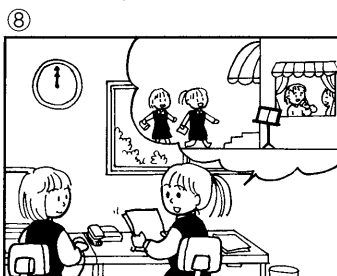
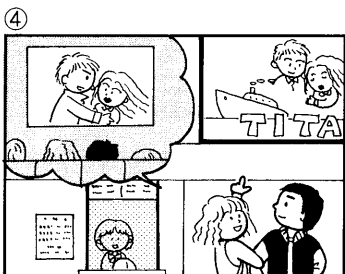
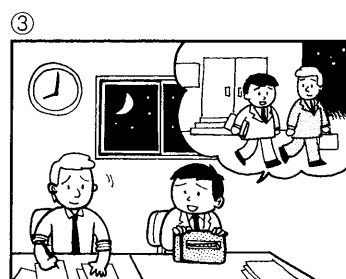
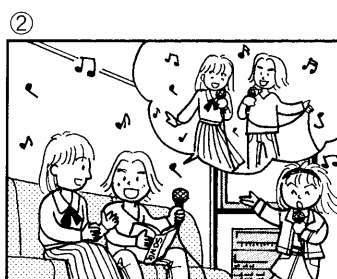
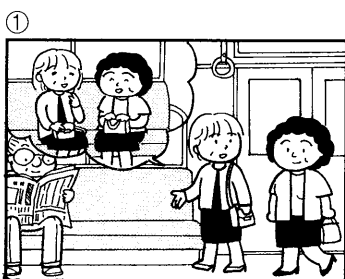
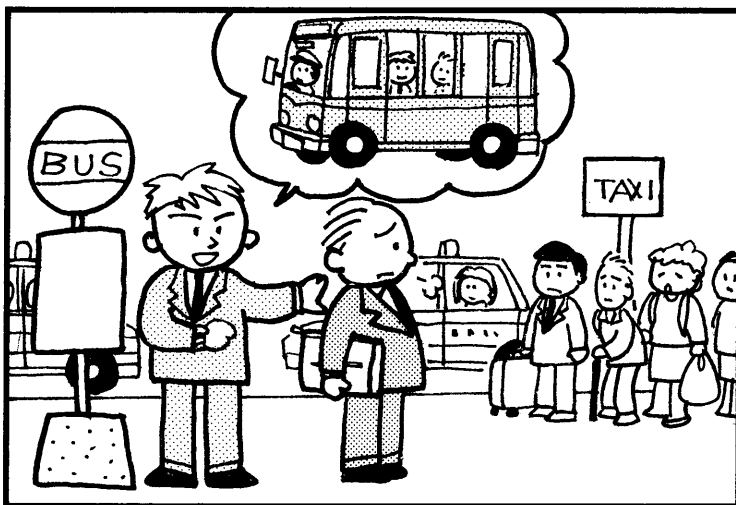
# 4 ～ませんか

の  
コーヒーを飲みませんか



# 5 ～ましょう

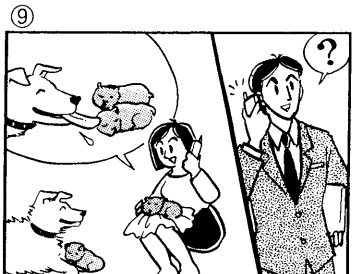
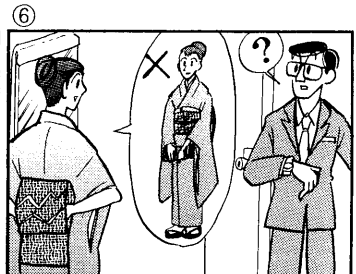
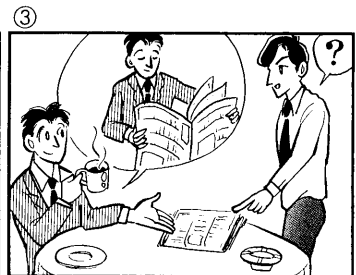
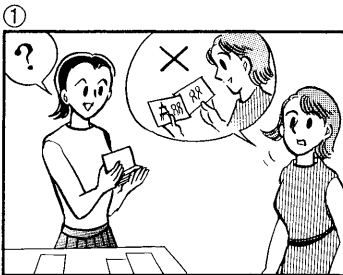
の  
バスに乗りましょう





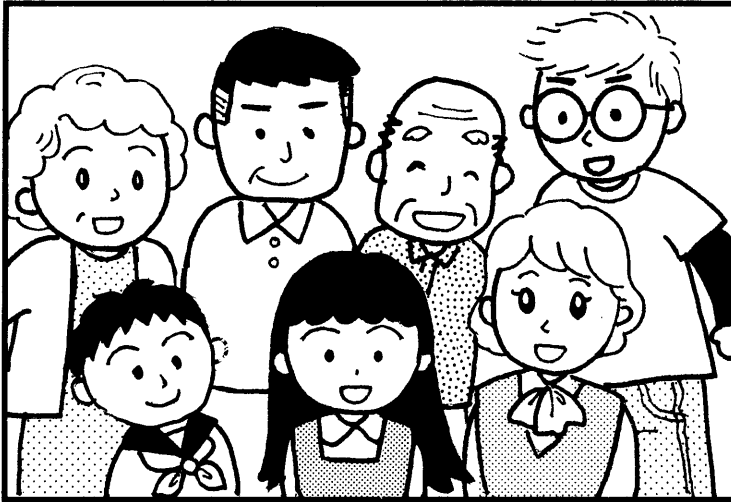
# 6 もう・まだ

もう<sup>なまえ</sup>名前を書きましたか・いいえ、まだです



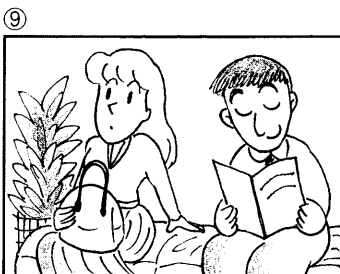
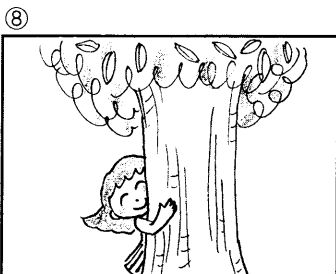
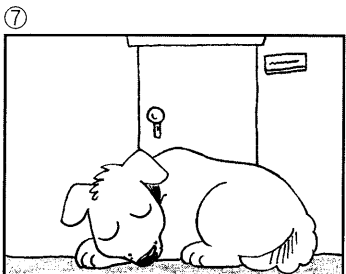
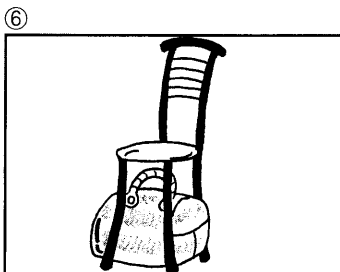
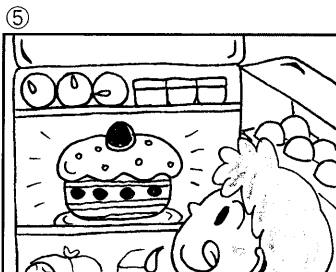
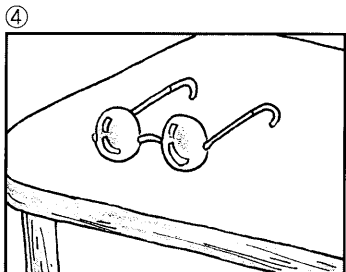
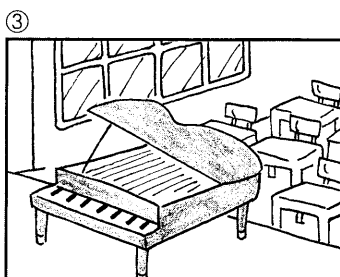
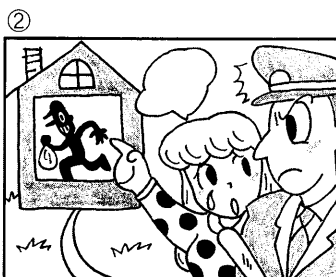
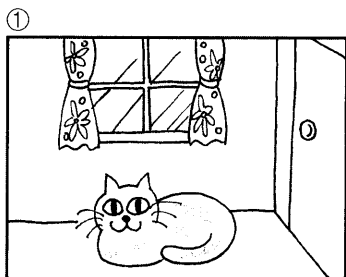
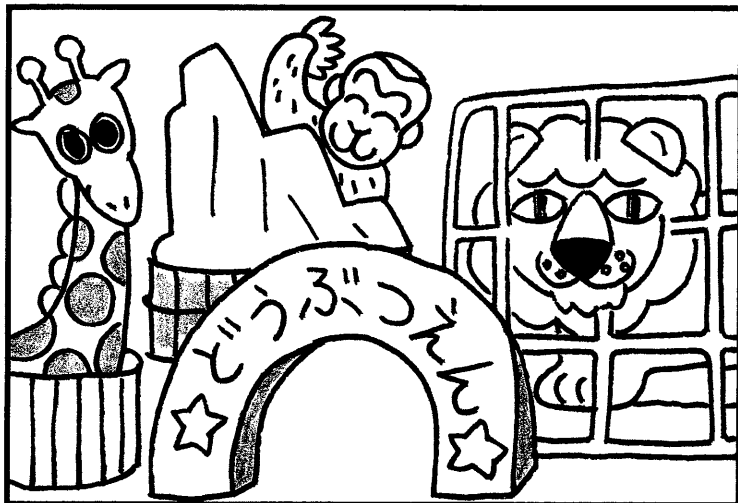
# 7 ～は～が

わたし かみ なが  
私は髪が長いです



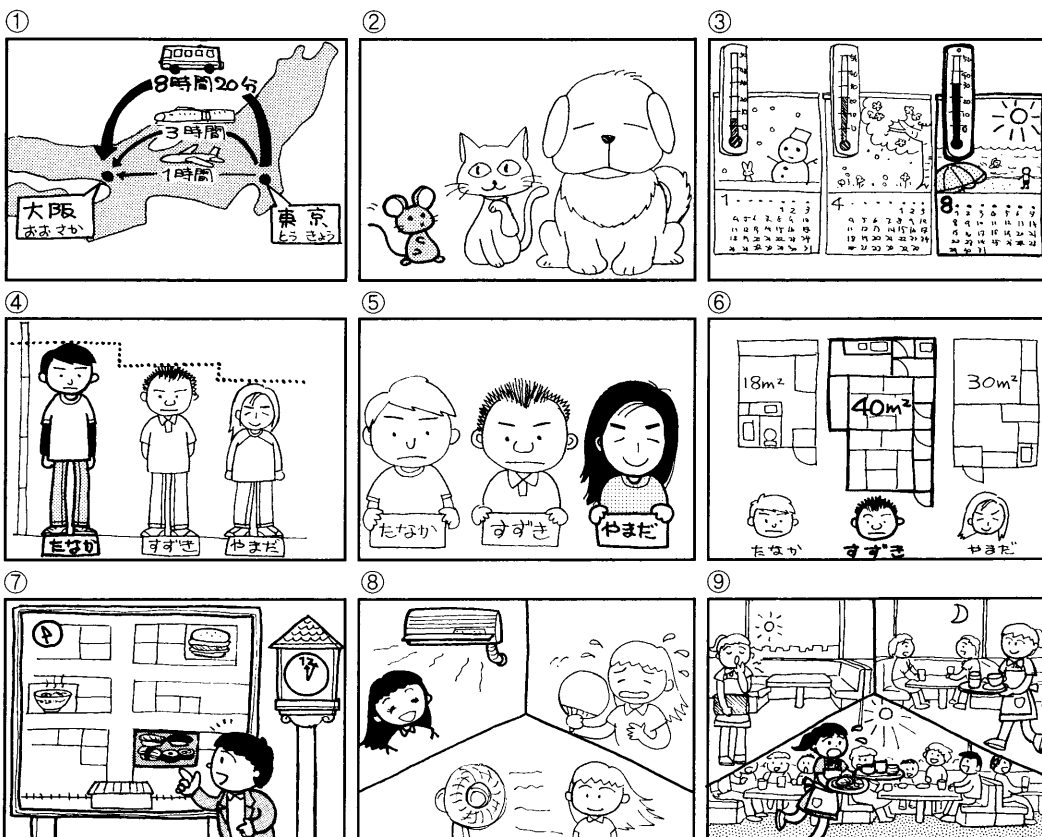
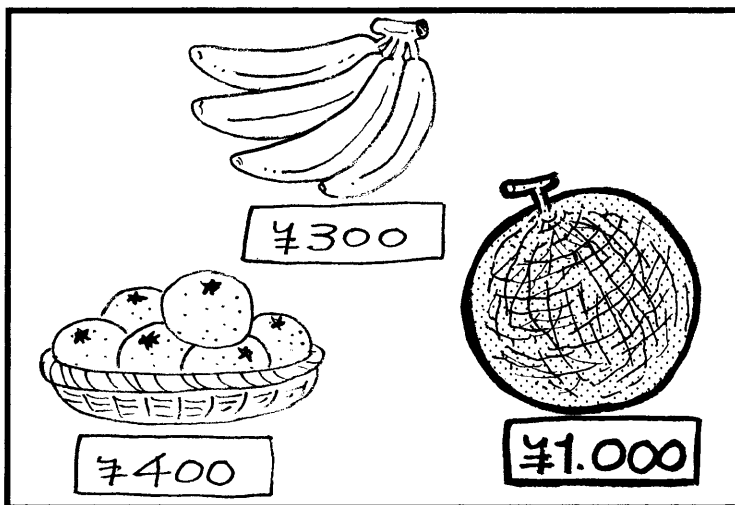
# 8 ～に～がいる・ある

どうぶつえん  
動物園にライオンがいます



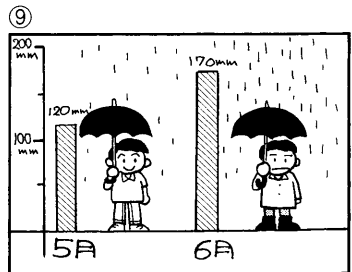
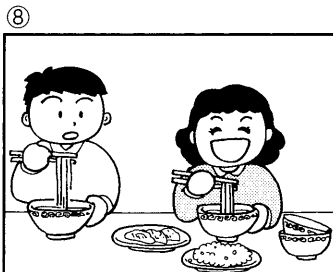
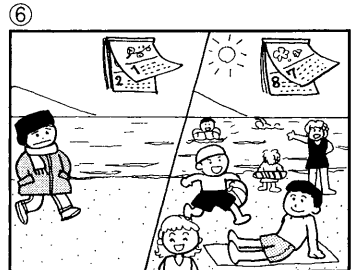
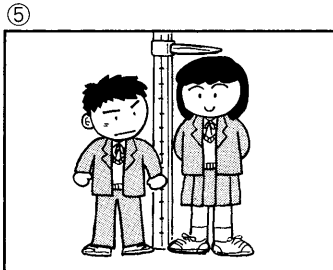
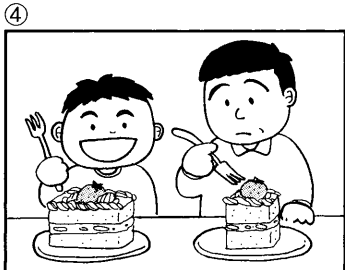
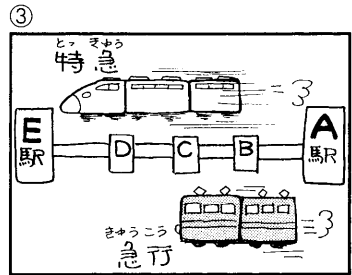
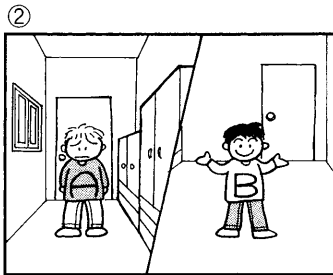
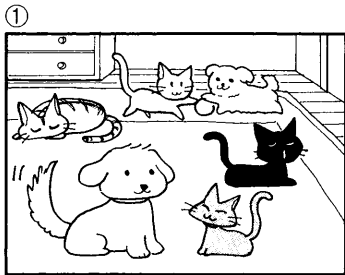
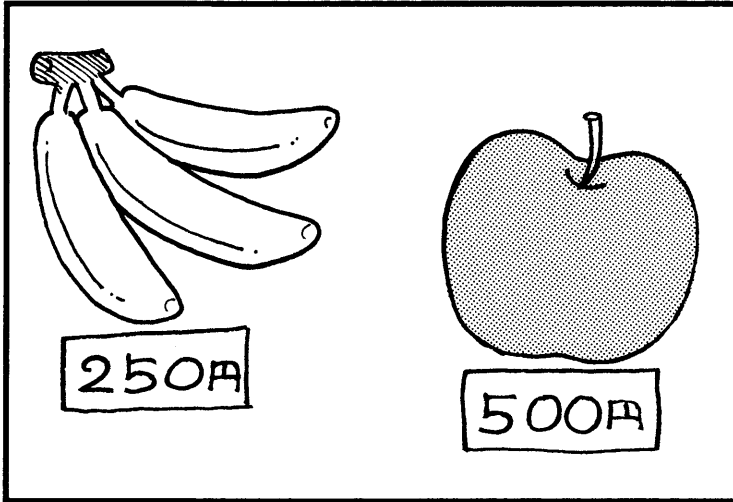
# 9 ～がいちばん

メロンがいちばん<sup>たか</sup>高いです



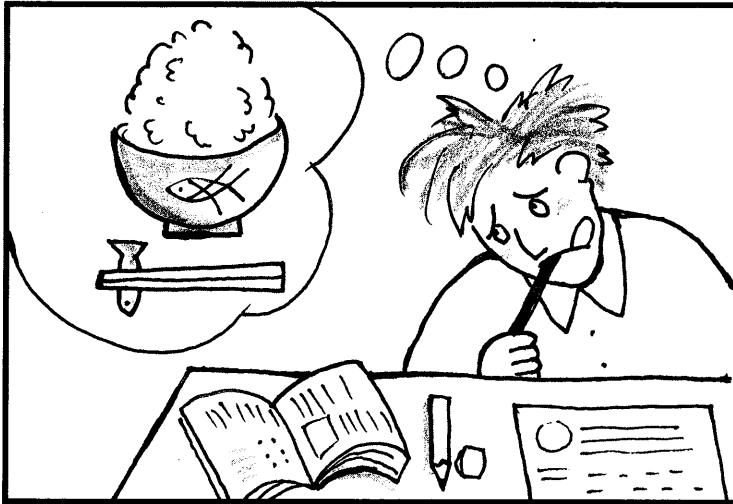
# 10 ～より～のほうが

バナナよりりんごのほうが<sup>たか</sup>高いです



# 11 ～たい

ごはんが<sup>た</sup>食べたいです



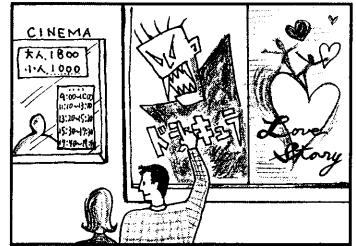
①



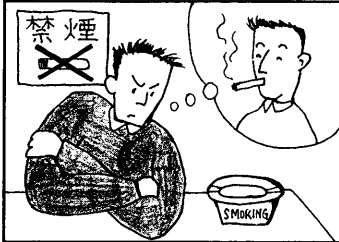
②



③



④



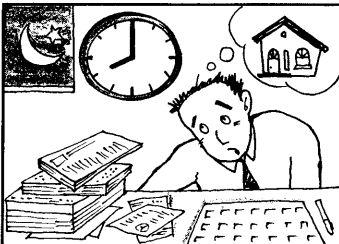
⑤



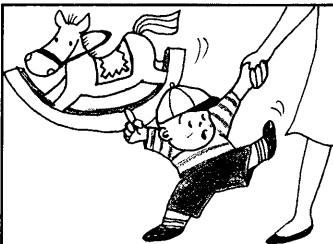
⑥



⑦



⑧

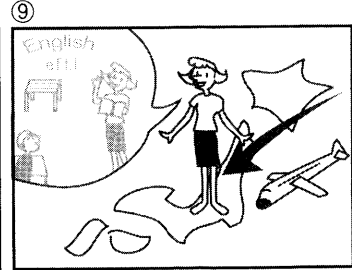
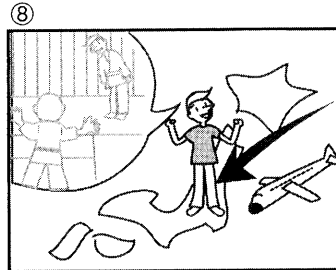
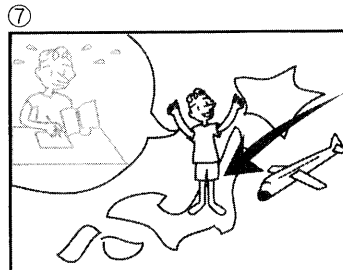
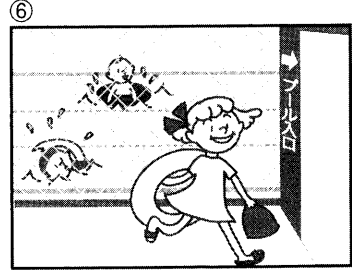
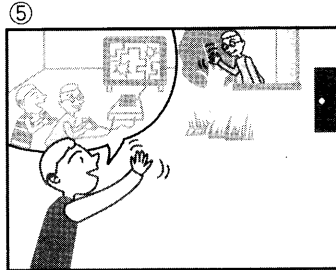
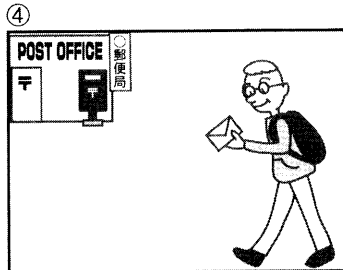
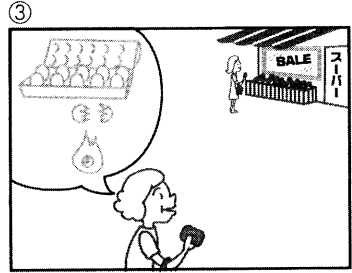
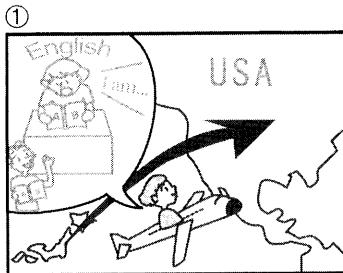


⑨



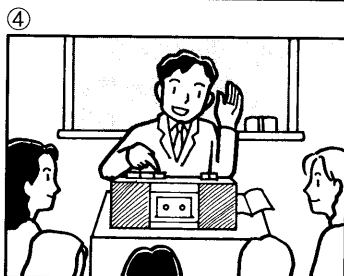
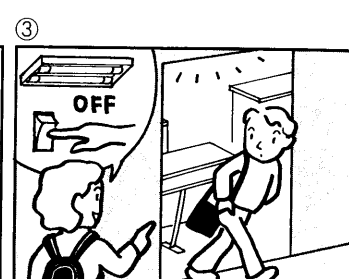
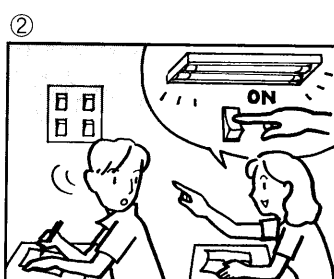
# 12 ～しに

きつさてん  
喫茶店へコーヒーを飲みにいきます



# 13 ～てください

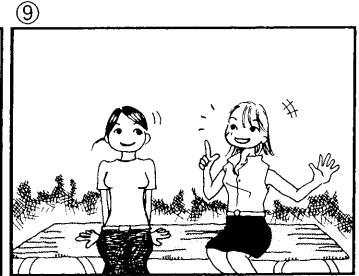
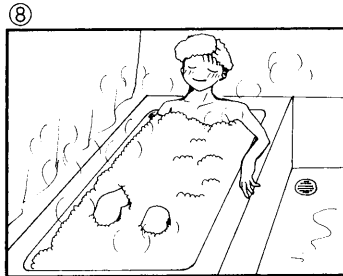
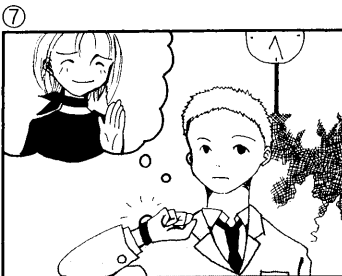
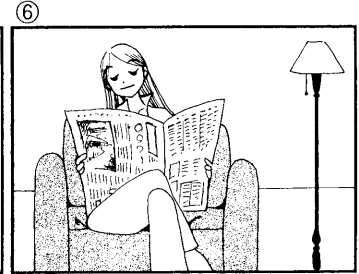
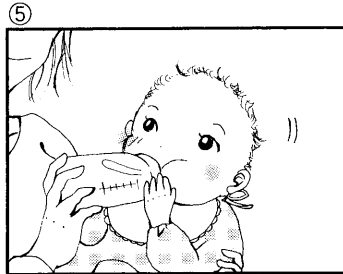
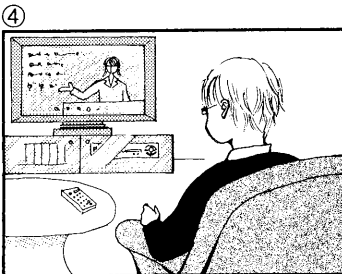
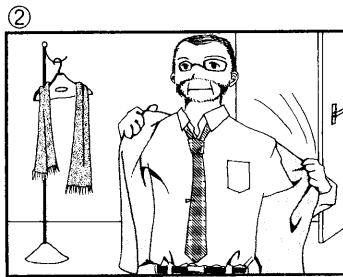
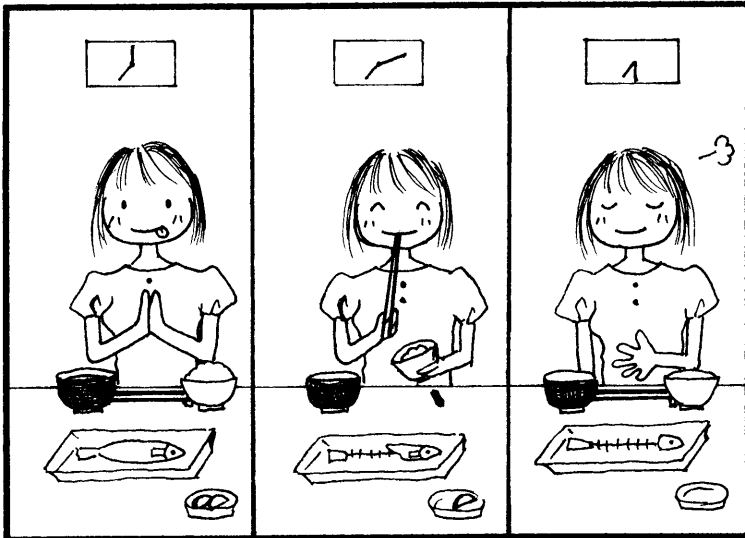
まど あ  
窓を開けてください





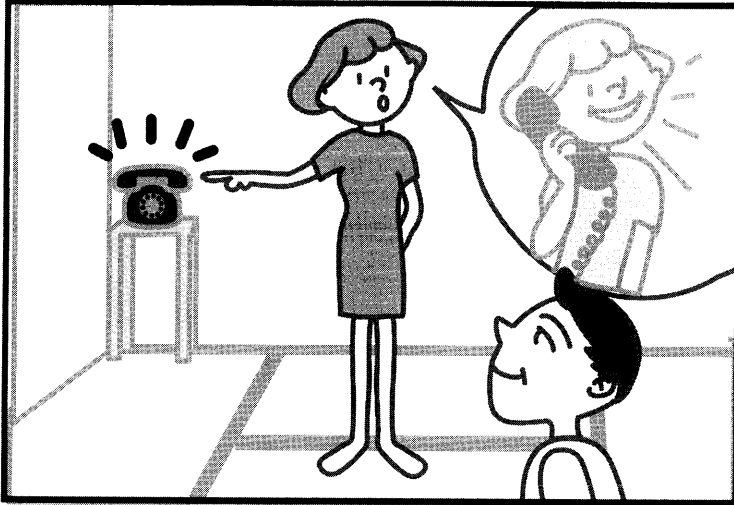
# 14 ~ ている (進行) しんこう

ごはんを食べています



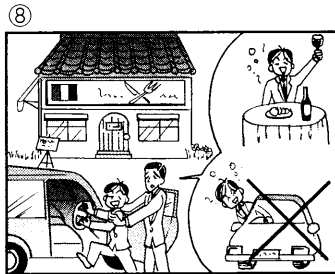
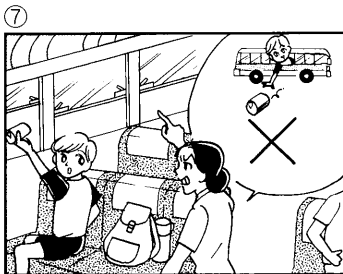
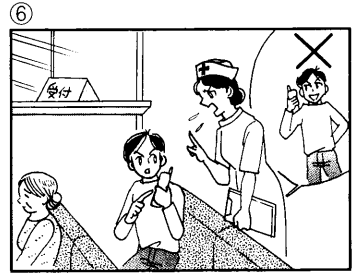
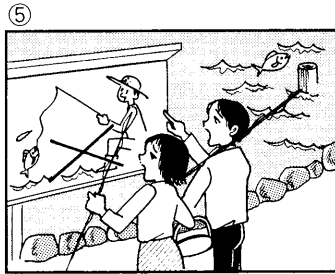
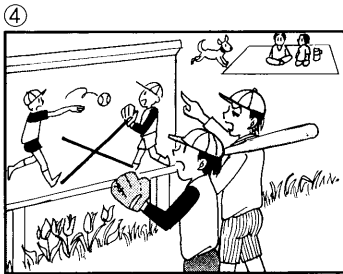
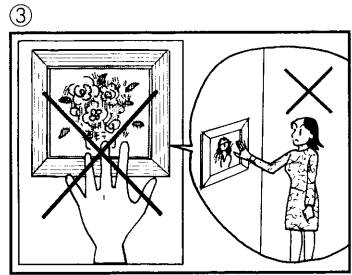
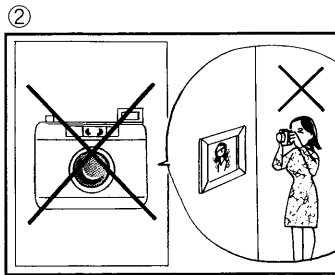
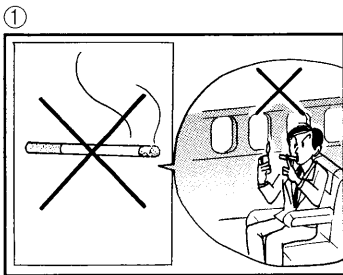
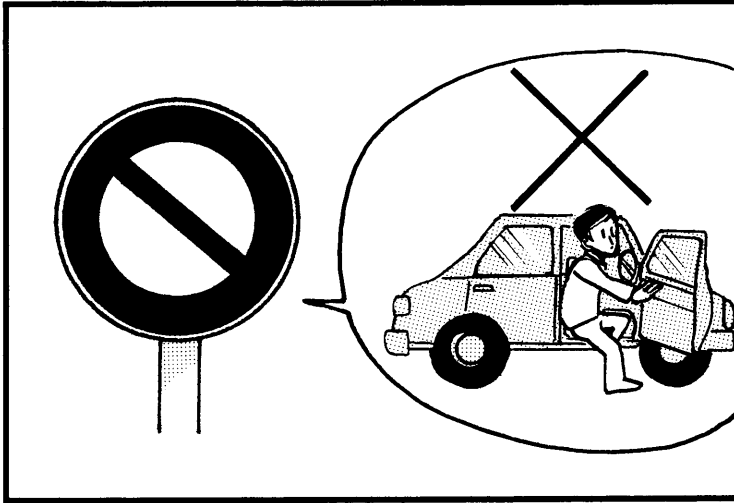
# 15 ～てもいい

でんわ <sup>つか</sup> 電話を使ってもいいですか



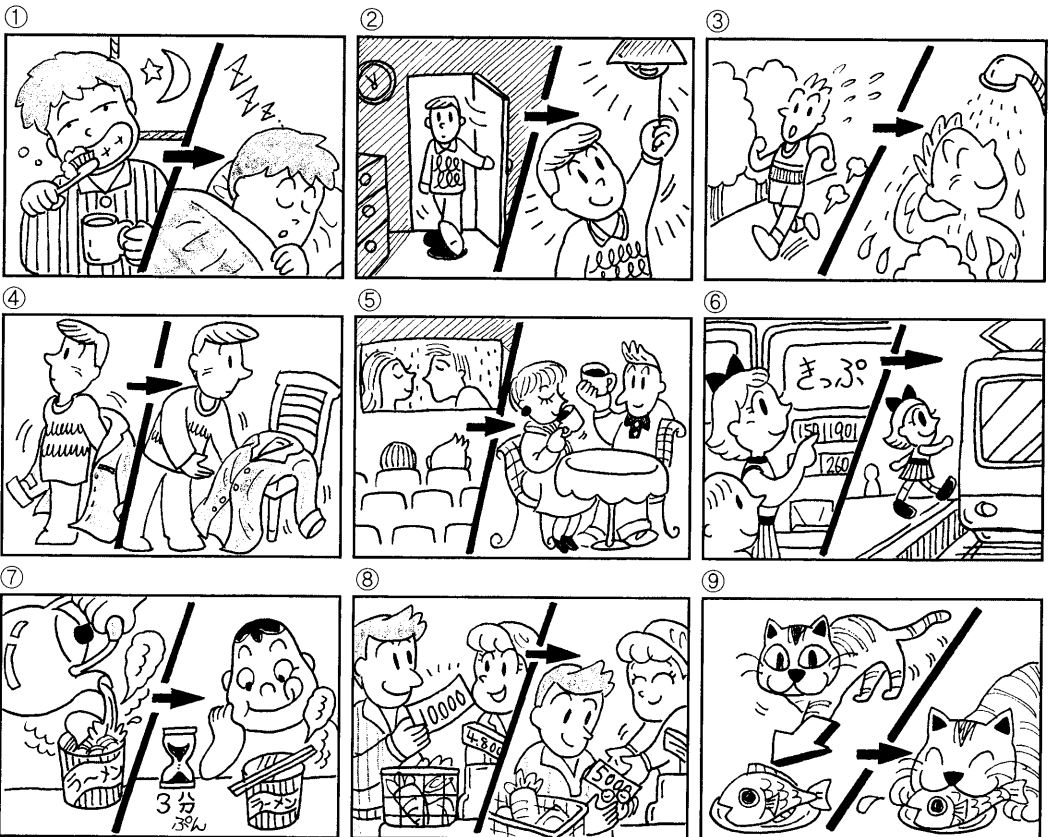
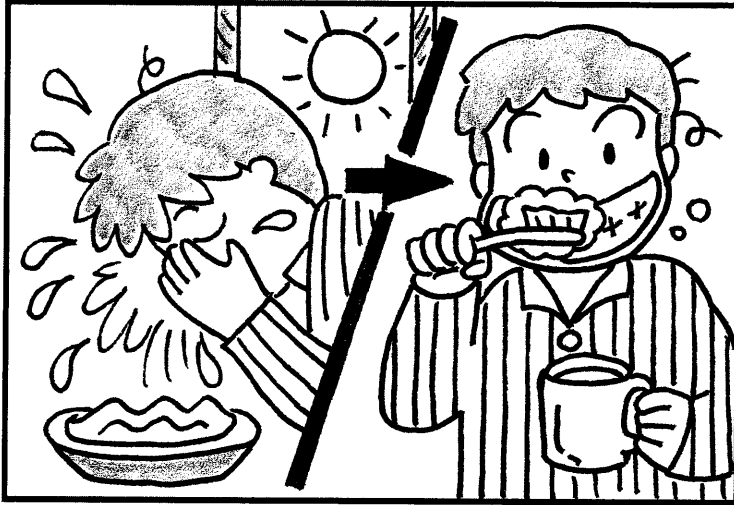
# 16 ～てはいけない

くるまをとめてはいけません



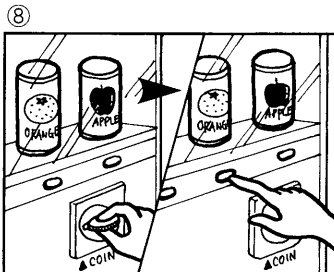
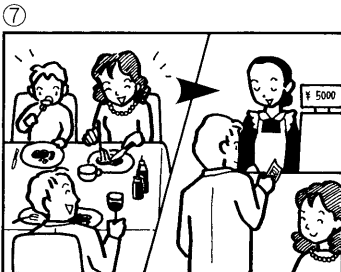
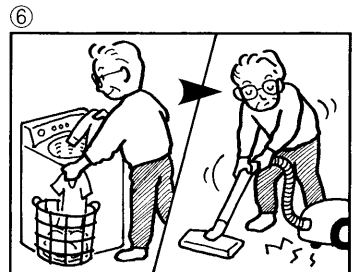
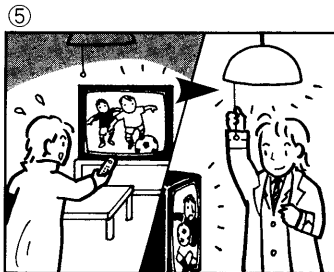
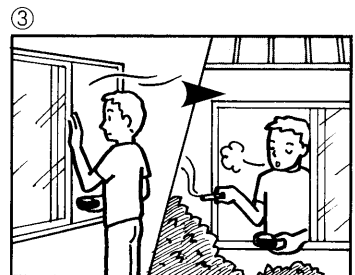
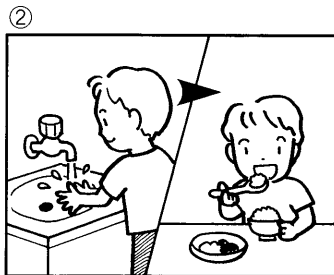
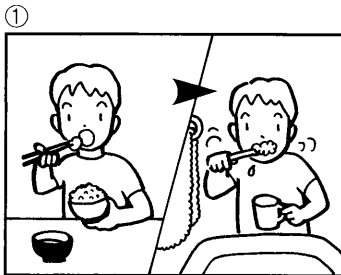
17 ～て (接続)

せつぞく  
 かお あら は  
 顔を洗って歯をみがきます



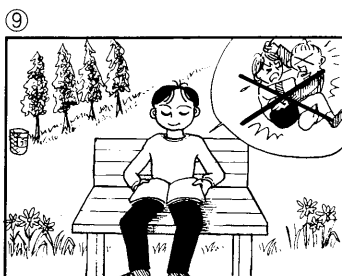
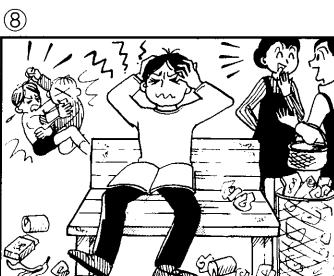
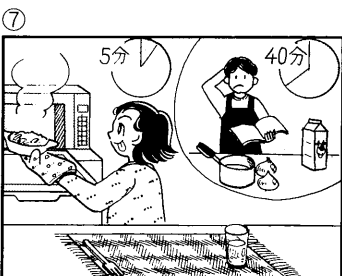
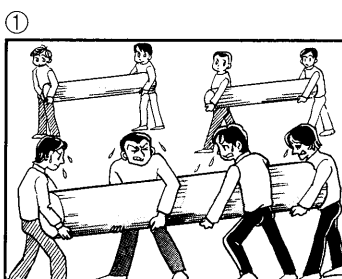
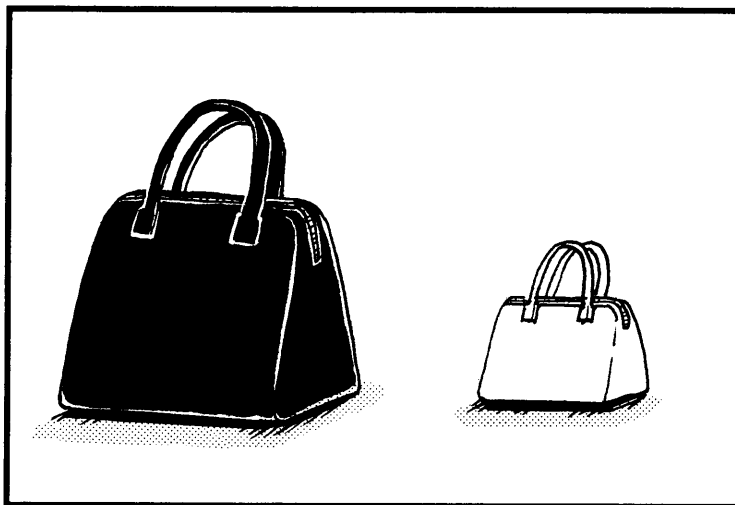
# 18 ～てから

しやしん み お  
写真を見てから会います



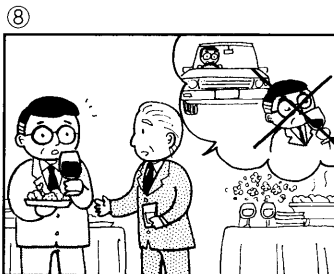
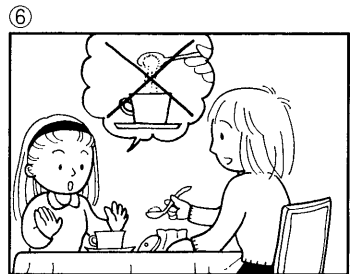
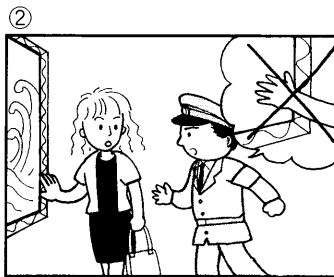
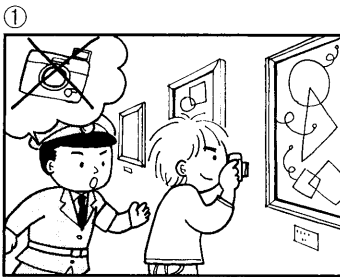
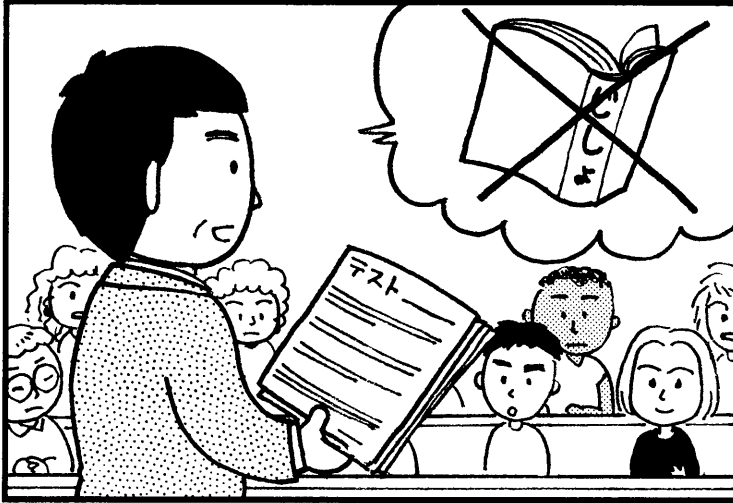
# 19 ～くて・～で

このかばんはおお大きくてくろ黒いです



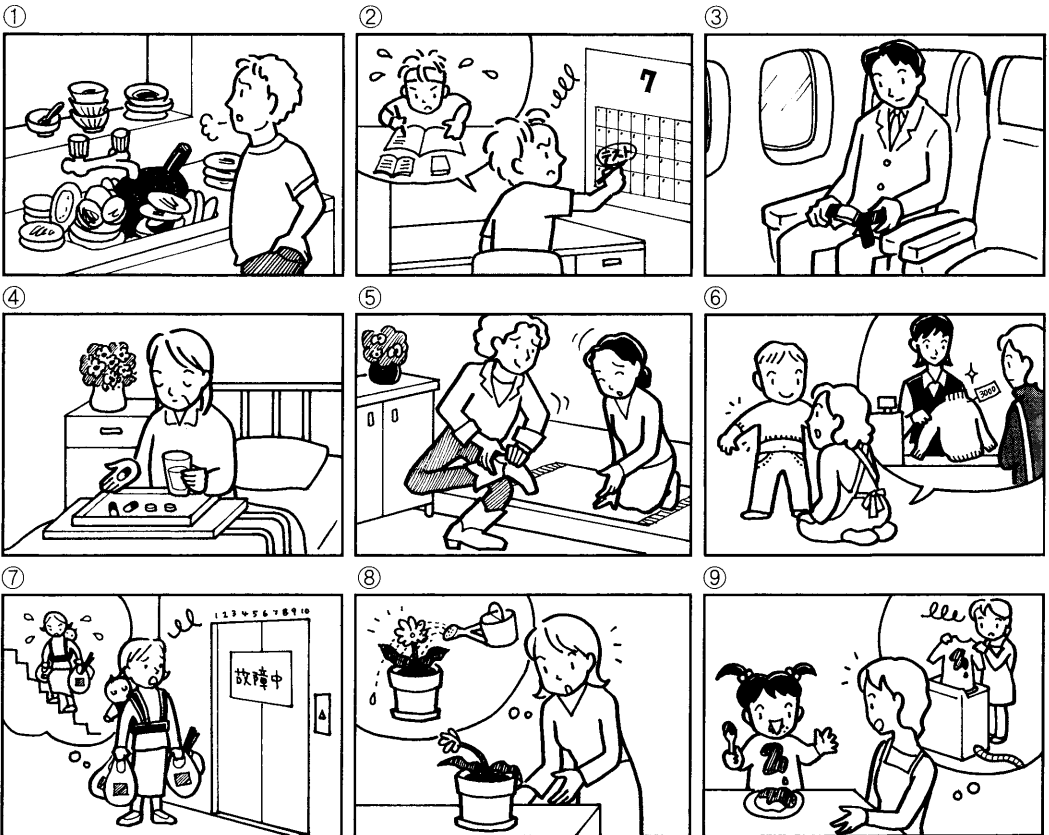
# 20 ～ないでください

じしょ みを見ないでください



# 21 ~なければならぬい

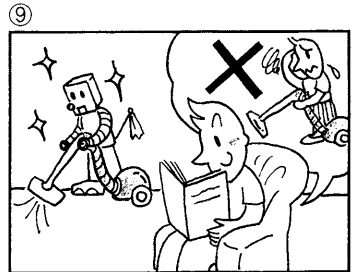
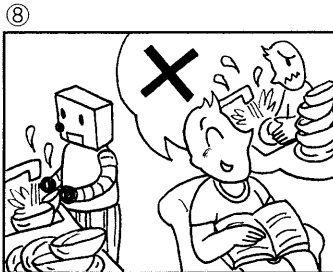
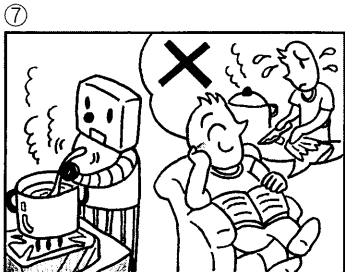
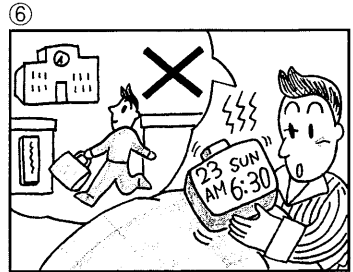
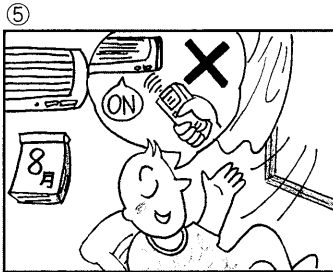
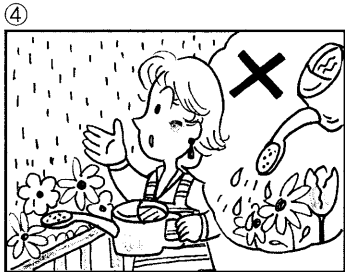
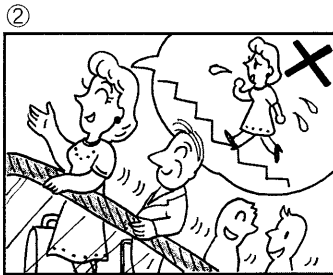
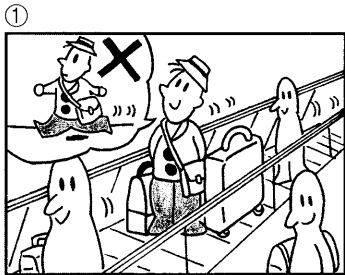
5時に起きなければなりません





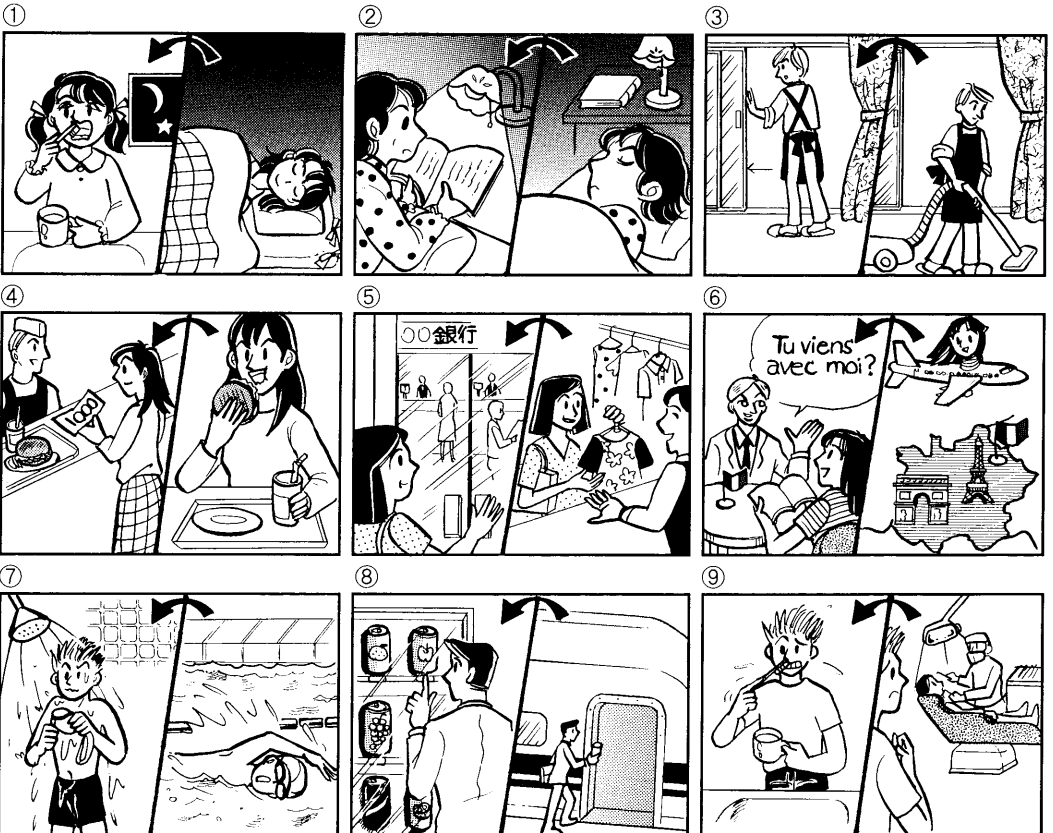
# 22 ~なくてもいい

かさ  
傘をささなくてもいいです



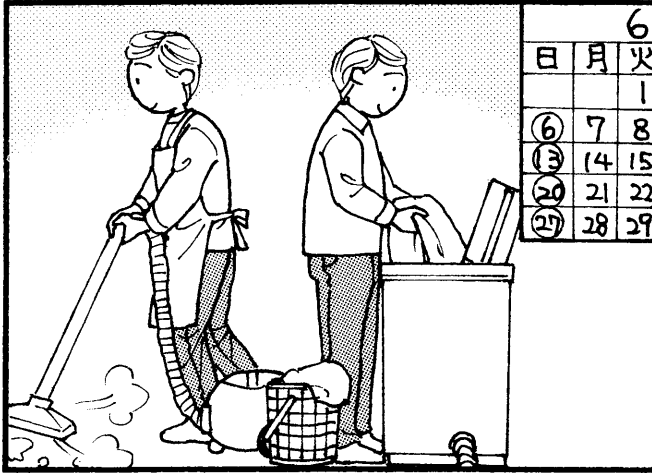
# 23 ～るまえに

ごはんを<sup>た</sup>食べるまえに<sup>て</sup>手を<sup>あら</sup>洗います



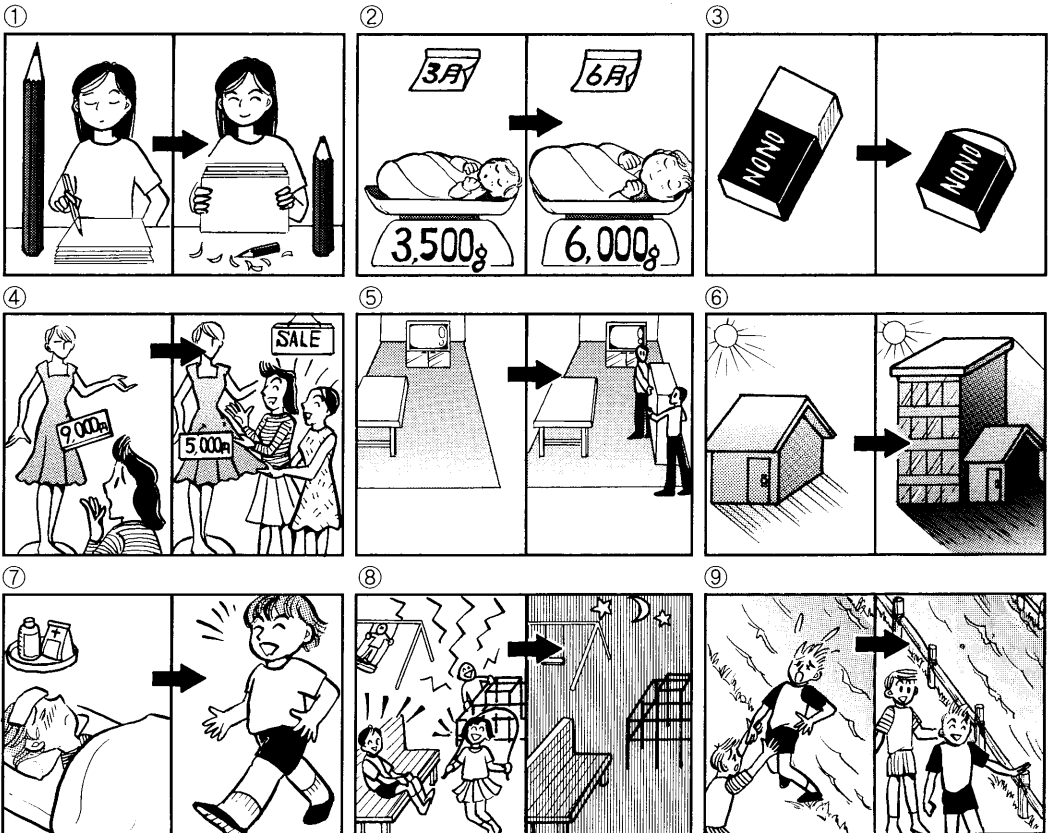
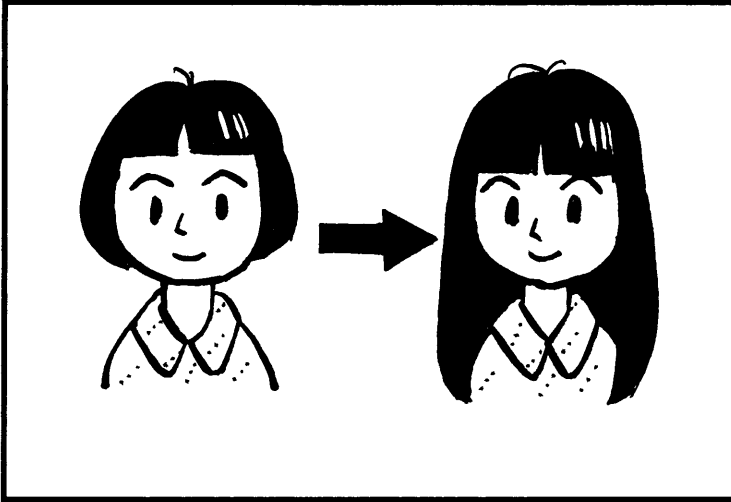
# 24 ～たり～たり

にちようび せんとく  
日曜日にそうじをしたり洗濯をしたりします



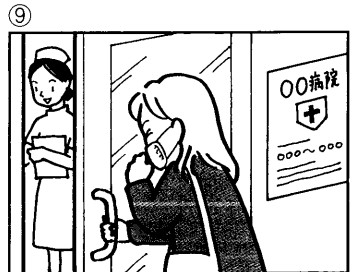
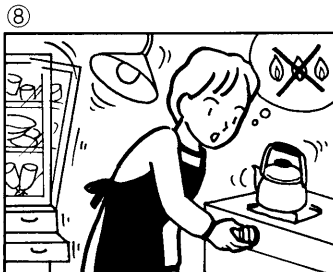
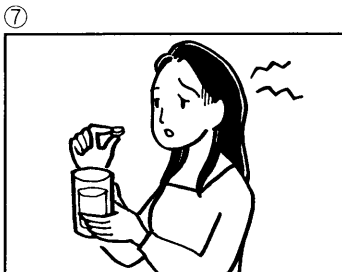
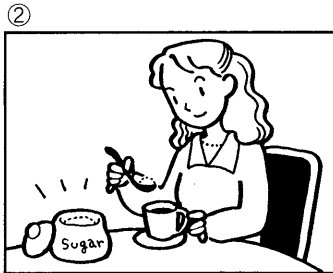
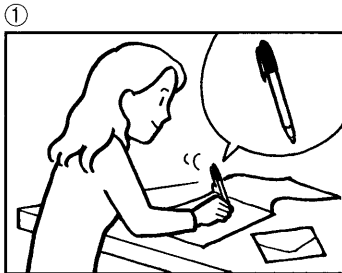
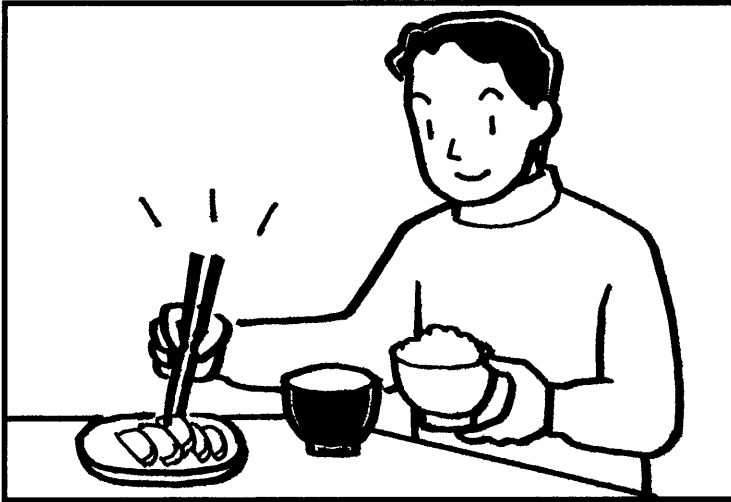
# 25 ～くなる・～になる

かみなが  
髪が長くなります



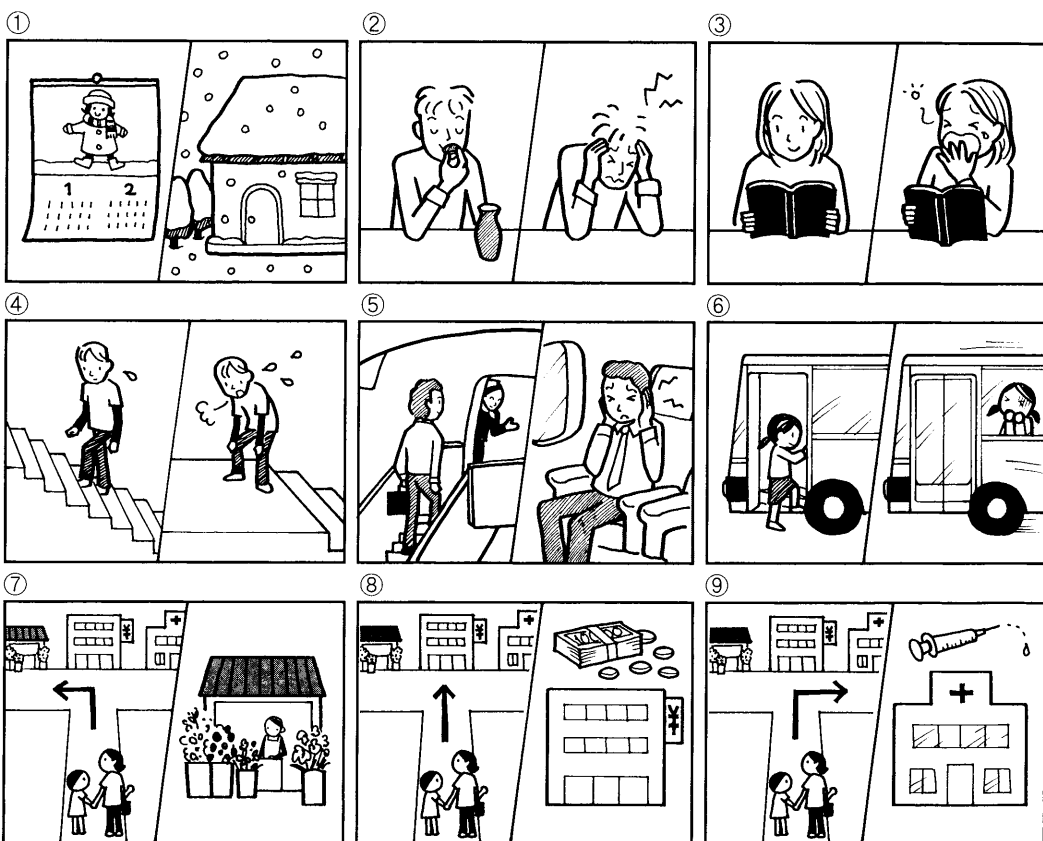
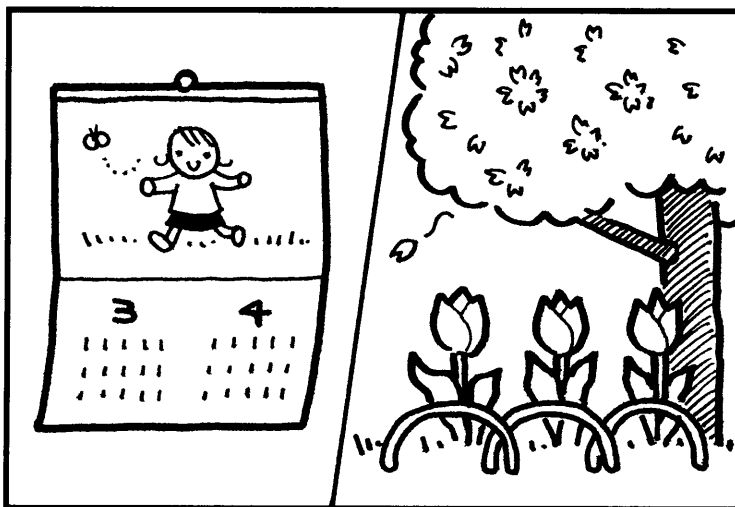
# 26 ～とき

ごはんを<sup>た</sup>食べる<sup>つか</sup>とき、はしを使<sup>つか</sup>います



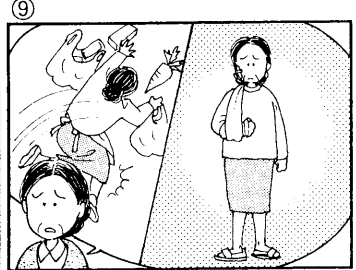
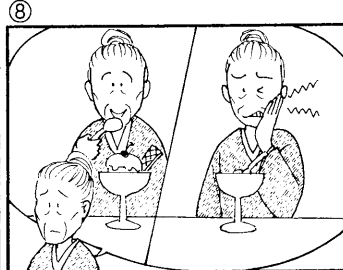
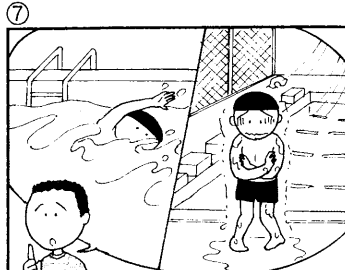
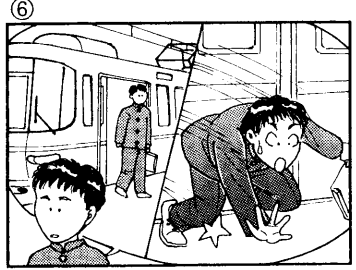
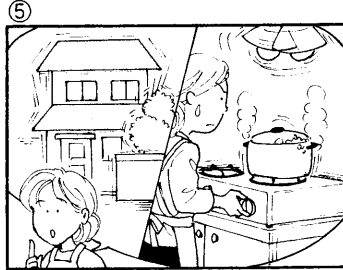
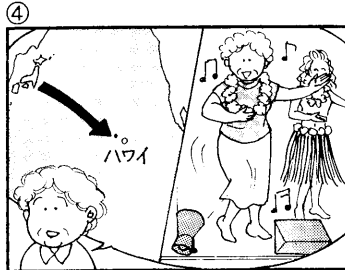
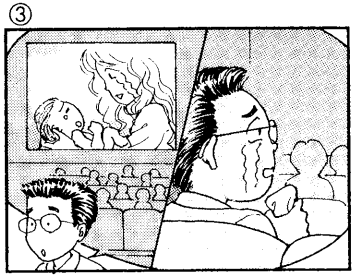
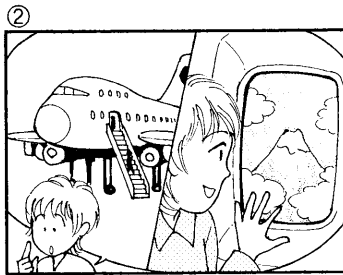
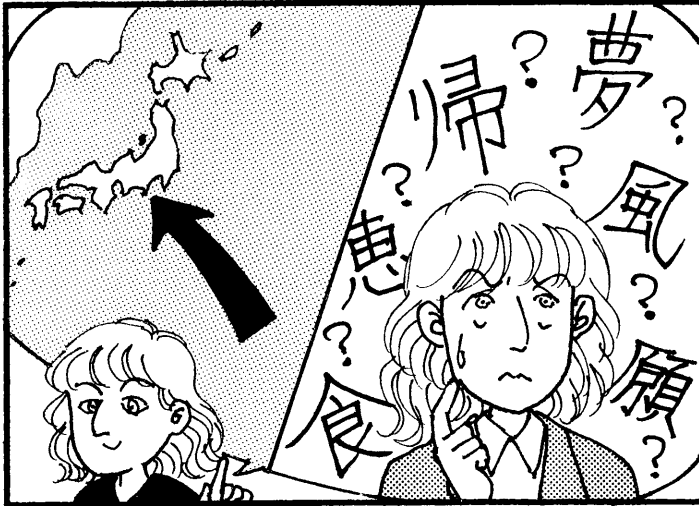
27 ～ と (一般条件・反復条件)

はる 春になるとはなはなさ 花が咲きます



# 28 ～たとき

にほん き かんじ  
日本へ来たとき、漢字がわかりませんでした



## 29 あげる・もらう

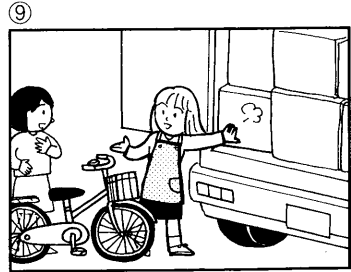
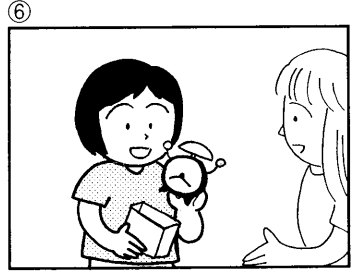
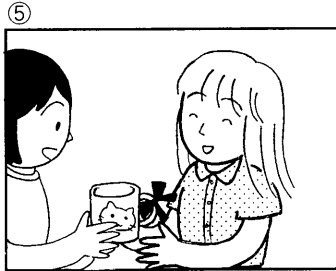
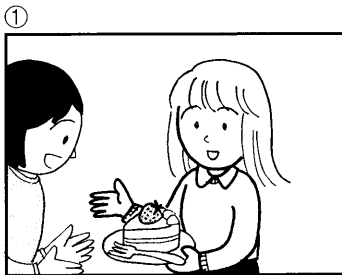
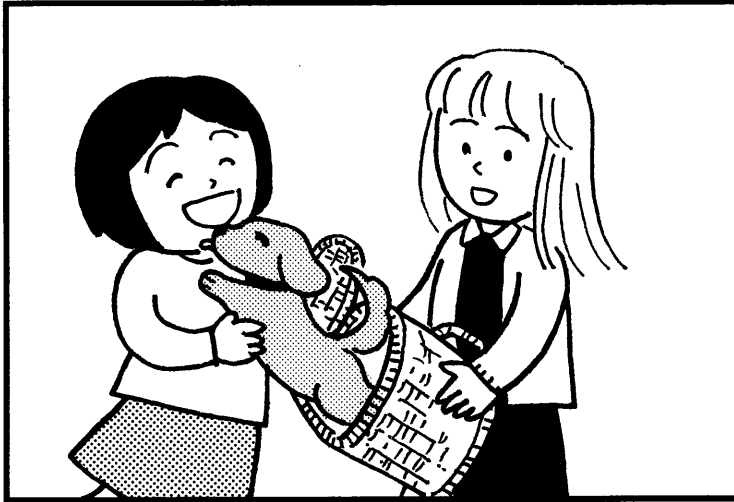
はやし やまだ  
 林さんは山田さんにプレゼントをあげました・  
 やまだ はやし  
 山田さんは林さんにプレゼントをもらいました





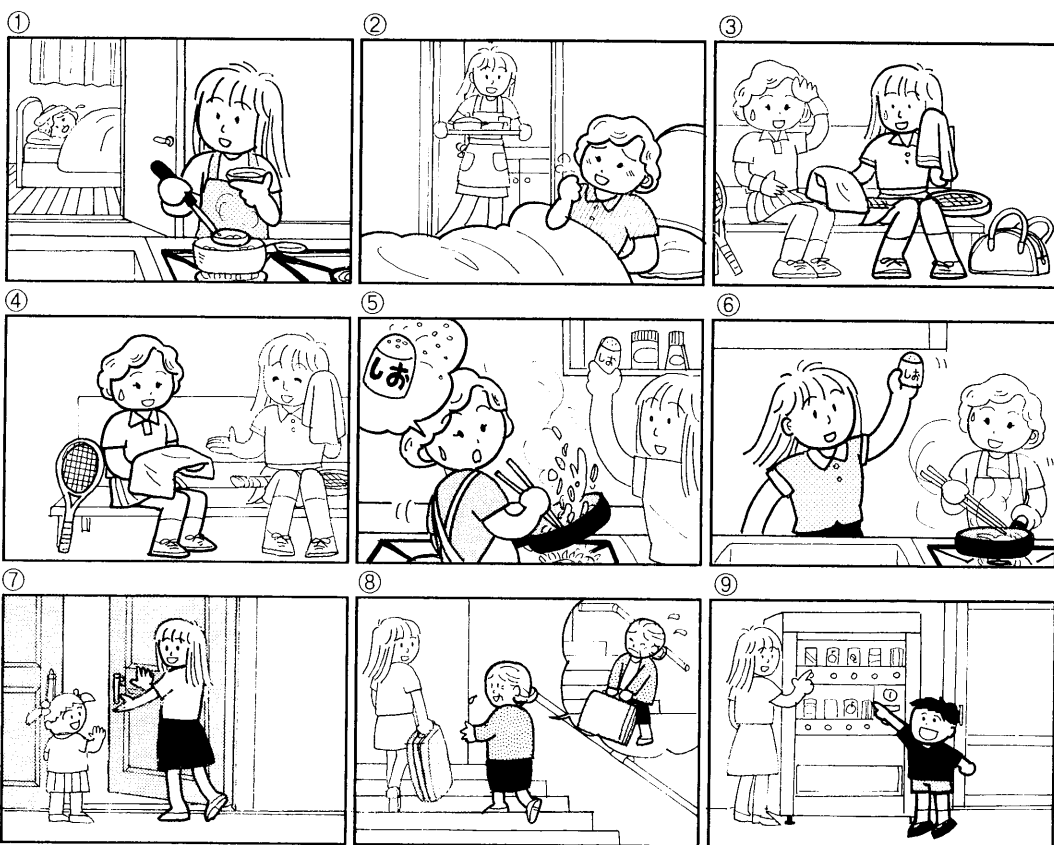
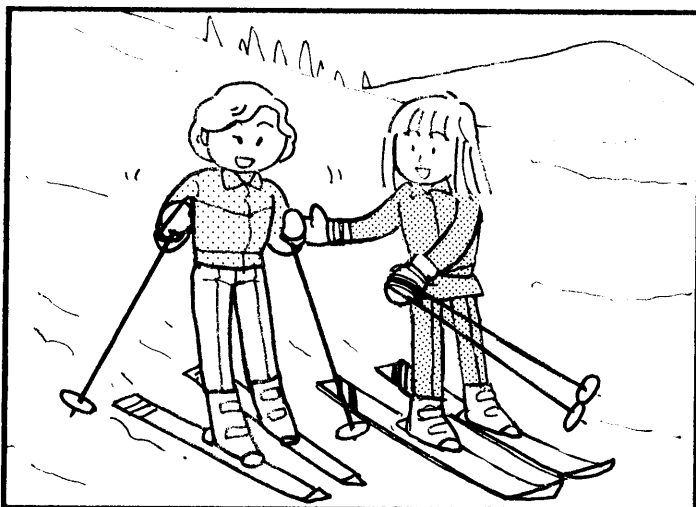
# 30 くれる・もらう

はやし わたし いぬ  
林さんは私に犬をくれました。  
わたし はやし いぬ  
私は林さんに犬をもらいました



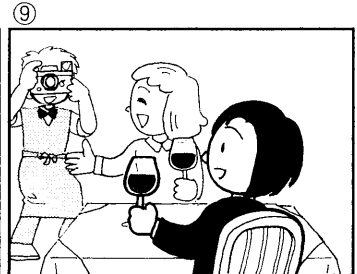
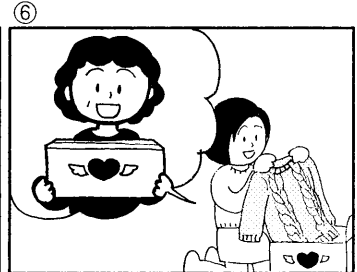
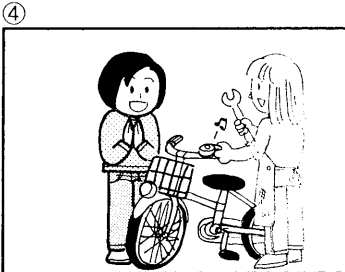
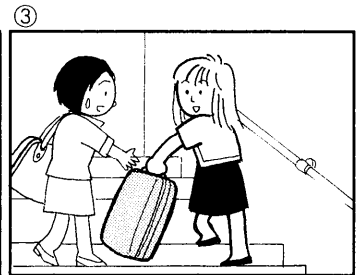
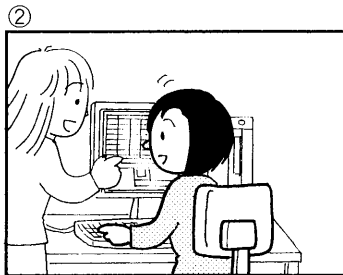
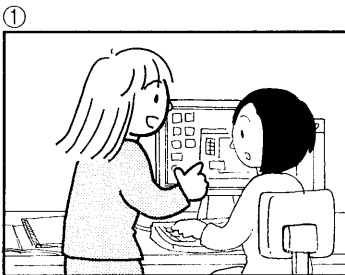
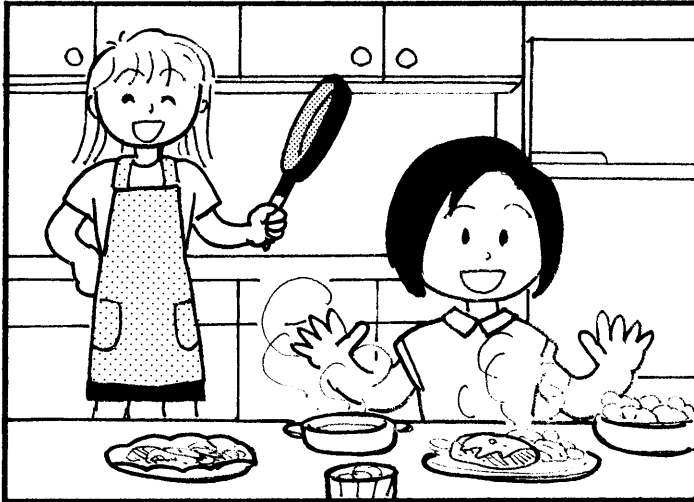
# 31 ～てあげる・～てもらう

はやし                      うえだ                      おし  
 林さんは上田さんにスキーを教えました。  
 うえだ                      はやし                      おし  
 上田さんは林さんにスキーを教えました



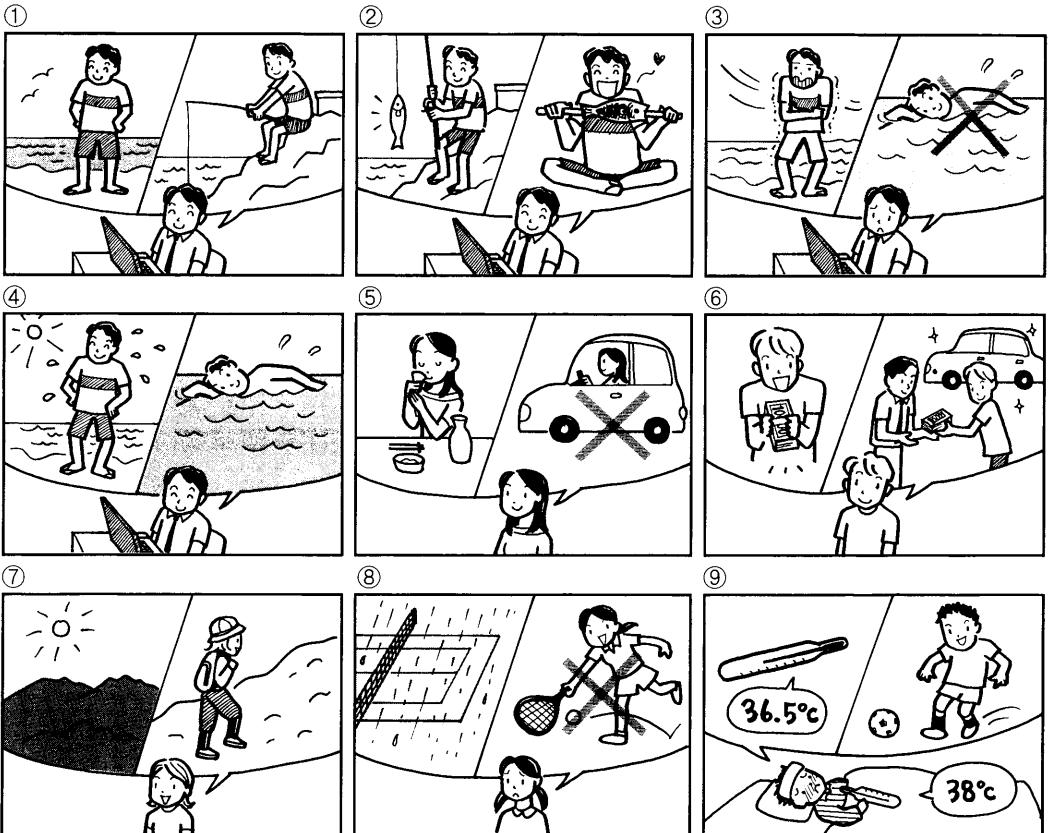
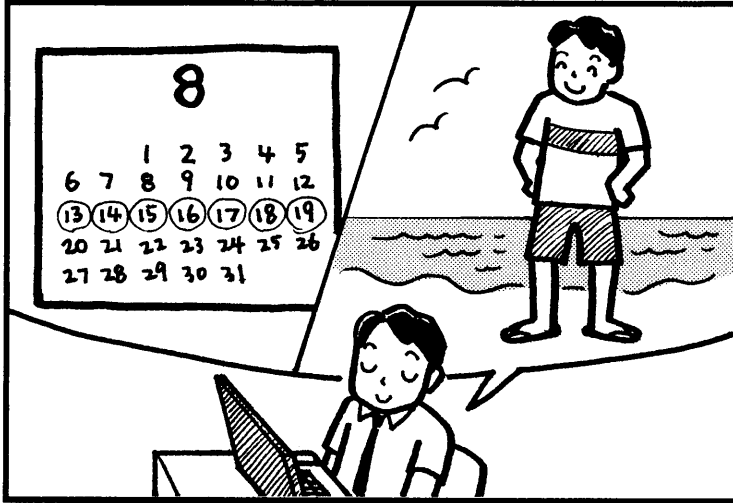
# 32 ～てくれる・～てもらおう

はやし りょうり つく  
 林さんは料理を作ってくれました・  
 はやし りょうり つく  
 林さんに料理を作ってもらいました



# 33 ～たら (仮定条件)

か ていじょうけん  
 1 週間、休みがあったら海へ行きます



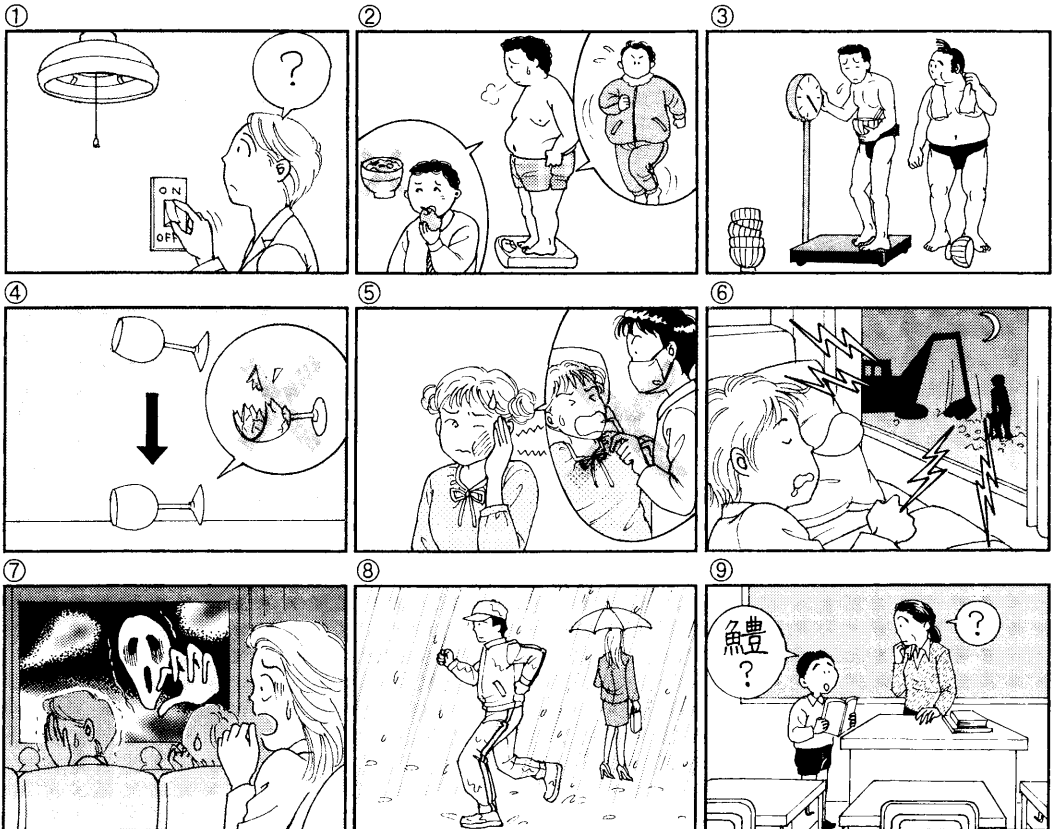
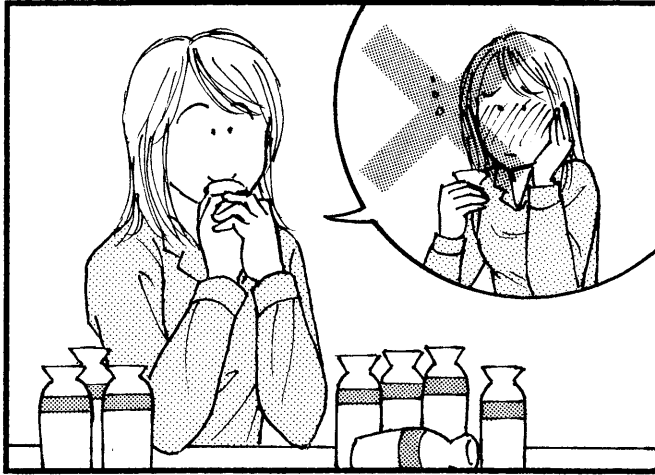
34 ～たら (かくていじょうけん じかん) (確定条件・時間)

えき についたら しんぶん か  
駅に着いたら新聞を買います



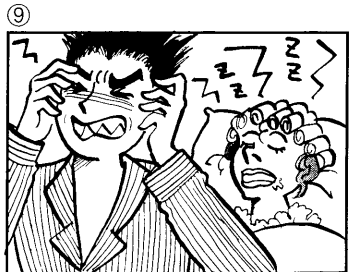
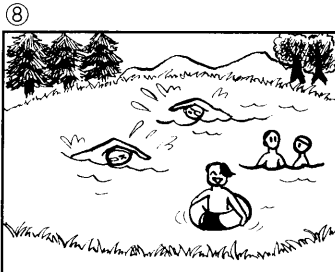
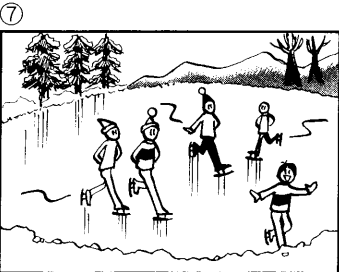
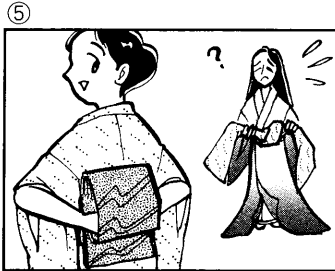
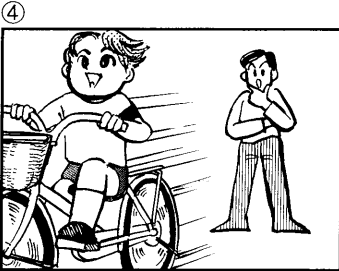
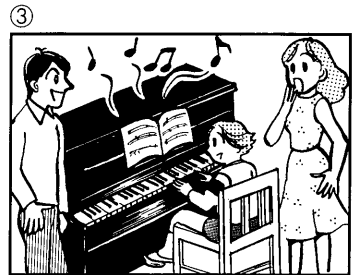
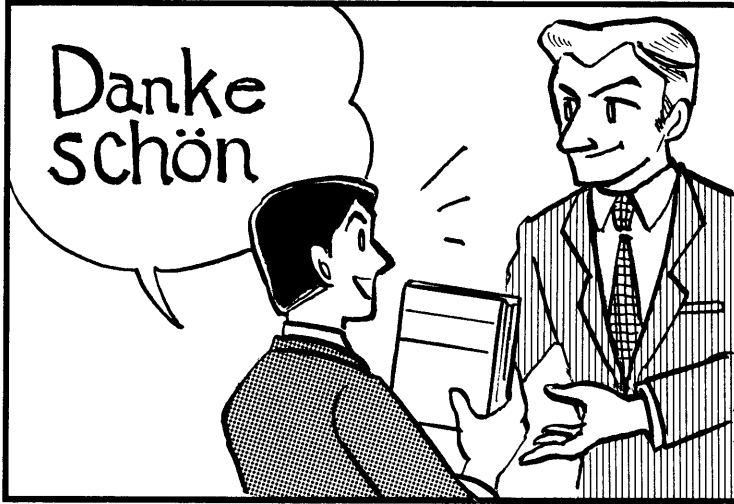
# 35 ～ても

さけのよ  
お酒を飲んでも酔いません



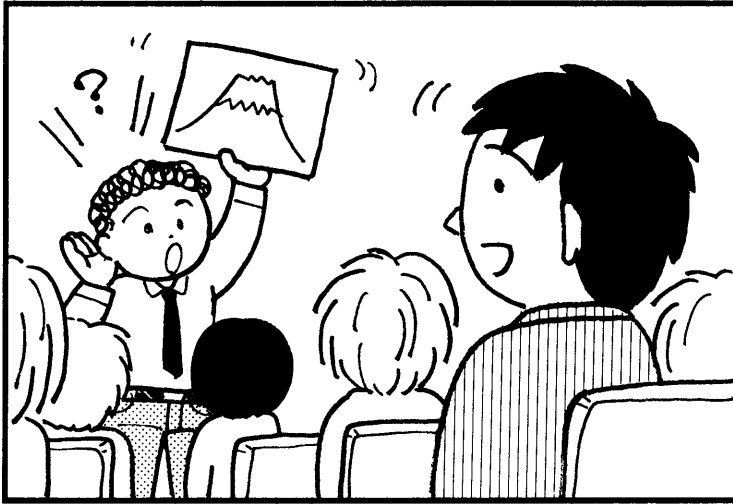
# 36 ～ ことができる ・ 可能

よしだ  
吉田さんはドイツ語が話せます

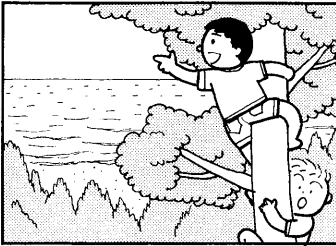


# 37 見える・聞こえる

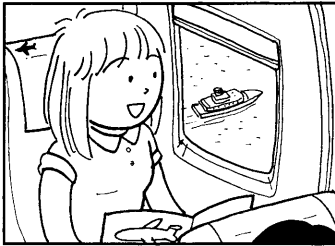
みえますか・聞こえますか



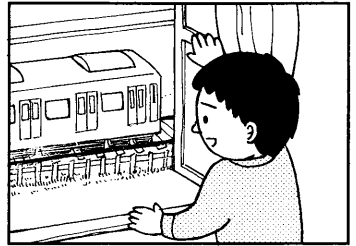
①



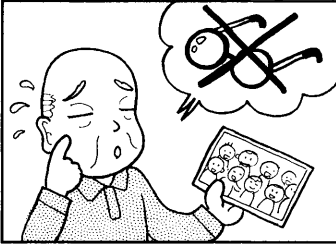
②



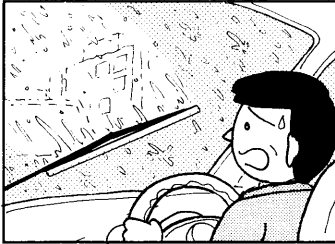
③



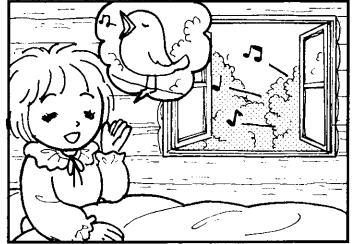
④



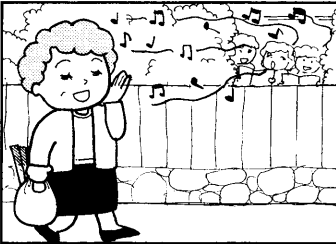
⑤



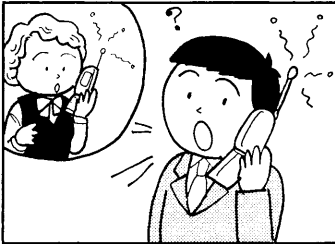
⑥



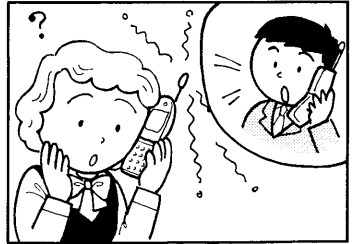
⑦



⑧



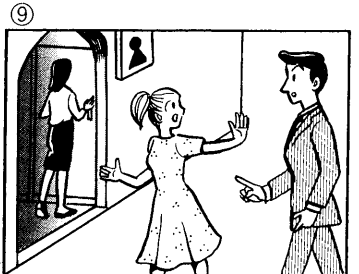
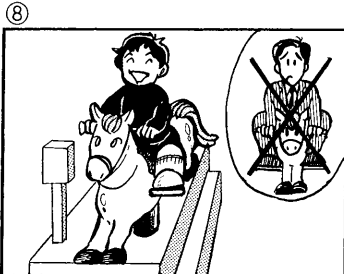
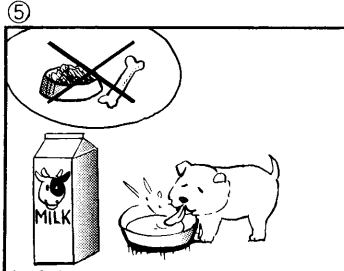
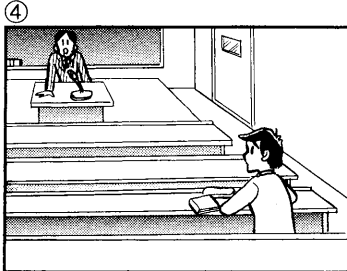
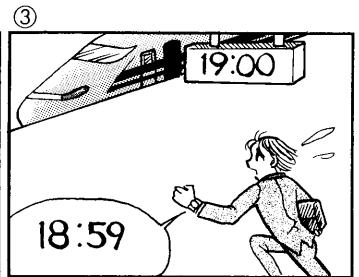
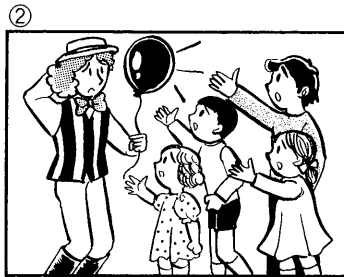
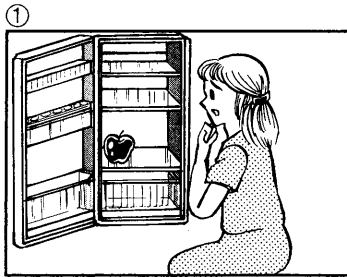
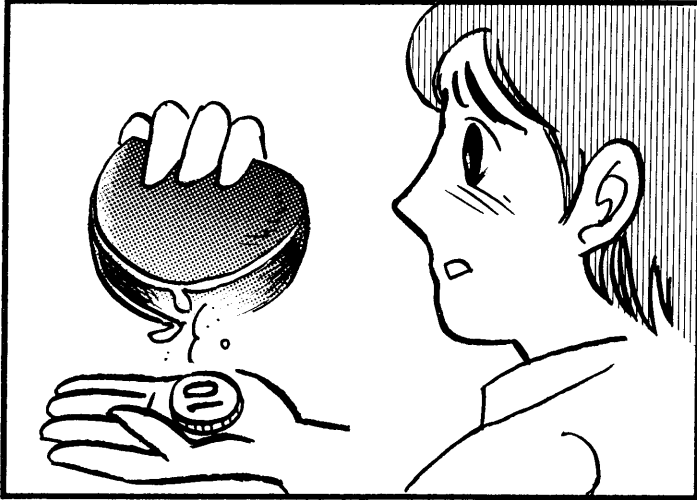
⑨





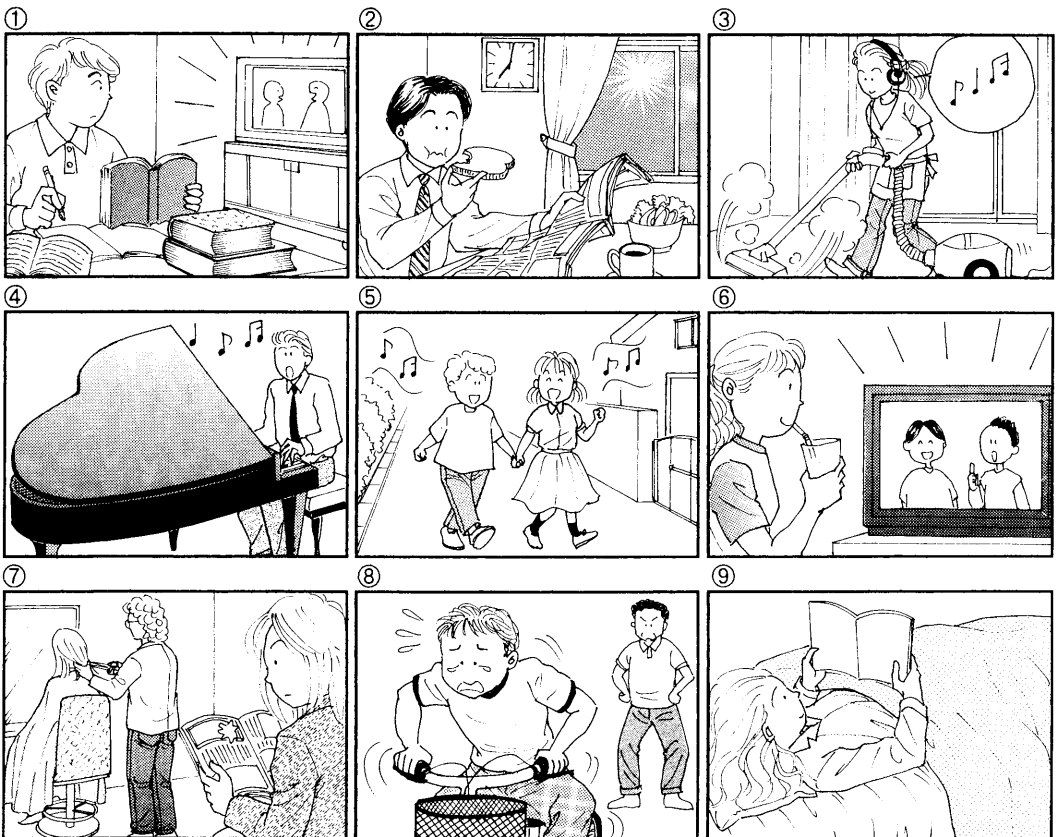
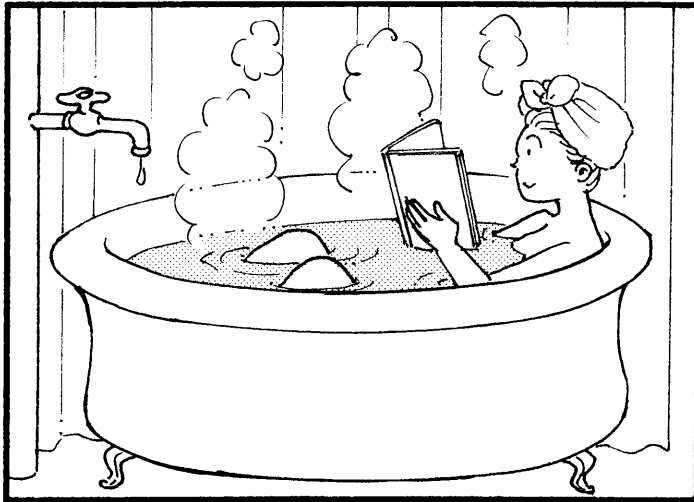
# 38 ~しか~ない

えん  
10円しかありません



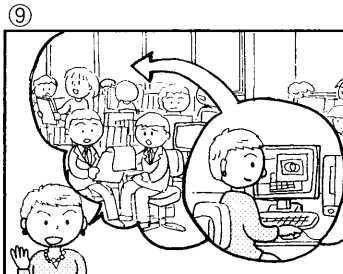
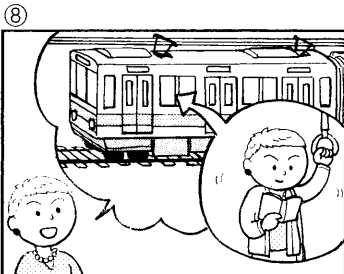
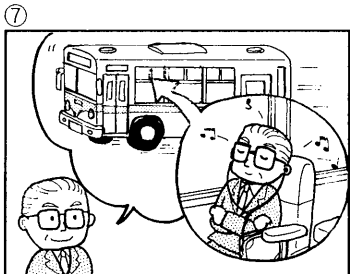
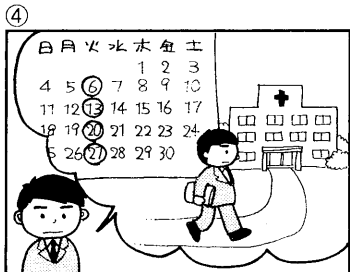
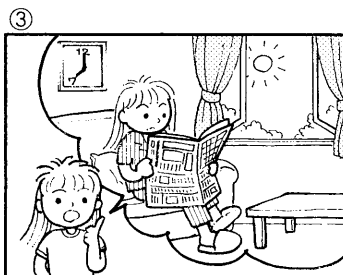
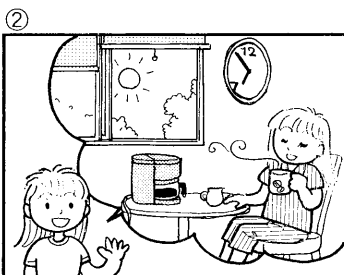
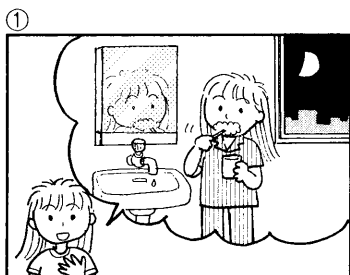
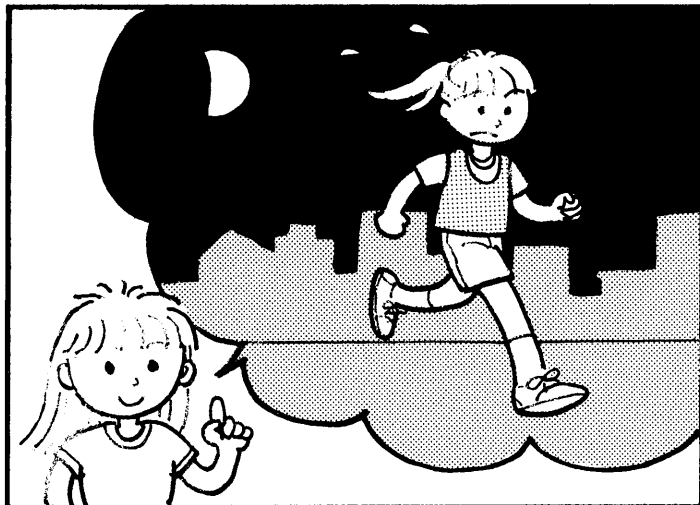
# 39 ～ながら

ほんよ ふうろはい  
本を読みながら(お)風呂に入ります



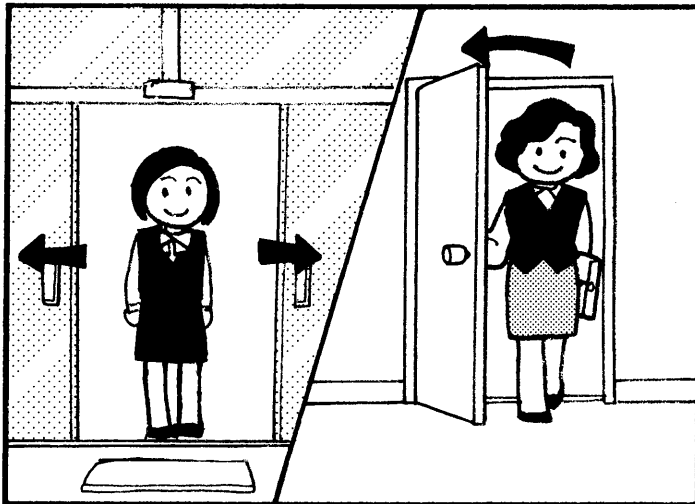
# 40 ～ている (習慣) しゅうかん

よる はし  
夜、走っています



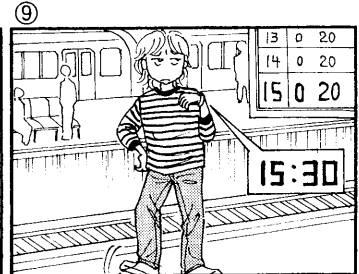
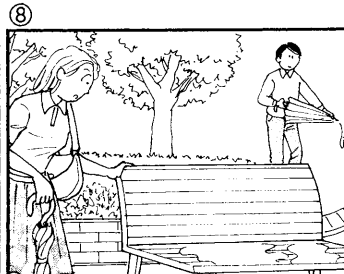
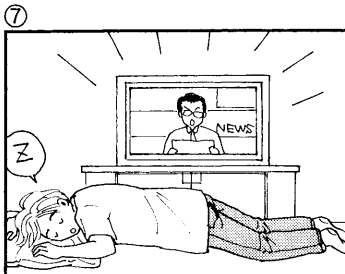
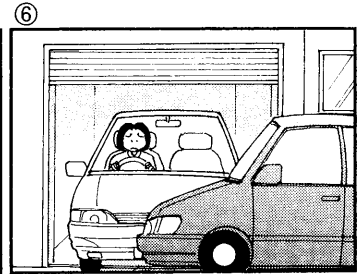
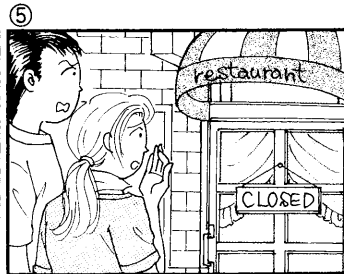
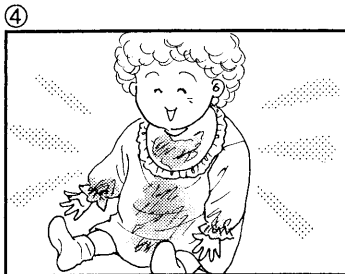
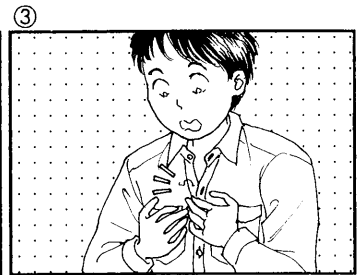
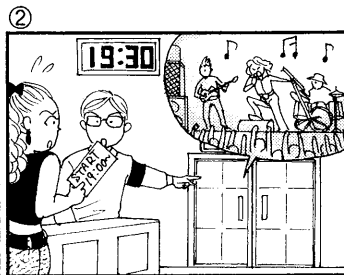
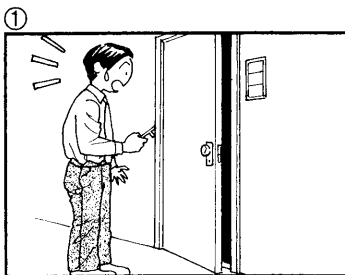
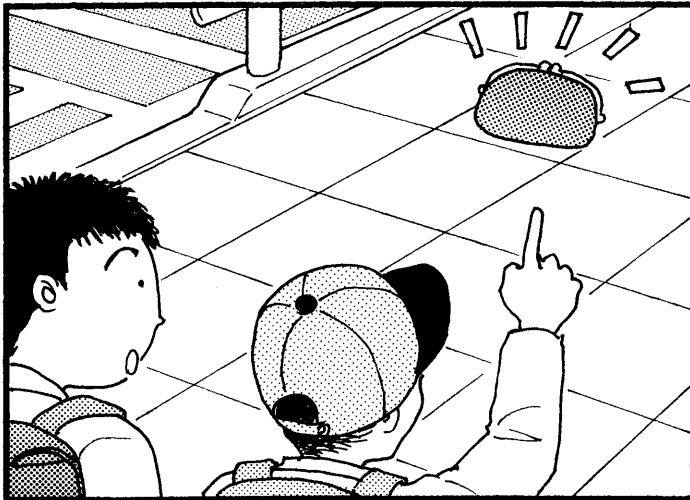
# 41 自動詞・他動詞

ドアが開きます・ドアを開けます



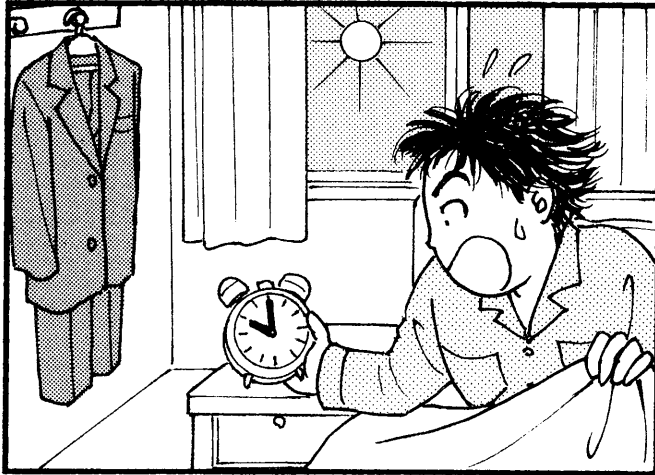
# 42 ～ている (結果)<sup>けっか</sup>

さいふが落ちています<sup>お</sup>



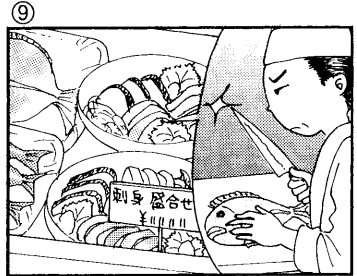
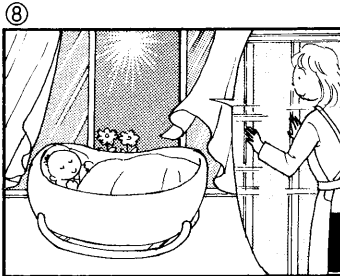
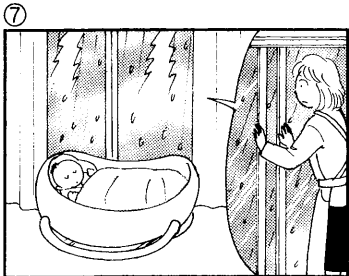
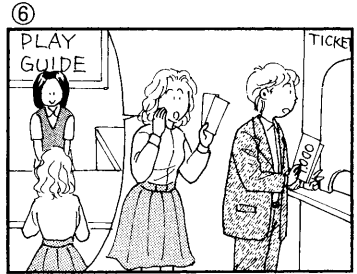
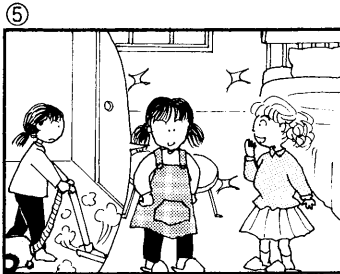
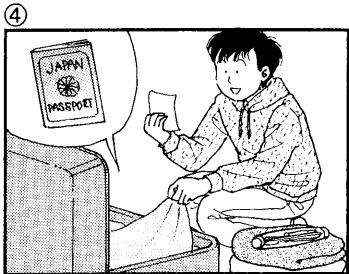
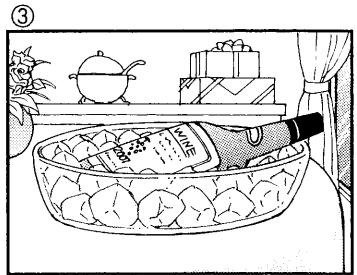
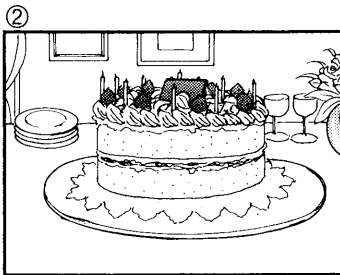
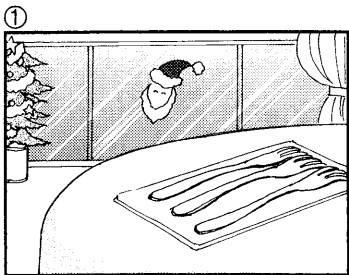
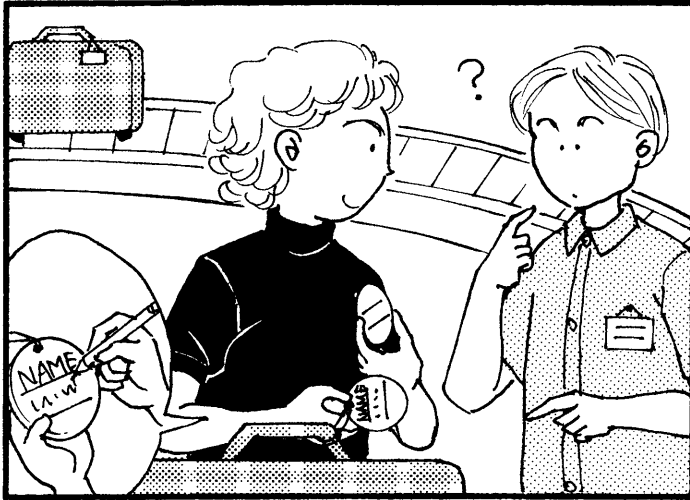
# 43 ～てしまう(後悔)

ね  
寝ぼうしてしまいました



# 44 ～てある

なまえか  
名前が書いてあります



# 45 ～ておく

(かいぎのまえに) ごはんをたべておきます



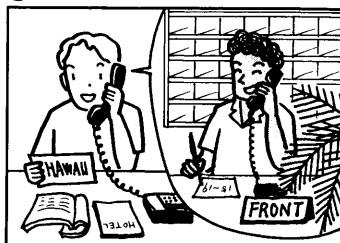
①



②



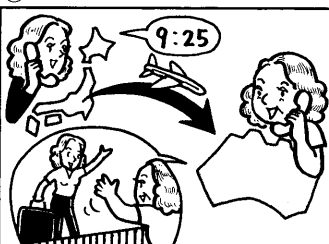
③



④



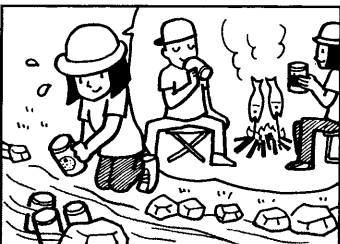
⑤



⑥



⑦



⑧



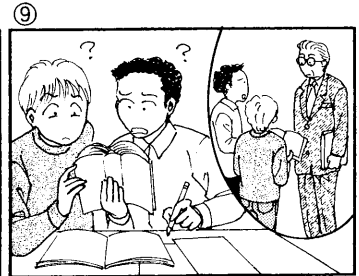
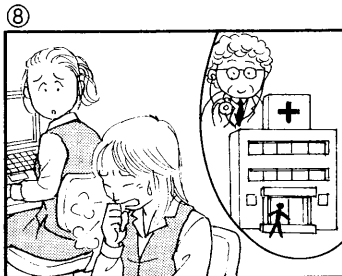
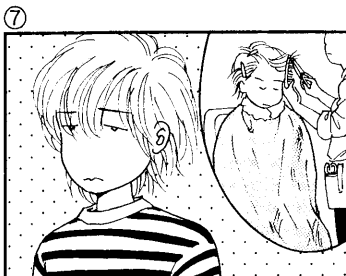
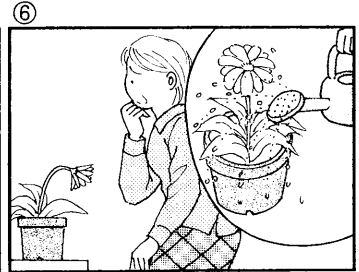
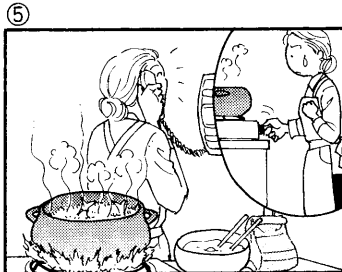
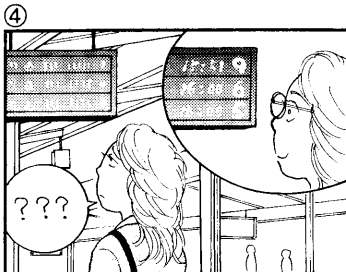
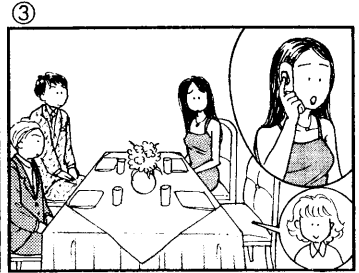
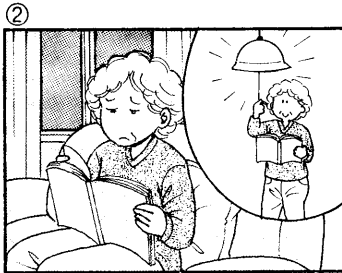
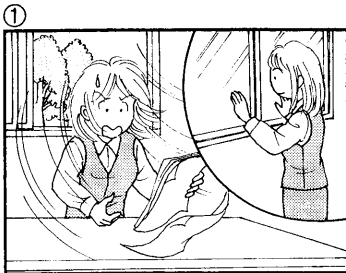
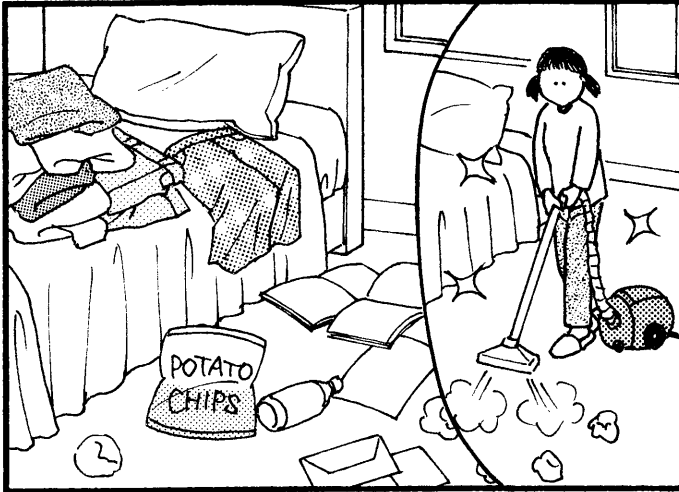
⑨





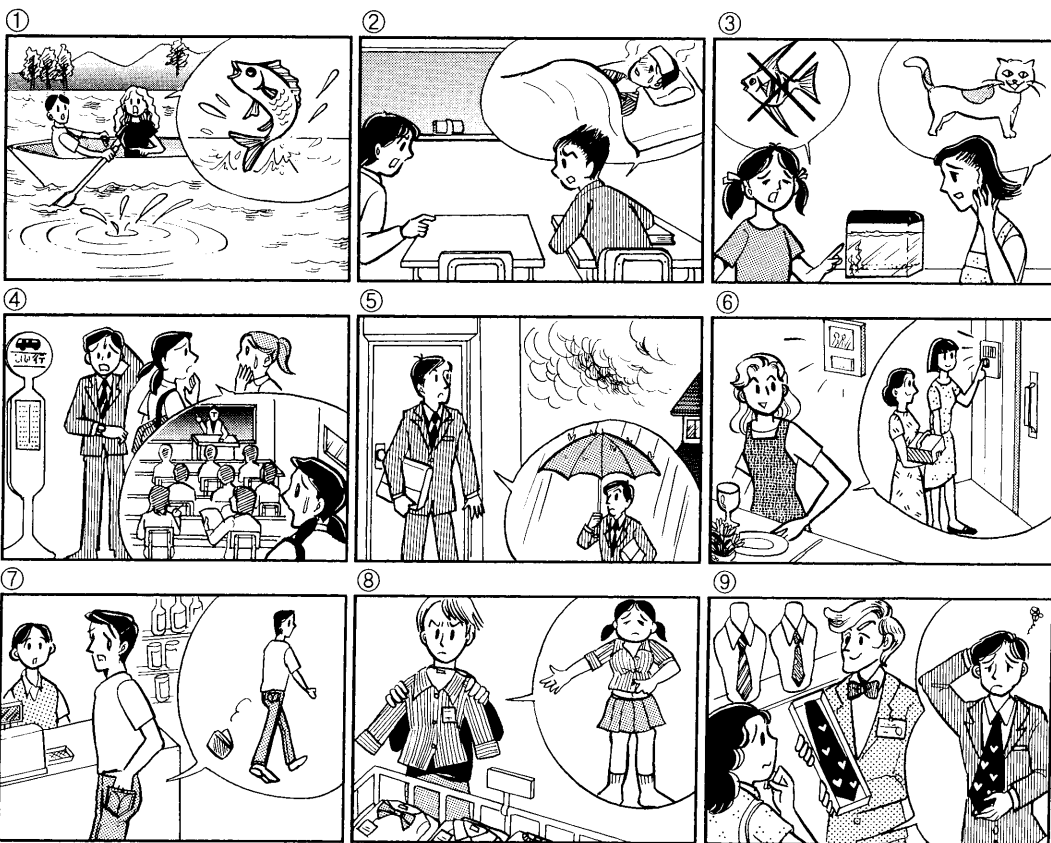
# 46 ～たほうがいい

部屋をそうじたほうがいいです



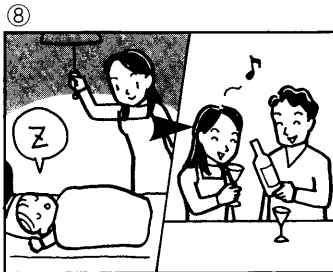
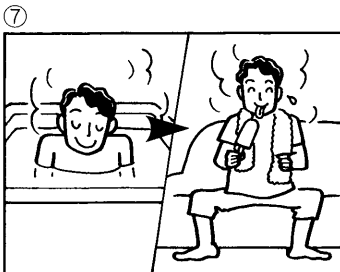
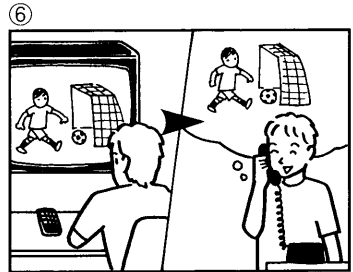
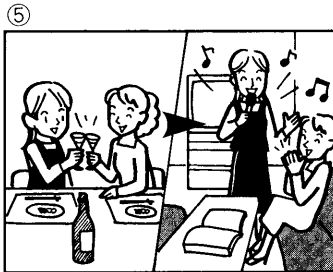
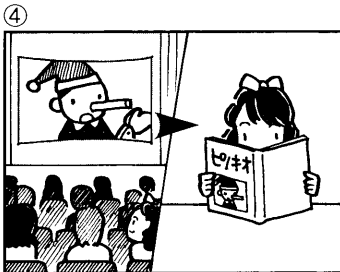
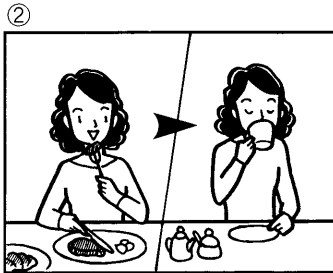
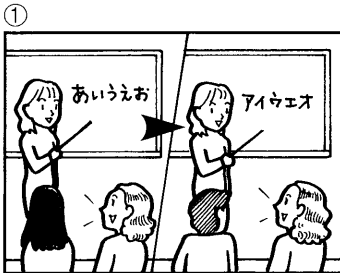
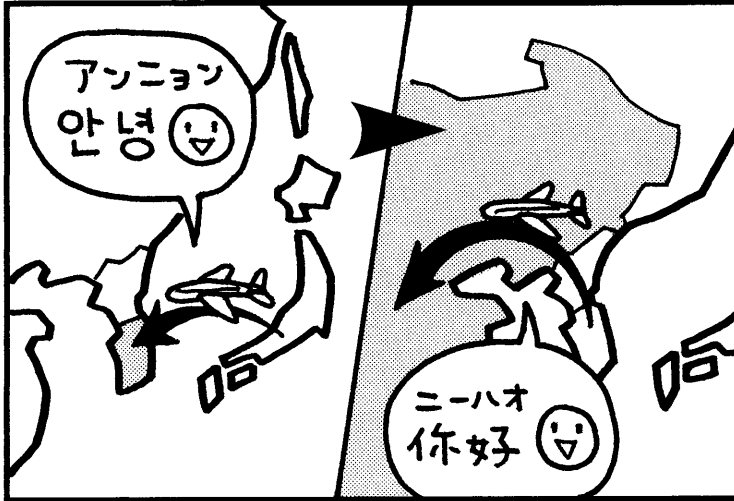
# 47 ～ かもしれません

びょういん い  
病院へ行くかもしれません



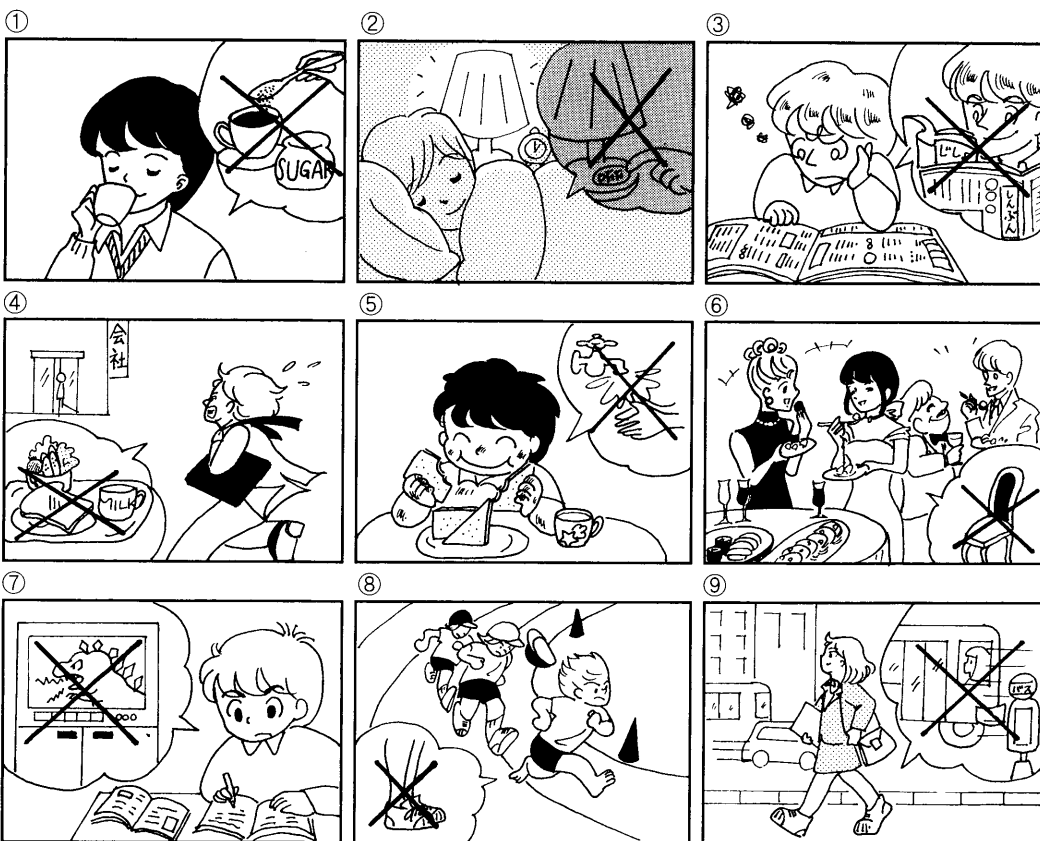
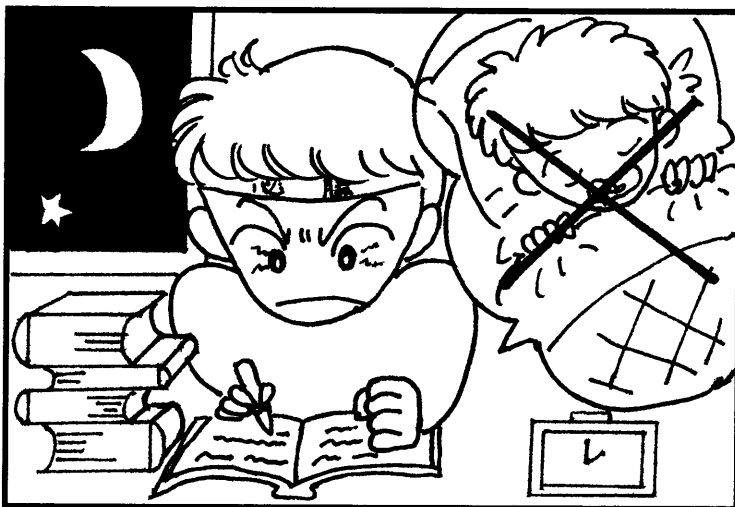
# 48 ～たあとで

かんこく 韓 国 へ 行 っ た あ と で ちゅうこく 中 国 へ 行 き ま し た



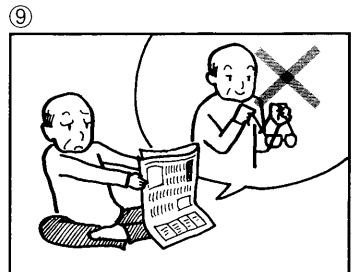
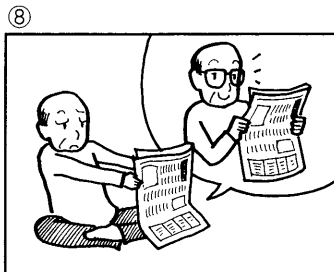
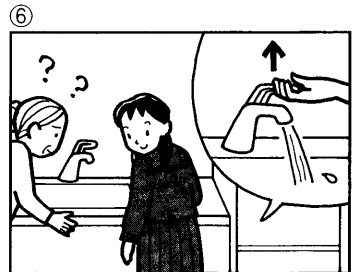
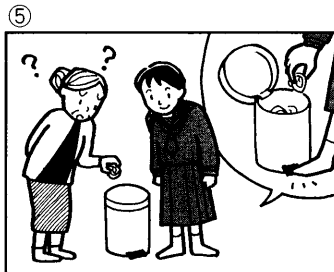
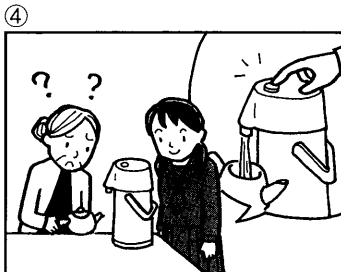
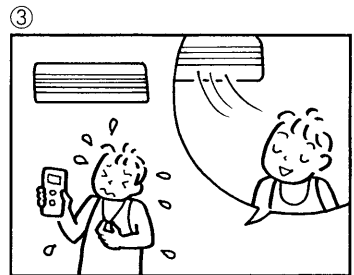
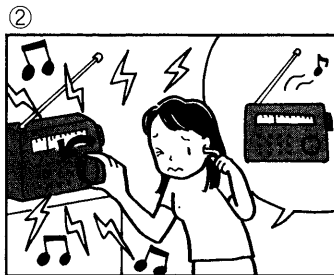
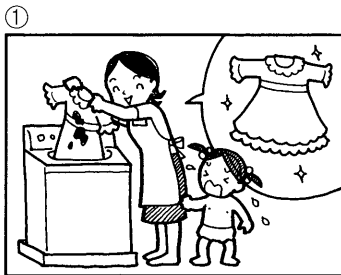
# 49 ~ないで~する

ね  
べんきょう  
寝ないで勉強します



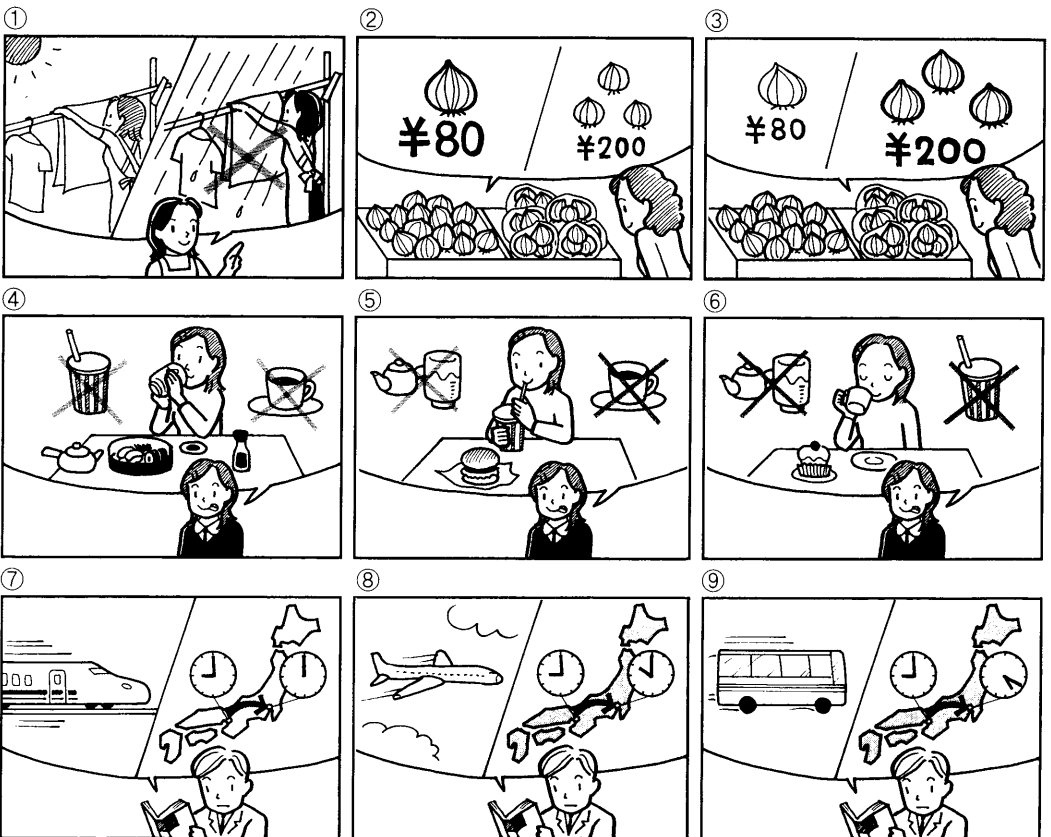
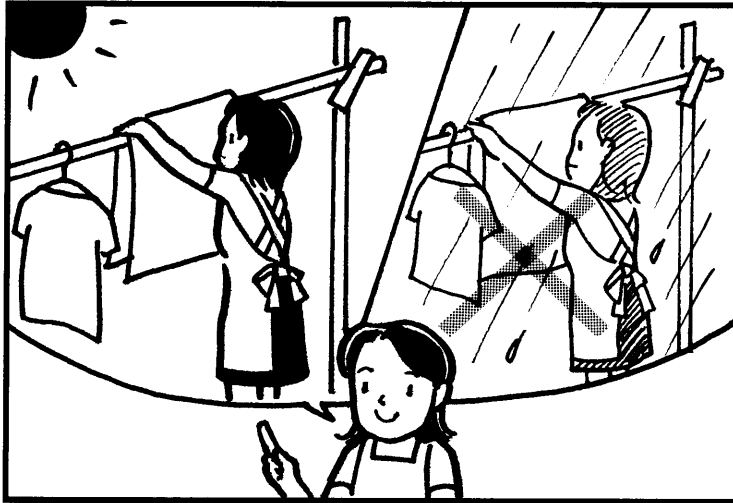
50 ～ ば (いっばんじょうけん かていじょうけん  
一般条件・仮定条件)

くすりの の かぜ なお  
薬を飲めば風邪が治ります



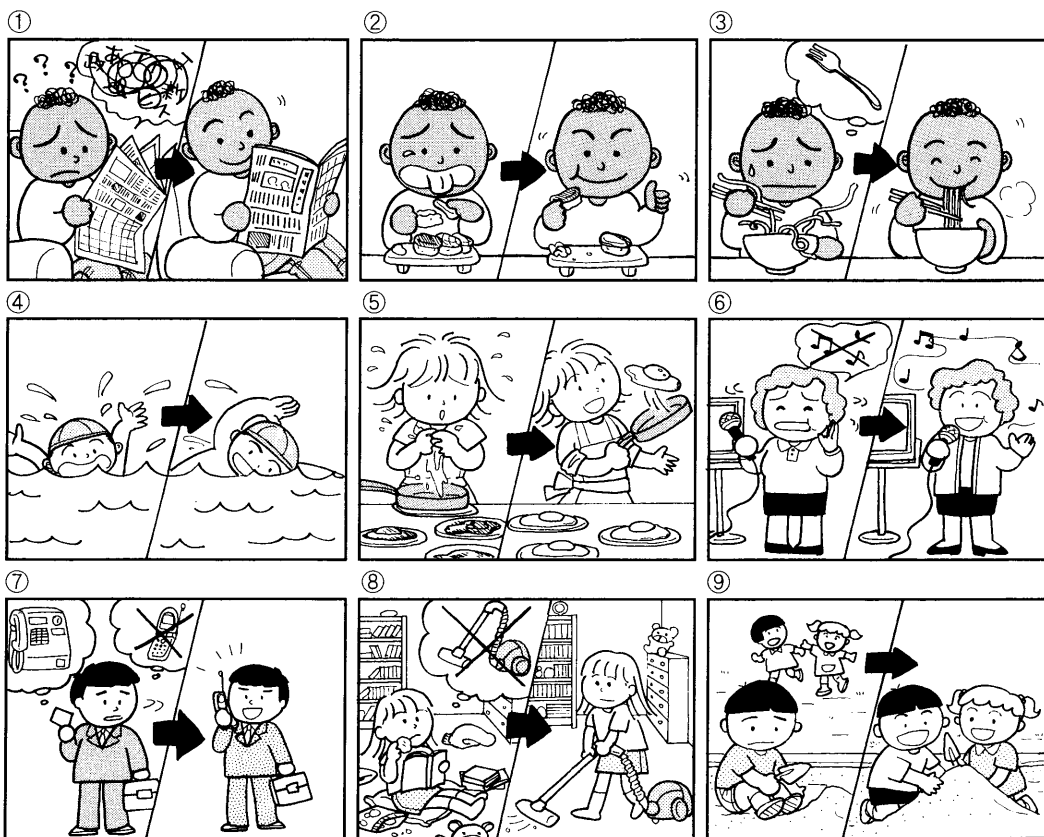
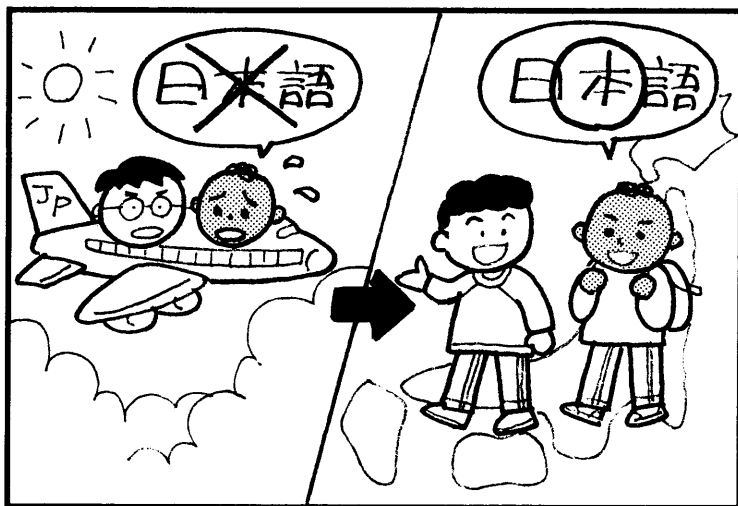
か ていじょうけん  
51 ~ なら (仮定条件)

てんき せんたく  
いい天気なら洗濯をします



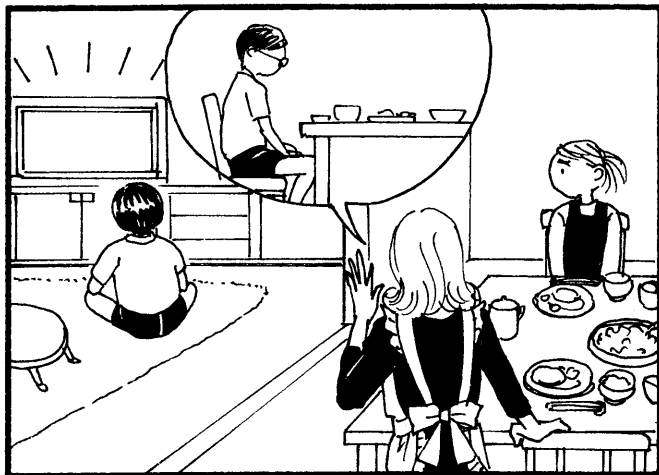
# 52 ~ ようになる

にほんご はな  
日本語が話せるようになりました



53 受け身 (直接)

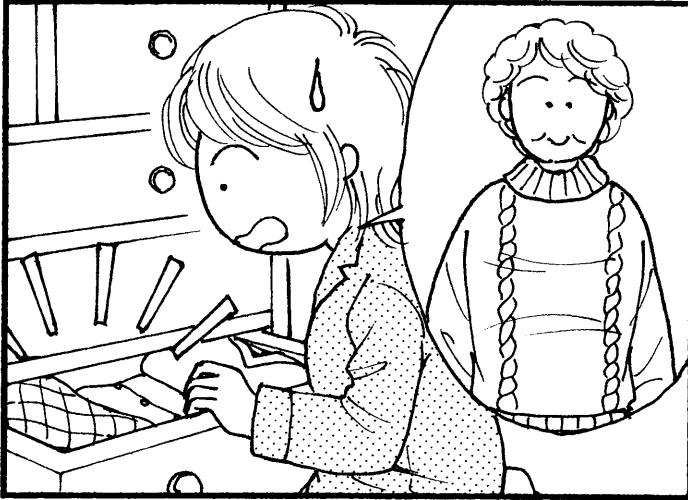
ひろし君はお母さんに呼ばれました





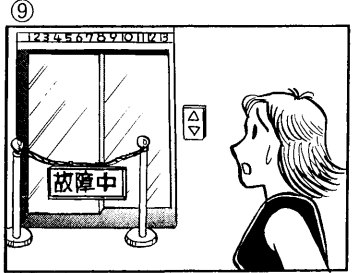
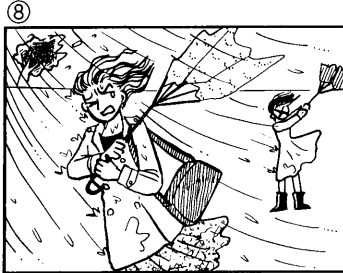
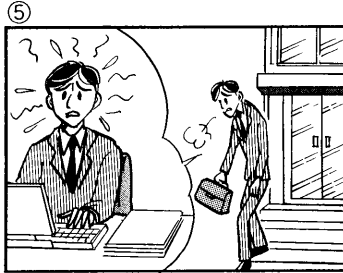
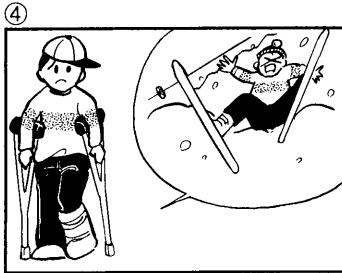
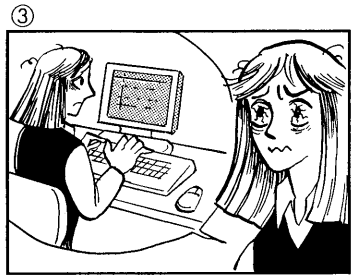
うけ み も ぬし  
54 受身 (持ち主)

えりさんはお母さんにセーターをき着られました



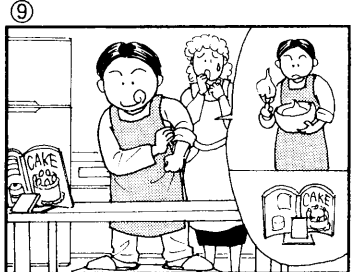
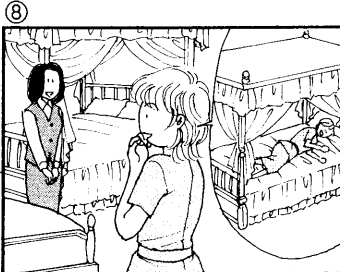
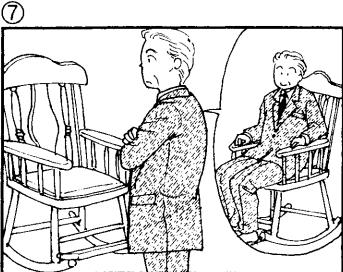
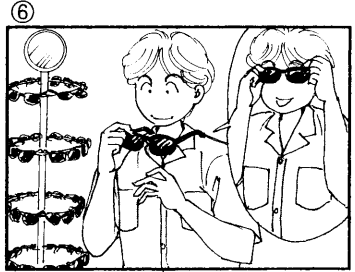
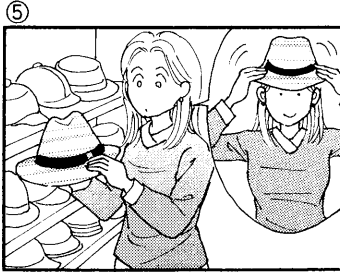
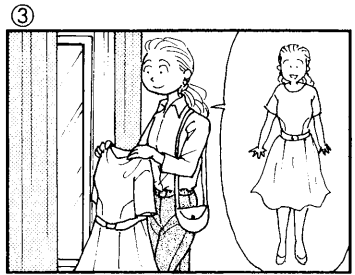
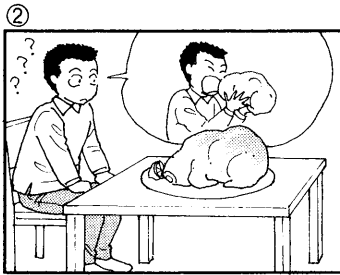
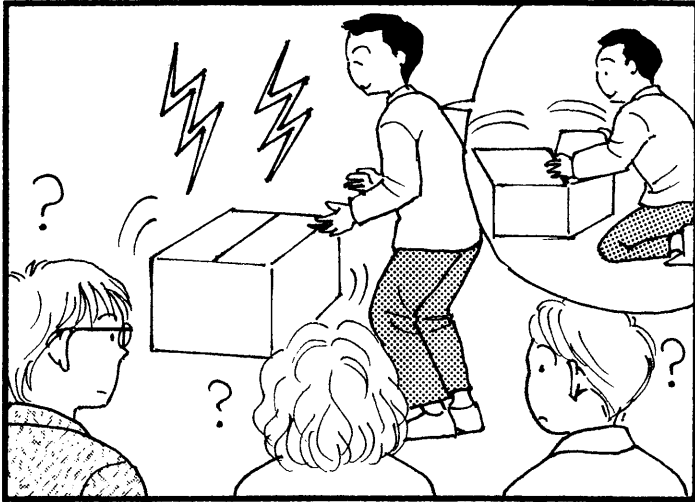
55 ～ で (原因・理由)

かぜ しごと やす  
風邪で仕事を休みました



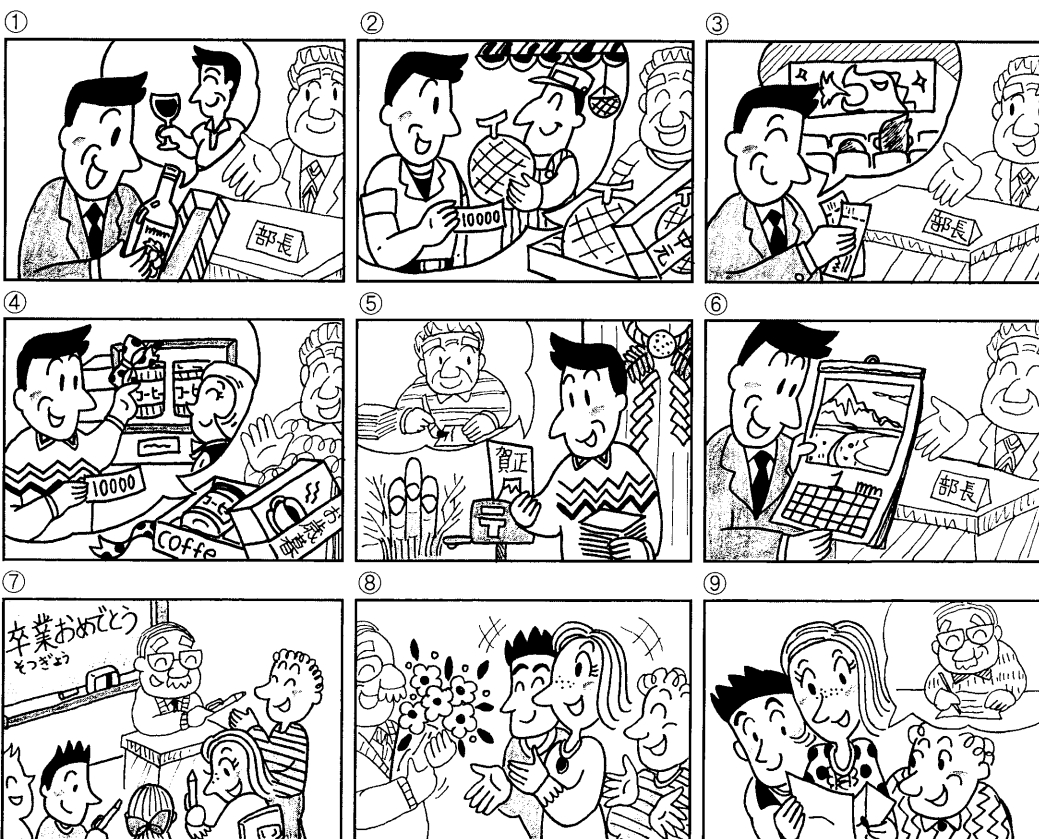
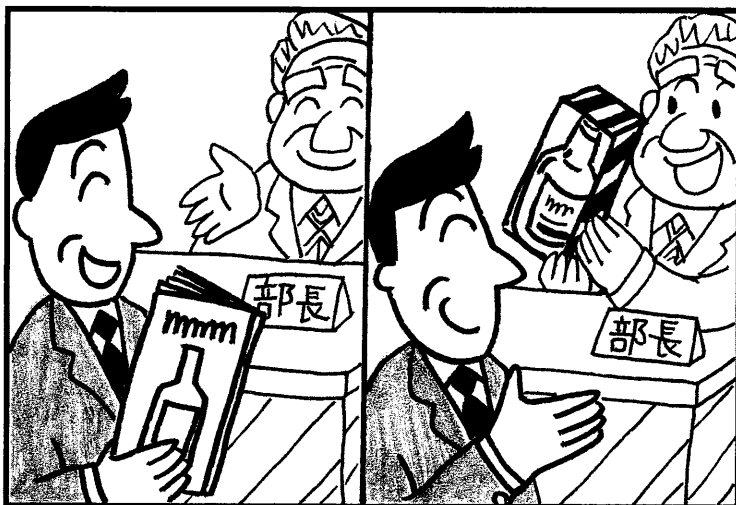
# 56 ～てみる

はこ  
あ  
箱を開けてみます



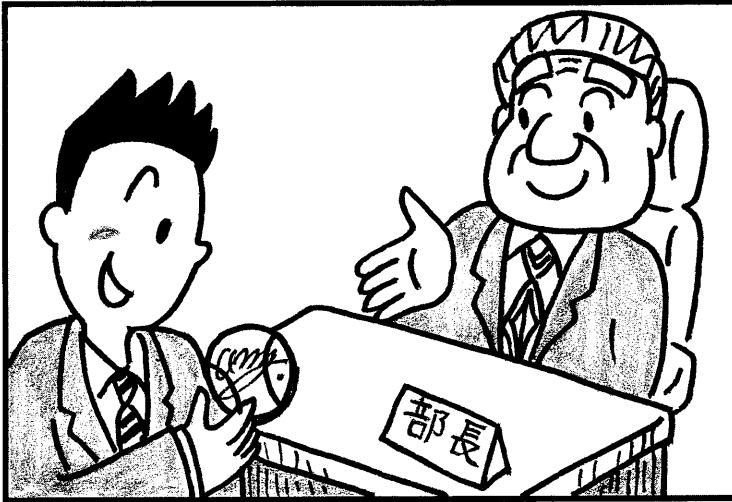
# 57 さしあげる・いただく

やまだ ぶちょう  
 山田さんは部長にワインをさしあげました。  
 やまだ ぶちょう ほん  
 山田さんは部長に本をいただきました

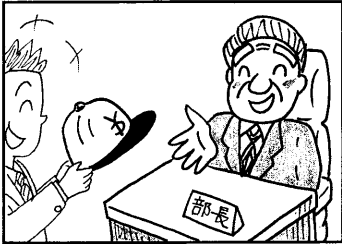


# 58 くださる・いただく

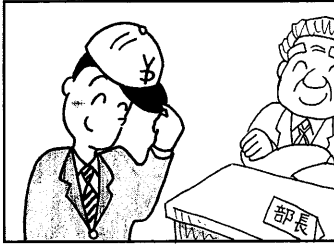
ぶちょう わたし  
部長は私にボールをくださいました。  
わたし ぶちょう  
私は部長にボールをいただきました



①



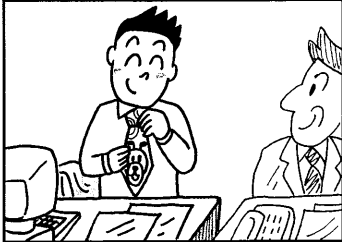
②



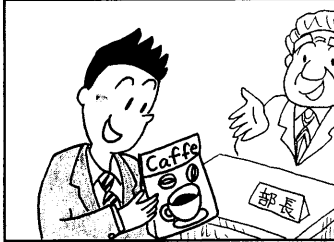
③



④



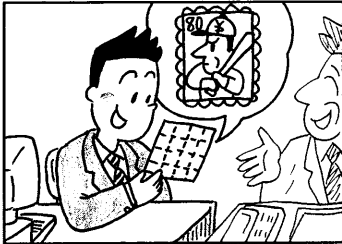
⑤



⑥



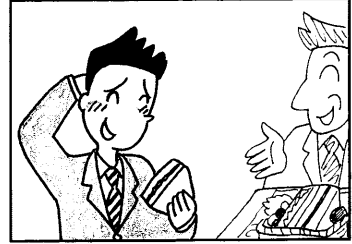
⑦



⑧

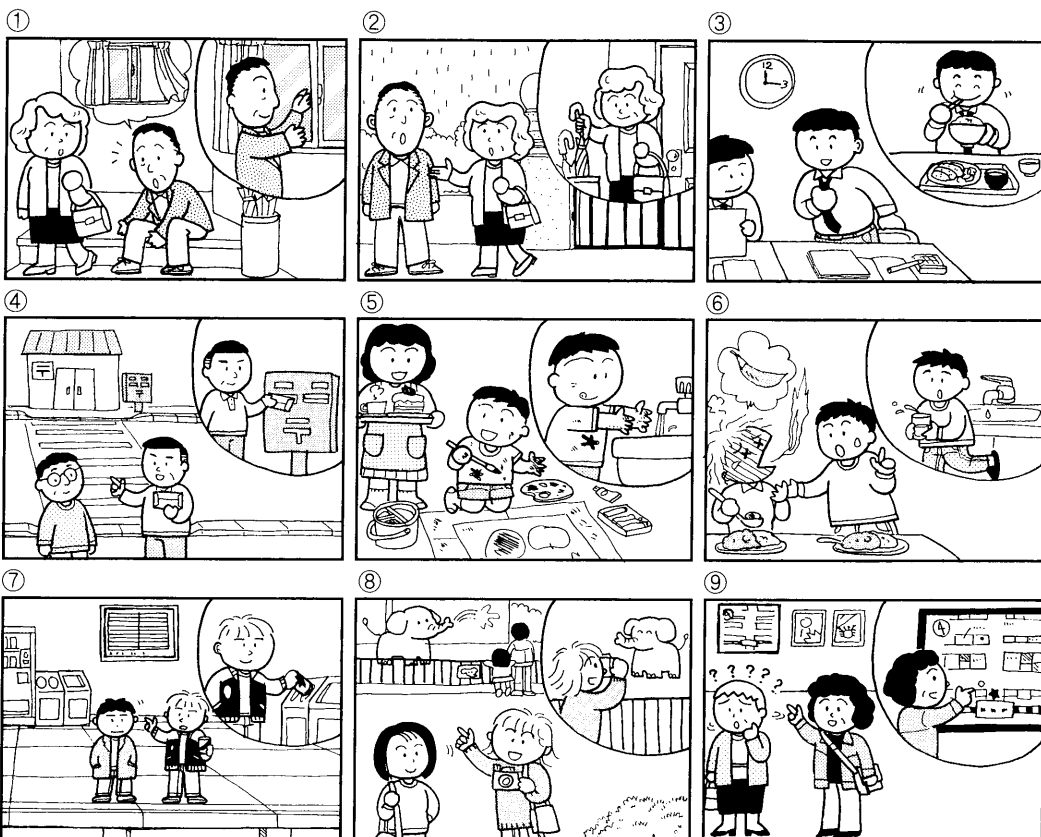
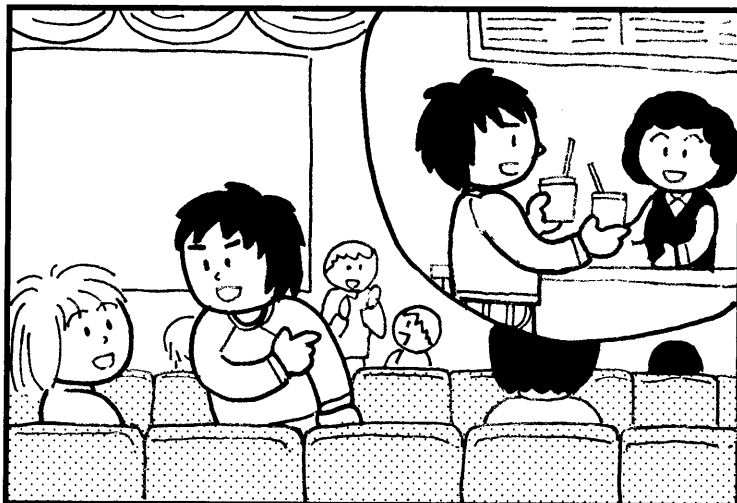


⑨



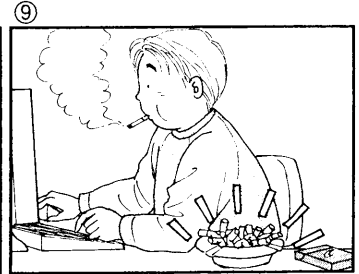
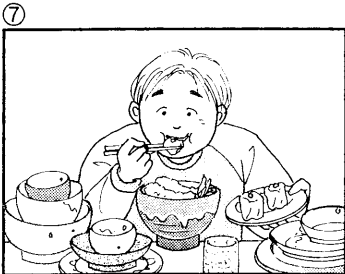
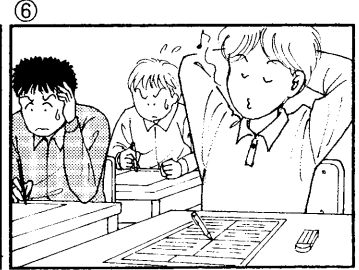
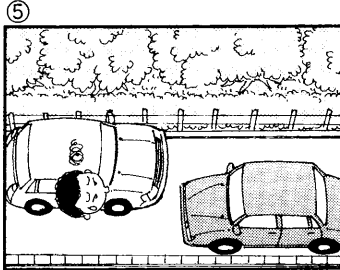
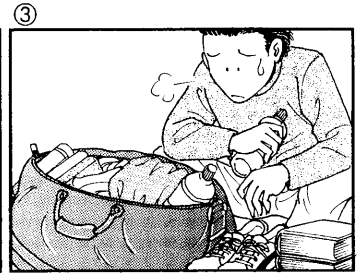
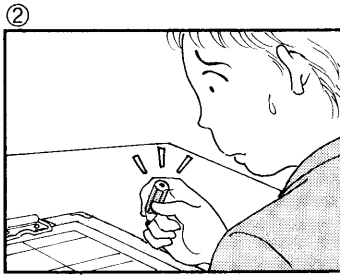
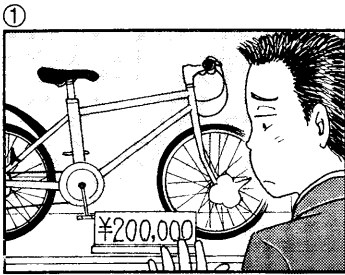
# 59 ～てくる

ジュースを買ってきます



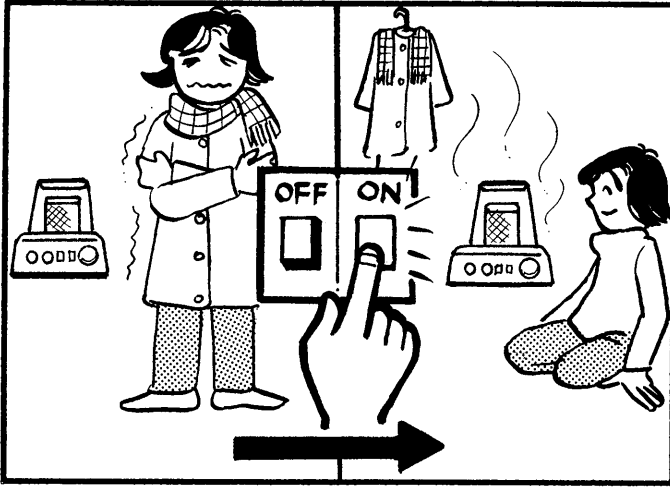
# 60 ～すぎる

この靴はくつ大きおおすぎます



# 61 ～くする・～にする

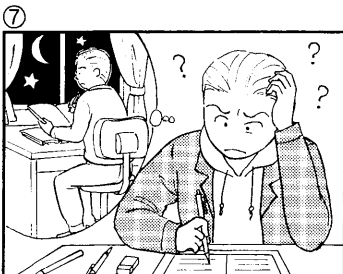
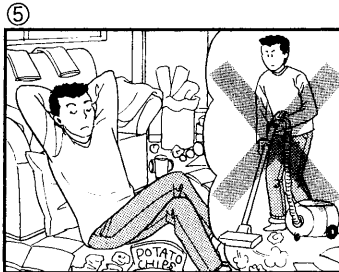
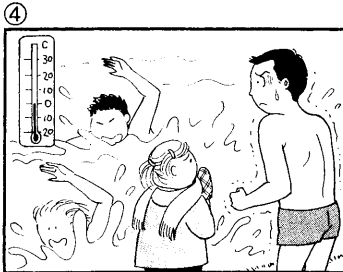
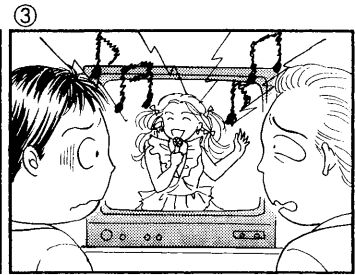
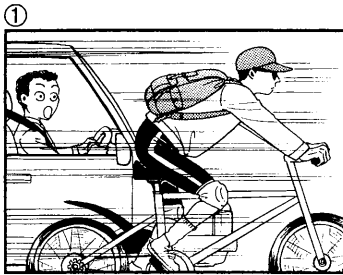
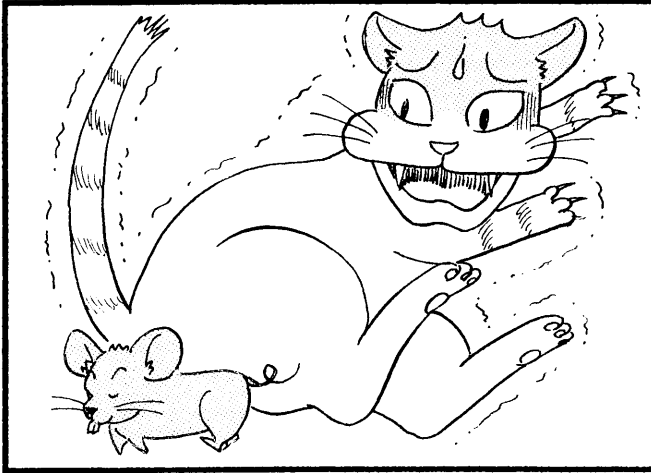
～<sup>や</sup>～<sup>あなた</sup>を暖かくします





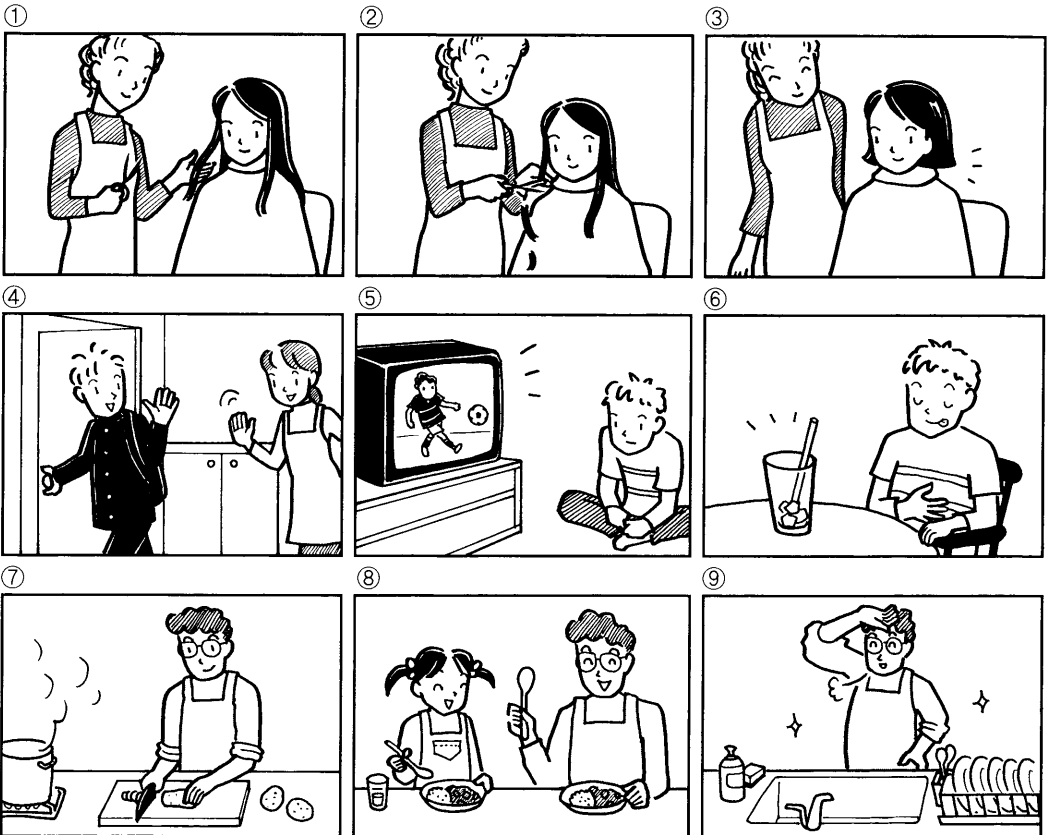
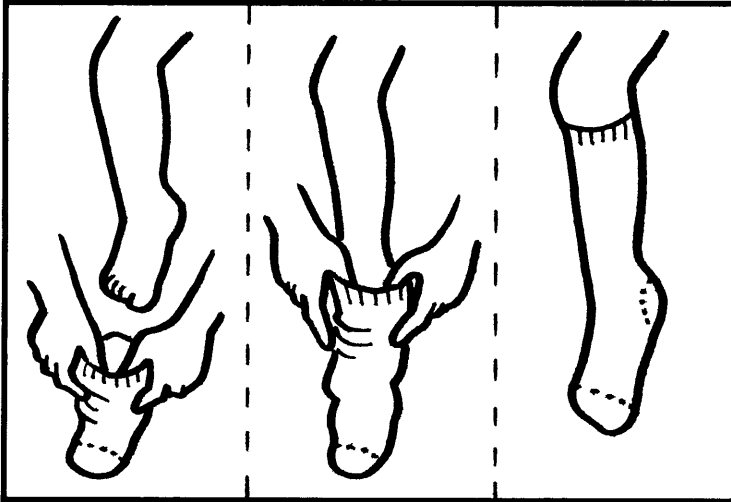
# 62 ~ のに

ねこ  
猫なのにねずみがこわいです



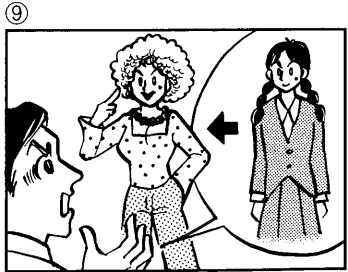
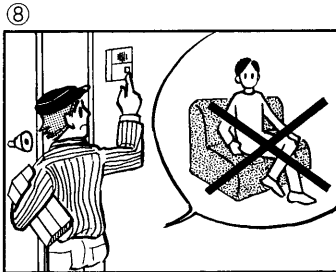
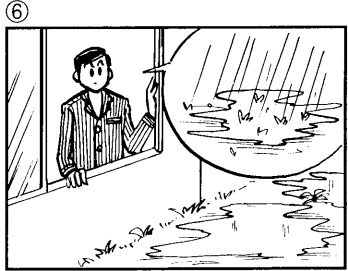
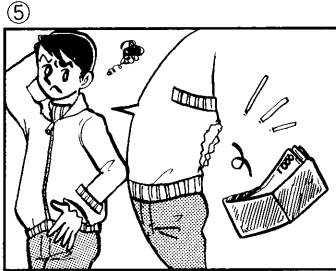
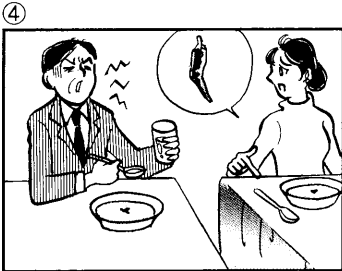
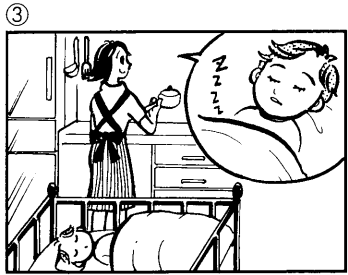
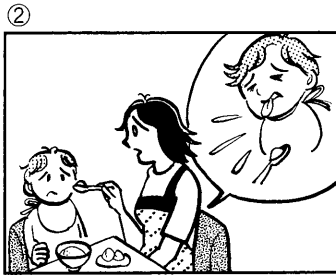
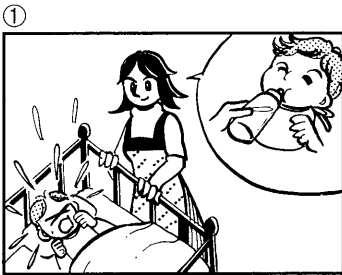
# 63 ～ところだ

くつした  
靴下をはくところです・くつした  
靴下をはいているところです・  
くつした  
靴下をはいたところです



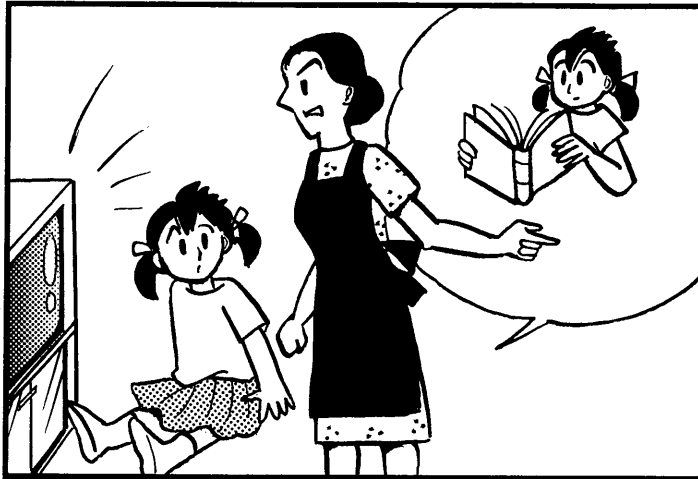
64 ～ようだ (状況からの判断)

かぜ  
風邪をひいたようです



# 65 しえき役

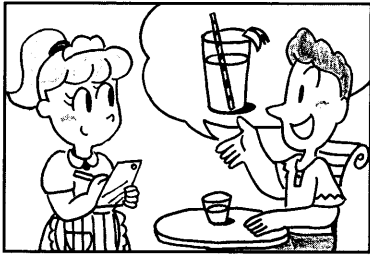
お母さんはかなさんに本を読ませます



# 導入・例文編

## 1 ~をください

ジュースをください



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「喫茶店です」。
- 2 まず、男の人を指し、次にジュースを指し「ジュース。言います」。
- 3 導入の文を提示する「ジュースをください」。

→ P.12



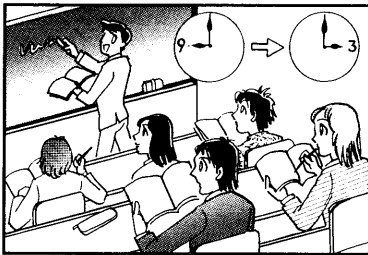
1の「喫茶店」が難しい場合、クラス全員が知っている喫茶店の名前を使うこともできる。

### 【例文】

- ① コーヒーをください。
- ② 水<sup>みず</sup>をください。
- ③ はがきをください。
- ④ 10円<sup>えん</sup>切手<sup>きって</sup>をください。
- ⑤ バナナをください。
- ⑥ テレホンカードをください。
- ⑦ プリンをください。
- ⑧ ハンバーガーをください。
- ⑨ ハンバーガーとコーヒーをください。

## 2 ~から~まで

学校は9時から3時までです



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「学校です。勉強します」。
- 2 左の時計を指し「9時」、右の時計を指し「3時」。
- 3 もう一度左の時計を指し、指を矢印にそわせて動かしながら「9時から」、右の時計で止めて「3時まで」。
- 4 教室の絵を指し「勉強します」。
- 5 3から4の動作を繰り返しながら導入の文を提示する「9時から3時まで勉強します」。

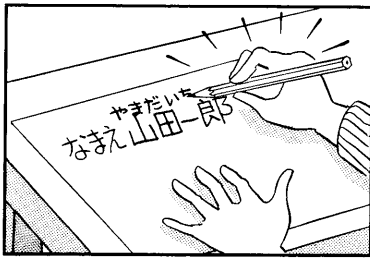
→ P.13

### 【例文】

- ① 仕事<sup>しごと</sup>（会社<sup>かいしゃ</sup>）は9時から5時までです。
- ② 映画<sup>えいが</sup>は10時から12時までです。
- ③ 学校<sup>がっこう</sup>は月曜日<sup>げつようび</sup>から金曜日<sup>きんようび</sup>までです。
- ④ 夏休み<sup>なつやすみ</sup>は8月10日<sup>がつとおか</sup>から8月18日<sup>がつにち</sup>までです。
- ⑤ 21世紀<sup>せいき</sup>は2001年<sup>ねん</sup>から2100年<sup>ねん</sup>までです。
- ⑥ テスト<sup>てすと</sup>は32ページ<sup>ぺいじ</sup>から48ページ<sup>ぺいじ</sup>までです。
- ⑦ レストラン<sup>れすとらん</sup>は11階<sup>かい</sup>から13階<sup>かい</sup>までです。
- ⑧ 切符<sup>きっぷ</sup>は東京<sup>とうきょう</sup>から京都<sup>きょうと</sup>までです。
- ⑨ （スクール）バス<sup>バス</sup>は駅<sup>えき</sup>から学校<sup>がっこう</sup>までです。

### 3 ～で (手段・道具)

鉛筆で名前を書きます



#### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「テストです」。
- 2 テスト用紙の名前の欄を指し「名前を書きます」。
- 3 鉛筆を指し「鉛筆」。
- 4 もう一度鉛筆を指し「鉛筆で」、名前欄を指し「名前を書きます」。
- 5 導入の文を提示する「鉛筆で名前を書きます」。

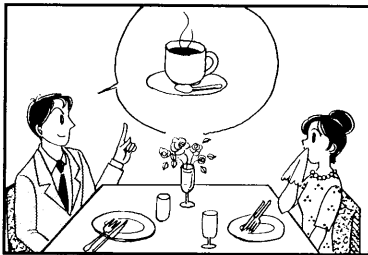
→ P.14

#### 【例文】

- ① はしでごはんを食べます。
- ② ラジオで音楽を聞きます。
- ③ 飛行機で日本へ来ました (行きます)。
- ④ コンピュータ (パソコン) で絵を描きます。
- ⑤ 自転車で学校へ行きます。
- ⑥ テレビで日本語を勉強します。
- ⑦ (テレホン) カードで電話をかけます (します)。
- ⑧ はさみで髪を切ります。
- ⑨ せっけんで手を洗います。

### 4 ～ませんか

コーヒーを飲みませんか



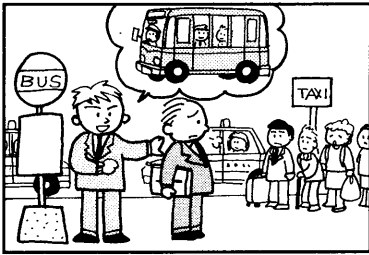
#### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「レストランです。男の人と女の人がごはんを食べました」。
- 2 吹出しを指し「男の人はコーヒーを飲みます。でも、女の方はコーヒーを飲みます、飲みません、わかりません。男の方は聞きます」。
- 3 導入の文を提示する「コーヒーを飲みませんか」。

→ P.15

#### 【例文】

- ① 映画を見ませんか。
- ② ごはんを食べませんか。
- ③ 音楽を聞きませんか。
- ④ ケーキを食べませんか。
- ⑤ ビールを飲みませんか。
- ⑥ 卓球 (ピンポン) をしませんか。
- ⑦ コンサートに行きませんか。
- ⑧ 船に乗りませんか。
- ⑨ 寝ませんか。



→ P.16

【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「サラリーマンです。会議があります。時間がありません」。
- 2 タクシー乗り場を指し「タクシーに乗ります。でも、人が多いです。遅いです」。
- 3 吹出しを指し「バスです。早いです。男の人は言います」。
- 4 導入の文を提示する「バスに乗りましょう」。

【例文】

- |                                                          |                               |                             |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| ① 座 <sup>すわ</sup> りましょう。                                 | ② 歌 <sup>うた</sup> いましょう。      | ③ 帰 <sup>かえ</sup> りましょう。    |
| ④ 映 <sup>えい</sup> 画 <sup>が</sup> を見 <sup>み</sup> ましょう。   | ⑤ ビールを飲 <sup>の</sup> みましよう。   | ⑥ ごはんを食 <sup>た</sup> べましよう。 |
| ⑦ 写 <sup>しや</sup> 真 <sup>しん</sup> を撮 <sup>と</sup> りましよう。 | ⑧ レストランへ行 <sup>い</sup> きましよう。 |                             |
| ⑨ タクシーに <sup>の</sup> 乗 <sup>の</sup> りましよう。               |                               |                             |





→ P.17

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「学校です。テストをします」。
- 2 先生が持っているテスト用紙を指し「名前を書きます」。
- 3 左の男の人のテスト用紙を指し「名前を書きました」。右の女の人のXを指し、首を横にふる。
- 4 導入の文を提示する。先生の?マークを指し「もう名前を書きましたか」。
- 5 導入の文を提示する。左の男の人を指し「はい、もう書きました」、右の女の人を指し「いいえ、まだです」。



「もう書きました」「いいえ、まだ書いていません」「まだ書いていません」を導入することもできる。

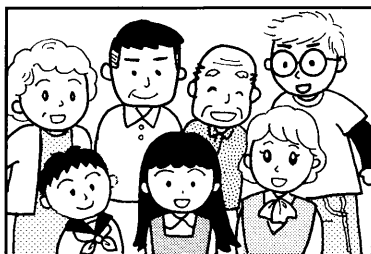
練習では質問文と解答文の両方を書くことを指示する。

## 【例文】

- ① 「もう写真を見ましたか。」 「いいえ、まだです (まだ見ていません)。」
- ② 「もうごはんを食べましたか。」 「はい、もう食べました。」
- ③ 「もう新聞を読みましたか。」 「はい、もう読みました。」
- ④ 「もう花を買いましたか。」 「いいえ、まだです (まだ買っていません)。」
- ⑤ 「もう薬を飲みましたか。」 「はい、もう飲みました。」
- ⑥ 「もう着物を着ましたか。」 「いいえ、まだです (まだ着ていません)。」
- ⑦ 「もうスキーをしましたか(スキーへ行きましたか)。」「はい、もうしました(もう行きました)。」
- ⑧ 「もう寝ましたか。」 「はい、(赤ちゃんは)もう寝ました。」
- ⑨ 「もう生まれましたか。」 「はい、(子犬は)もう生まれました。」

## 7 ～は～が

私は髪が長いです



→ P.18

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「私の家族です」。
- 2 前列、まん中の女の人を指し「私です」。
- 3 後列、左の女の人を指し「母」、隣の男の人を指し「父」、その隣の男の人を指し「祖父」、右端の男の人を指し「兄」、前列、左の女の人を指し「妹」、右端の女の人を指し「姉」。
- 4 前列、まん中の女の人を指し「私」、髪全体を指し「髪が長いです」。
- 5 4の動作を繰り返しながら導入の文を提示する「私は髪が長いです」。



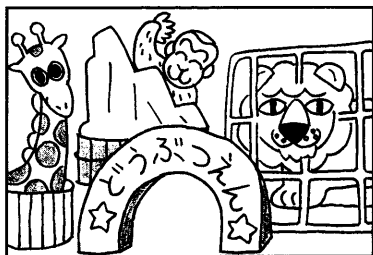
⑦から⑨は場所の特徴なので、もう一度導入しなおしてもよい。

### 【例文】

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| ① 妹は髪が短いです。               | ② 姉は目が大きいです。   |
| ③ 祖父は歯がきれい（じょうぶ）です。       | ④ 兄は犬が好きです。    |
| ⑤ 父は料理が上手です。              | ⑥ 母はねずみがきらいです。 |
| ⑦ このレストラン（ここ）はカレーがおいしいです。 |                |
| ⑧ この喫茶店（ここ）はコーヒーが安いです。    |                |
| ⑨ この場所（ここ）は景色がきれい（いい）です。  |                |

## 8 ～に～がいる・ある

動物園にライオンがいます



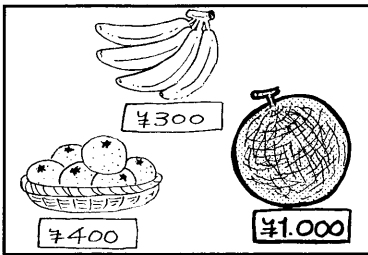
→ P.19

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「動物園です」。
- 2 ライオンを指し「ライオン」。
- 3 絵全体を指し「動物園に」、ライオンを指し「ライオンがいます」。
- 4 3の動作を繰り返して導入の文を提示する「動物園にライオンがいます」。
- 5 同じように、他の動物の呼称を導入し、導入の文を提示する「動物園にさるがいます」「動物園にきりんがいます」。

### 【例文】

- |                                      |                  |
|--------------------------------------|------------------|
| ① 部屋に猫がいます。                          | ② 家にどろぼうがいます。    |
| ③ 教室にピアノがあります。                       | ④ 机の上をめがねがあります。  |
| ⑤ 冷蔵庫の中にケーキがあります。                    | ⑥ いすの下にかばんがあります。 |
| ⑦ ドアの前に犬がいます。                        | ⑧ 木の後ろに子どもがいます。  |
| ⑨ 女の人のとなりに男の人がいます。（男の人のとなりに女の人がいます。） |                  |



→ P.20

## 【導入例】

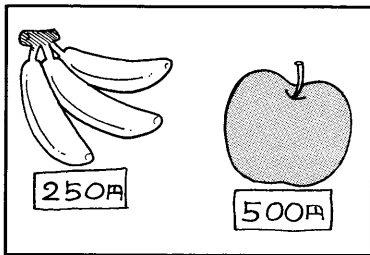
- 1 場面・状況を説明する「みかんです」「バナナです」「メロンです」。
- 2 みかんと値札を指し「みかんは400円です」。バナナと値札を指し「バナナは300円です」。メロンと値札を指し「メロンは1,000円です」。
- 3 バナナを指し「300円、安いです」。
- 4 メロンを指し「1,000円、高いです」。
- 5 導入の文を提示する。みかんとバナナとメロンを順番に指し「メロンがいちばん高いです」。



「大きい」と「小さい」、「速い」と「遅い」のように反対の形容詞が必ずしも対応するとは限らない。「涼しい」、「涼しくない」のように否定形で対応することもある。学習者の能力により、反対の文を提示するかどうかは判断する。

## 【例文】

- ① バスがいちばん遅い<sup>おそ</sup>です。
- ② ねずみがいちばん小<sup>ちい</sup>さいです。
- ③ 8月<sup>がつ</sup>がいちばん暑<sup>あつ</sup>いです。
- ④ 田中<sup>たなか</sup>さんがいちばん背<sup>せ</sup>が高<sup>たか</sup>いです。
- ⑤ 山田<sup>やまだ</sup>さんがいちばん髪<sup>かみ</sup>が長<sup>なが</sup>いです。
- ⑥ 鈴木<sup>すずき</sup>さんの部屋<sup>へや</sup>がいちばん広<sup>ひろ</sup>いです。
- ⑦ (お) すし屋<sup>や</sup>がいちばん近<sup>ちか</sup>いです。
- ⑧ エアコン (クーラー) がいちばん涼<sup>すず</sup>しいです。
- ⑨ 昼<sup>ひる</sup>がいちばん忙<sup>いそが</sup>しいです。



→ P.21

## 【導入例】

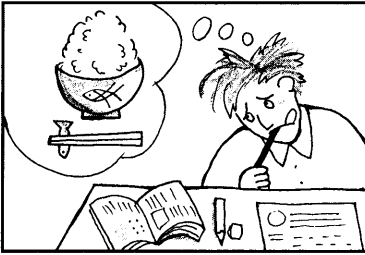
- 1 場面・状況を説明する。バナナを指し「バナナ」、りんごを指し「りんご。バナナとりんごを買います」。
- 2 バナナを指し「バナナは250円です」、りんごを指し「りんごは500円です。高いです」。
- 3 バナナ全体を指し「バナナ」、りんご全体を指し「りんご」、りんごの値札を指し「高いです」。
- 4 3の動作を繰り返しながら導入の文を提示する「バナナよりりんごのほうが高いです」。



比較するものの提出順を入れかえてもかまわない。例えば、「りんごよりバナナのほうが安いです」。

## 【例文】

- ① 犬より猫のほうが多<sup>おお</sup>いです。
- ② Aさんの部<sup>へ</sup>屋よりBさんの部<sup>や</sup>屋のほう<sup>ひろ</sup>が広<sup>ひろ</sup>いです。
- ③ 急<sup>きゅうこう</sup>行より特<sup>とっきゅう</sup>急のほう<sup>はや</sup>が速<sup>はや</sup>いです。
- ④ 子<sup>こ</sup>ども（男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>）のケ<sup>こ</sup>ーキより大<sup>おとな</sup>人（お父<sup>とう</sup>さん）のケ<sup>こ</sup>ーキのほう<sup>ちい</sup>が小<sup>ちい</sup>さいです。
- ⑤ 男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>より女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>のほう<sup>せ</sup>が背<sup>たか</sup>が高<sup>たか</sup>いです。
- ⑥ 冬<sup>ふゆ</sup>より夏<sup>なつ</sup>のほう<sup>じょうず</sup>がにぎ<sup>じょうず</sup>やかです。
- ⑦ スケ<sup>こ</sup>ートよりスキ<sup>こ</sup>ーのほう<sup>じょうず</sup>が上<sup>じょうず</sup>手<sup>ず</sup>です。
- ⑧ 男<sup>おとこ</sup>の<sup>ひと</sup>人より女<sup>おんな</sup>の<sup>ひと</sup>人のほう<sup>た</sup>がた<sup>た</sup>くさん<sup>た</sup>食<sup>た</sup>べ<sup>た</sup>ます。
- ⑨ 5月<sup>がつ</sup>より6月<sup>がつ</sup>のほう<sup>あめ</sup>が雨<sup>あめ</sup>がた<sup>あめ</sup>くさん<sup>あめ</sup>降<sup>あめ</sup>ります（多<sup>おお</sup>いです）。



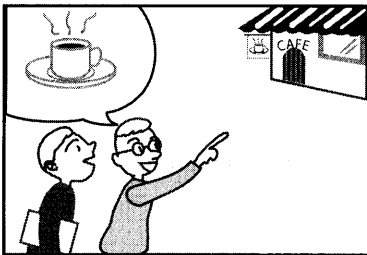
→ P.22

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「この人は、ごはんを食べませんでした。とてもお腹が空いています」。
- 2 吹出しの中の絵を指し「考えます。ごはんを食べます」。
- 3 男の人から吹出しまで指を動かし、吹出しの外枠を指でなぞりながら「ごはんを食べます」。もう一度その動作と言葉を繰り返す。
- 4 3と同じ動作で、言葉だけを変えて導入の文を提示する「ごはんが食べたいです」。

## 【例文】

- ① 水が飲みたいです。
- ② ケーキが食べたいです。
- ③ この映画が見たいです。
- ④ たばこが吸いたいです。
- ⑤ (歌が) 歌いたいです。
- ⑥ 旅行に行きたいです。
- ⑦ 家へ帰りたいです。
- ⑧ 遊びたいです。
- ⑨ 大学に入りたいです。



→ P.23

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「この人たちはコーヒーが飲みたいです」。
- 2 男の人から喫茶店に向かって指をすべらせながら「喫茶店へ行きます」。
- 3 吹出しのコーヒーを指し「コーヒーを飲みます」。
- 4 喫茶店を指し「喫茶店へ」、喫茶店に向かって指をすべらせながら「行きます」。コーヒーを指し「コーヒーを飲みます」。
- 5 喫茶店を指し「喫茶店へ」、コーヒーを指し「コーヒーを飲みに」、喫茶店に向かって指をすべらせながら「行きます」。
- 6 もう一度、喫茶店、コーヒー、喫茶店へ向かう道を順に指しながら、導入の文を提示する「喫茶店へコーヒーを飲みに行きます」。

## 【例文】

- ① アメリカへ英語を勉強しに行きます。
- ② 外へたばこを吸いに行きます。
- ③ スーパーへ卵を買いに行きます。
- ④ 郵便局へ手紙を出しに行きます。
- ⑤ 友だちの家へゲームをしに行きます。
- ⑥ プールへ泳ぎに行きます。
- ⑦ 日本へ勉強しにきました。
- ⑧ 日本へ柔道を習いにきました。
- ⑨ 日本へ英語を教えにきました。

### 13 ～てください

窓を開けてください



#### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「夏です」。
- 2 右の男の人を指し「暑いです」。
- 3 吹き出しを指し「窓を開けます。お願いします」。
- 4 導入の文を提示する「窓を開けてください」。

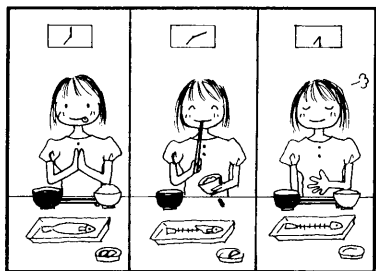
→ P.24

#### 【例文】

- ① 窓を閉めてください。
- ② 電気をつけてください。
- ③ 電気を消してください。
- ④ テープを聞いてください。
- ⑤ 黒板を見てください。
- ⑥ 本を読んでください。
- ⑦ 名前を書いてください。
- ⑧ 写真を撮ってください。
- ⑨ あそこへ（1番へ）行ってください。

### 14 ～ている（進行）

ごはんを食べています



→ P.25

#### 【導入例】

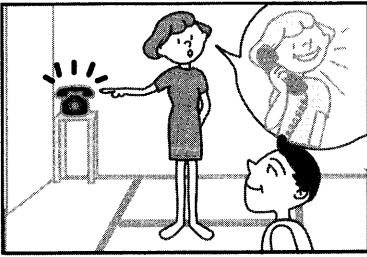
- 1 左の絵を指し「7時です。ごはんを食べます。『いただきます』」。
- 2 右の食べ終わった絵を指し「7時半です。ごはんを食べました。『おいしかったです』」。
- 3 中央の絵を指し「おいしいです」。
- 4 中央の絵を指し、導入の文を提示する「ごはんを食べています」。
- 5 時間の流れに沿って、左から順に絵を指し、繰り返す「食べます」「食べています」「食べました」。

#### 【例文】

- ① 絵（花）を描いています。
- ② 服を脱いでいます。
- ③ 部屋をそうじしています。（部屋のそうじをしています。）
- ④ テレビを見ています。
- ⑤ ミルクを飲んでいます。
- ⑥ 新聞を読んでいます。
- ⑦ 友だち（恋人）を待っています。
- ⑧ （お）風呂に入っています。
- ⑨ 友だちと話しています。

## 15 ～てもいい

電話を使ってもいいですか



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「ここは、男の人の家です。女の人は男の人の友だちです」。
- 2 吹出しを指し「女の人は電話を使いたいです」。
- 3 女の人を指し「女の人が男の人に聞きます。電話を使います。いいですか」。
- 4 導入の文を提示する「電話を使ってもいいですか」。

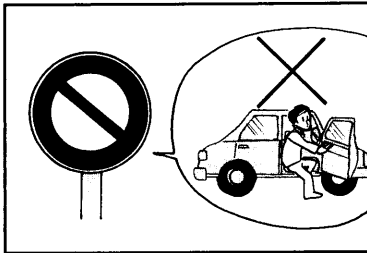
→ P.26

### 【例文】

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| ① アルバム (写真) を見てもいいですか。    | ② ギターを弾いてもいいですか。    |
| ③ エアコン (クーラー) を消してもいいですか。 | ④ 窓を閉めてもいいですか。      |
| ⑤ たばこを吸ってもいいですか。          | ⑥ 写真を撮ってもいいですか。     |
| ⑦ テレビをつけてもいいですか。          | ⑧ (お) 風呂に入ってもいいですか。 |
| ⑨ (ここに) 座ってもいいですか。        |                     |

## 16 ～てはいけない

車をとめてはいけません



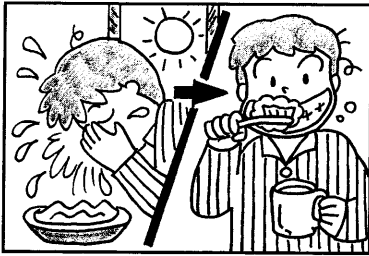
### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。吹出しを指し「車をとめます」。標識を指し「だめです」。
- 2 導入の文を提示する「車をとめてはいけません」。

→ P.27

### 【例文】

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| ① たばこを吸ってはいけません。           | ② 写真を撮ってはいけません。      |
| ③ 絵に触ってはいけません。             | ④ 野球をしてはいけません        |
| ⑤ 釣りをしてはいけません。             | ⑥ (携帯) 電話をかけてはいけません。 |
| ⑦ ごみ (カン) を捨ててはいけません。      | ⑧ 車を運転してはいけません。      |
| ⑨ お菓子 (キャンディー) を食べてはいけません。 |                      |



→ P.28

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「朝です」。
- 2 左の絵を指し「顔を洗います」。
- 3 指を徐々に右へ動かし、絵と絵の仕切り線辺りで止め「洗いました」。
- 4 指をさらに右へ動かし、右の絵を指し「歯をみがきます」。
- 5 左の絵を指し「顔を洗います」。
- 6 右の絵を指し「歯をみがきます」。
- 7 導入の文を提示する「顔を洗って歯をみがきます」。

## 【例文】

- ① 歯をみがいて寝ます。
- ② 部屋に入って電気をつけます。
- ③ ジョギングをしてシャワーを浴びます。
- ④ コートを脱いでいす(の上)におきます。
- ⑤ 映画を見てコーヒーを飲みます。
- ⑥ 切符を買って電車に乗ります。
- ⑦ お湯を入れて3分待ちます。
- ⑧ 1万円を出しておつりをもらいます。(1万円を払って5,200円もらいます。)
- ⑨ 猫が来て魚を食べます。





→ P.29

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。左の絵の女の人を指し「私は日本に住んでいます」。左の写真の男の人を指し「この人は外国に住んでいます。今日、日本へ来ます。私の家へ来ます」。
- 2 左の写真の男の人を指し「私はこの人を知りません」、右の絵を指し「今日、空港ではじめて会います」。
- 3 左の写真を指し「写真を見ます」、右の絵を指し「会います」。
- 4 左の写真を指し「写真を見て」、矢印を指し「から」、右の絵を指し「会います」。
- 5 4の動作を繰り返しながら導入の文を提示する「写真を見てから会います」。



1の「日本」は、他の国や地域にしてもよい。また、「外国」は具体的な国や地域名をあげてもよい。

## 【例文】

- ① ごはんを食べてから歯をみがきます。
- ② 手を洗ってからごはんを食べます。
- ③ 窓を開けてからタバコを吸います。
- ④ 新聞を読んでからでかけます（会社・仕事へ行きます）。
- ⑤ テレビをつけてから電気をつけます。
- ⑥ 洗濯をしてからそうじをします。
- ⑦ 食事をしてから（食べてから）お金を払います。
- ⑧ お金を入れてからボタンを押します。
- ⑨ パソコン（コンピュータ）を買ってから（パソコン [コンピュータ] を）習います（勉強強めます）。



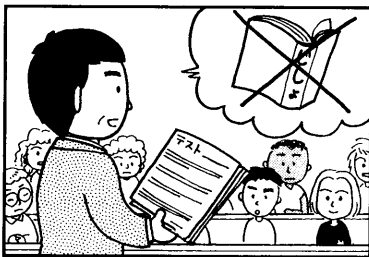
→ P.30

## 【導入例】

- 1 黒いかばんを円で囲み「このかばんは大きいです」。
- 2 黒いかばんの中央辺りを指し「このかばんは黒いです」。
- 3 黒いかばんを円で囲み「このかばんは大きいです」。
- 4 黒いかばんの中央辺りを指し「黒いです」。
- 5 導入の文を提示する「このかばんは大きくて黒いです」。
- 6 同じように、白いかばんを円で囲み「このかばんは小さいです」。
- 7 白いかばんの中央辺りを指し「このかばんは白いです」。
- 8 導入の文を提示する「このかばんは小さくて白いです」。

## 【例文】

- ① (この木は) 長くて重いです。
- ② (この店は) 安くておいしいです。
- ③ (この店は) 高くておいしくありません。
- ④ (私の部屋は) 狭くて暑いです。
- ⑤ (あの山は) 高くて遠いです。
- ⑥ (この山は) 低くて近いです。
- ⑦ はやくて簡単(便利)です。
- ⑧ (この公園は) うるさくて汚いです。
- ⑨ (この公園は) 静かできれいです。



→ P.31

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「学校です。先生です。テストをします」。
- 2 吹出しを指し「辞書を見ます。だめです」。
- 3 導入の文を提示する「辞書を見ないでください」。

## 【例文】

- ① 写真を撮らないでください。
- ② 絵に触らないでください。
- ③ お酒を飲まないでください。
- ④ (お)風呂に入らないでください。
- ⑤ たばこを吸わないでください。
- ⑥ 砂糖を入れないでください。
- ⑦ 窓を開けないでください。
- ⑧ お酒(ワイン)を飲まないでください。
- ⑨ 窓を閉めないでください。

## 21 ~なければならない

5時に起きなければなりません



→ P.32

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「夜です。男の人は寝ます」。
- 2 吹出しを指し「男の人は明日、ロンドンへ行きます。朝8時の飛行機に乗ります。家から空港まで遠いです」。
- 3 時計を指し「朝、5時に起きます。朝、起きません、だめです」。
- 4 導入の文を提示する「5時に起きなければなりません」。



2の「空港」の代わりに、クラス全員が知っている国際空港名を使うこともできる。

### 【例文】

- ① お皿を洗わなければなりません。
- ② 勉強しなければなりません。
- ③ シートベルトをしなければなりません。
- ④ 薬を飲まなければなりません。
- ⑤ 靴を脱がなければなりません。
- ⑥ セーターを買わなければなりません。
- ⑦ 階段をあがらなければ（階段で行かなければ）なりません。
- ⑧ 水をやらなければ（あげなければ）なりません。
- ⑨ 洗濯しなければなりません。

## 22 ~なくてもいい

傘をささなくてもいいです



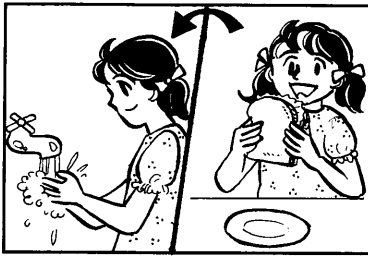
→ P.33

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「女の人は買い物をします。雨です」。
- 2 吹出しを指し「傘をさします。買い物をします。大変です。いやです」。
- 3 「すずらん通り」を指し「道です。屋根があります。傘をさしません。だいじょうぶです」。
- 4 導入の文を提示する「傘をささなくてもいいです」。

### 【例文】

- ① 歩かなくてもいいです。
- ② 階段をあがらなくても（のぼらなくても）いいです。
- ③ 荷物を持たなくてもいいです。
- ④ 水をやらなくても（あげなくても）いいです。
- ⑤ エアコン（クーラー）をつけなくてもいいです。
- ⑥ 学校に行かなくてもいいです。
- ⑦ 料理をしなくても（作らなくても）いいです。
- ⑧ お皿を洗わなくてもいいです。
- ⑨ そうじをしなくてもいいです。



→ P.34

## 【導入例】

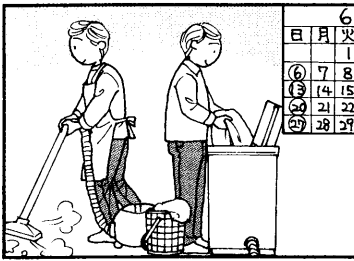
- 1 場面・状況を説明する。左の絵を指し「手を洗います」。
- 2 右の絵を指し「ごはんを食べます」。
- 3 右の絵を指し「ごはんを食べます」、矢印にそって指を動かしながら「まえに」、左の絵を指し「手を洗います」。
- 4 同じ動作を繰り返しながら導入の文を提示する「ごはんを食べるまえに手を洗います」。



3は動作と並行しながら、前文、「まえに」、後文の間に少しポーズを入れ、はっきりと聞かせる。4は一文の流れを止めないように動作と並行しながら言う。右の絵から言い始めることに注目させる。

## 【例文】

- ① 寝るまえに歯をみがきます。
- ② 寝るまえに本を読みます。
- ③ そうじをするまえに窓を開けます。
- ④ (ハンバーガーを) 食べるまえにお金を払います。
- ⑤ 買い物をするまえに銀行へ行きます。
- ⑥ フランスへ行くまえにフランス語を勉強します。
- ⑦ 泳ぐまえにシャワーを浴びます。
- ⑧ 電車(新幹線)に乗るまえにジュースを買います。
- ⑨ 歯医者(病院)へ行くまえに歯をみがきます。



→ P.35

## 【導入例】

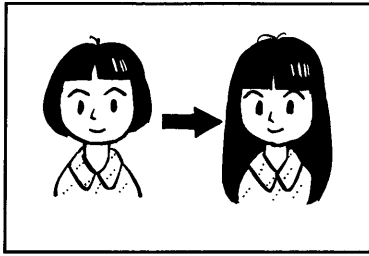
- 1 カレンダーの日曜日を指し、場面・状況を説明する「日曜日です。日曜日にいろいろなことをします」。
- 2 左の男の人を指し「そうじをします」、右の男の人を指し「洗濯をします」。
- 3 「例えば」、指を1本たて「そうじをします」、指を2本たて「洗濯をします」、指を3本たて「テレビを見ます」、指を4本たて「本を読みます」、指を1、2、3、4、と見せながら「いろいろなことをします」。
- 4 左の男の人を指し「例えば、そうじをしたり」、右の男の人を指し「洗濯をしたりします」。
- 5 指でカレンダーの日曜日から、左の絵、右の絵へすべらせながら、導入の文を提示する「日曜日にそうじをしたり洗濯をしたりします」。



絵は2つの動作しかないので、いくつかすることを教師があげる、あるいは学習者に聞いて言ってもらい、複数のすることの中からいくつかを言うときに使うということがわかるようにする。

## 【例文】

- ① 日曜日に買い物へ行ったり（買い物をしたり）（犬と）散歩したりします。
- ② 日曜日に野球をしったり泳いだりします。
- ③ 土曜日に（友だちと）映画を見たりコーヒーを飲んだりします（話をしたりします）。
- ④ 朝、テレビを見たり花に水をやったり（あげたり）します。
- ⑤ 昼、ごはんを食べたり新聞を読んだりします。
- ⑥ 夜、電話をしったり（かけたり）（お）風呂に入ったりします。
- ⑦ 図書館で勉強したり雑誌（本）を読んだりします。
- ⑧ （携帯）電話で写真を撮ったりメールをしったりします。
- ⑨ コンピュータ（パソコン）で買い物をしたり音楽を聞いたりします。



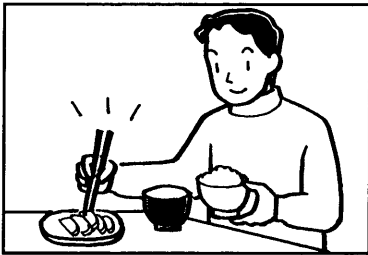
## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「女の子です」。
- 2 左の絵を指し「髪が短いです」。
- 3 右の絵を指し「長いです」。
- 4 左の絵から右の絵へ指をすべらせながら導入の文を提示する「髪が長くなります」。

→ P.36

## 【例文】

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ① 鉛筆が短くなります。    | ② 赤ちゃんが重くなります。 |
| ③ 消しゴムが小さくなります。 | ④ 服が安くなります。    |
| ⑤ 部屋が狭くなります。    | ⑥ 家が暗くなります。    |
| ⑦ 子どもが元気になります。  | ⑧ 公園が静かになります。  |
| ⑨ 川が安全になります。    |                |



## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。男の人全体を指で囲み「ごはんを食べます」。
- 2 はしを指し「はし。はしを使います」。
- 3 男の人の口元あたりを指し「ごはんを食べるとき、はしを指し「はしを使います」。
- 4 導入の文を提示する「ごはんを食べるとき、はしを使います」。

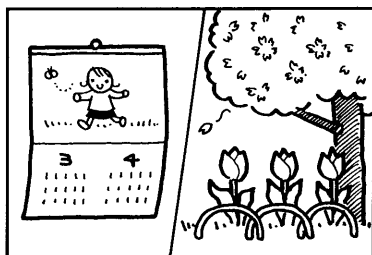
→ P.37

## 【例文】

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ① 手紙を書くとき、ペンを使います。  | ② コーヒーを飲むとき、砂糖を入れます。 |
| ③ 勉強するとき、辞書をひきます。   | ④ 新聞を読むとき、めがねをかけます。  |
| ⑤ 料理をするとき、エプロンをします。 | ⑥ 寒いとき、ストーブをつけます。    |
| ⑦ 頭が痛いとき、薬を飲みます。    | ⑧ 地震のとき、火を消します。      |
| ⑨ 風邪のとき、病院へ行きます。    |                      |

## 27 ～と（一般条件・反復条件）

春になると花が咲きます



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「日本です。春です」。
- 2 左の絵を指し「春になります」。
- 3 右の絵を指し「いつも、花が咲きます」。
- 4 左の絵を指し「春になります」。
- 5 右の絵を指し「花が咲きます」。
- 6 導入の文を提示する「春になると花が咲きます」。

→ P.38



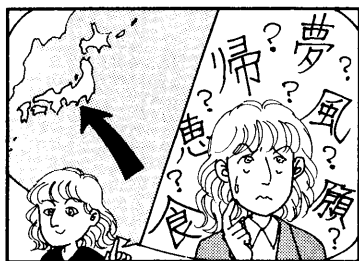
1の「日本です」は、クラス全員が知っている国や地域名を使うこともできる。

### 【例文】

- ① 冬になると雪が降ります。
- ② お酒を飲むと頭が痛くなります。
- ③ 本を読むと眠くなります。
- ④ 階段をあがる（のぼる）と疲れます。
- ⑤ 飛行機に乗ると耳が痛くなります。
- ⑥ バスに乗ると気持ち（気分）が悪くなります。
- ⑦ 左に曲がると花屋があります。
- ⑧ まっすぐ行くと銀行があります。
- ⑨ 右に曲がると病院があります。

## 28 ～たとき

日本へ来たとき、漢字がわかりませんでした



→ P.39

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「留学生です。国で漢字を勉強しませんでした」。
- 2 左の絵の女の人を指し、矢印の方向に指をすべらせ「日本へ来ました」。
- 3 吹出しの右の漢字を指し「漢字です」、女の人を指し「わかりませんでした」。
- 4 吹出しの右を指し「漢字がわかりませんでした」。
- 5 導入の文を提示する「日本へ来たとき、漢字がわかりませんでした」。

### 【例文】

- ① 友だちが来たとき、ビールを飲みました。
- ② 飛行機に乗ったとき、富士山を見ました。
- ③ 映画を見たとき、泣きました。
- ④ ハワイへ行ったとき、踊りました。
- ⑤ 地震が来たとき、火を消しました。
- ⑥ 電車を降りたとき、ころびました。
- ⑦ 泳いだとき、寒かったです。
- ⑧ アイスクリームを食べたとき、歯が痛かったです。
- ⑨ ころんだとき、けがをしました。

## 29 あげる・もらう

林さんは山田さんにプレゼントをあげました・  
山田さんは林さんにプレゼントをもらいました



→ P.40

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。女の人を指し「林さん」、男の人を指し「山田さん。今日は山田さんの誕生日です」。
- 2 プレゼントを指し「プレゼント」。
- 3 指を林さんから山田さんに動かしながら「あげました」。
- 4 林さんを指し「林さん」、山田さんを指し「山田さん」、プレゼントを指しながら「プレゼント」、指をプレゼントから山田さんにすべらせながら「あげました」。
- 5 4と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「林さんは山田さんにプレゼントをあげました」。
- 6 山田さんを指し「山田さん」、林さんを指し「林さん」、プレゼントを指し「プレゼント」、指をプレゼントから山田さんにすべらせながら「もらいました」。
- 7 6と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「山田さんは林さんにプレゼントをもらいました」。



ここではやりとりが終わったものとして、全て過去形にしている。「あげる」と「もらう」を一緒に導入すると混乱しそうな場合は、分ける。太い線の人物を主格にして文を作るように指示すると、主格により「あげる」「もらう」のどちらを使えばよいか学習者に判断させることができる。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

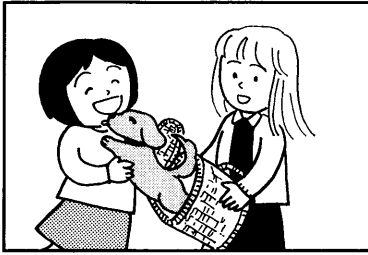
### 【例文】

- ① 林<sup>はやし</sup>さんは山田<sup>やまだ</sup>さんに本<sup>ほん</sup>をあげました。
- ② 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんに本<sup>ほん</sup>をもらいました。
- ③ 林<sup>はやし</sup>さんは山田<sup>やまだ</sup>さんに時計<sup>とけい</sup>をあげました。
- ④ 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんに時計<sup>とけい</sup>をもらいました。
- ⑤ 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんにりんご<sup>りんご</sup>をあげました。
- ⑥ 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんに花<sup>はな</sup>をもらいました。
- ⑦ 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんにネクタイ<sup>ネクタイ</sup>をもらいました。
- ⑧ 山田<sup>やまだ</sup>さんは林<sup>はやし</sup>さんに帽子<sup>ぼうし</sup>をあげました。
- ⑨ 林<sup>はやし</sup>さんは山田<sup>やまだ</sup>さんに指輪<sup>ゆびわ</sup>をもらいました。



## 30 くれる・もらう

林さんは私に犬をくれました・  
私は林さんに犬をもらいました



→ P.41

### 【導入例】

- 1 左の女の人を指し「私」、右の女の人を指し「林さん」。  
2 人を交互に指し「林さんは私の友だちです」。
- 2 場面・状況を説明する。私を指し「私は犬が大好きです」。犬を指し「林さんの犬です」。
- 3 犬を指し、次に林さんを指し、そこから私へ指をすべらせながら「くれました」。
- 4 林さんを指し「林さん」、私を指し「私」、犬を指し「犬」、指を林さんから私にすべらせながら「くれました」。
- 5 4と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「林さんは私に犬をくれました」。
- 6 私を指し「私」、林さんを指し「林さん」、犬を指し「犬」、指を林さんから私にすべらせながら「もらいました」。
- 7 6と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「私は林さんに犬をもらいました」。

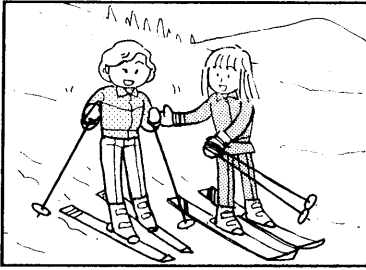


ここではやりとりが終わったものとして、全て過去形にしている。「くれる」と「もらう」を一緒に導入すると混乱しそうな場合は、分ける。太い線の人物を主格にして文を作るように指示すると、主格により「くれる」「もらう」のどちらを使えばよいか学習者に判断させることができる。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

### 【例文】

- ① 林<sup>はやし</sup>さんは私<sup>わたし</sup>にケーキをくれました。
- ② 私<sup>わたし</sup>は林<sup>はやし</sup>さんにケーキをもらいました。
- ③ 林<sup>はやし</sup>さんは私<sup>わたし</sup>に花<sup>はな</sup>をくれました。
- ④ 私<sup>わたし</sup>は林<sup>はやし</sup>さんに花<sup>はな</sup>をもらいました。
- ⑤ 林<sup>はやし</sup>さんは私<sup>わたし</sup>にカップをくれました。
- ⑥ 私<sup>わたし</sup>は林<sup>はやし</sup>さんに時計<sup>とけい</sup>をもらいました。
- ⑦ 私<sup>わたし</sup>は林<sup>はやし</sup>さんに絵<sup>え</sup>(写真<sup>しやしん</sup>)をもらいました。
- ⑧ 私<sup>わたし</sup>は林<sup>はやし</sup>さんにくだものをもらいました。
- ⑨ 林<sup>はやし</sup>さんは私<sup>わたし</sup>に自転車<sup>じてんしゃ</sup>をくれました。

31 ~てあげる・~てもらう 林さんは上田さんにスキーを教えてあげました・  
上田さんは林さんにスキーを教えてもらいました



→ P.42

【導入例】

- 1 右の女の人を指し「林さん」、左の女の人を指し「林さんの友だちの上田さんです」。
- 2 林さんを指し「林さんはスキーが上手ですが」、上田さんを指し「上田さんは上手じゃありません」。
- 3 指を林さんから上田さんにすべらせながら「林さんはスキーを教えます」。
- 4 もう一度、指を林さんから上田さんにすべらせながら「あげました」。
- 5 林さんを指し「林さんは」、上田さんを指し「上田さんに」、指を林さんから上田さんに動かしながら「スキーを教えてあげました」。
- 6 5と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「林さんは上田さんにスキーを教えてあげました」。
- 7 上田さんを指し「上田さんは」、林さんを指し「林さんに」、指を林さんから上田さんにすべらせながら「もらいました」。
- 8 7と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「上田さんは林さんにスキーを教えてもらいました」。



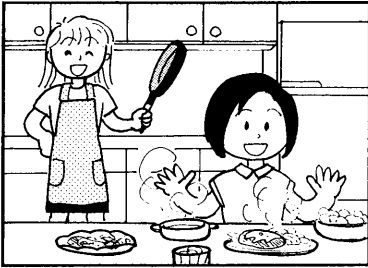
林さんは「あげる・もらう」で登場した人物なので、あらかじめ復習し、それが理解されていることを確認してから導入するとよい。  
太い線の人物を主格にして文を作るように指示すると、主格により「~てあげる」「~てもらう」のどちらを使えばよいか学習者に判断させることができる。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

【例文】

- ① 林さんは上田さんに料理を作<sup>つく</sup>ってあげました。
- ② 上田さんは林さんに料理を作<sup>つく</sup>ってもらいました。
- ③ 林さんは上田さんにタオルを貸<sup>か</sup>してあげました (渡<sup>わた</sup>してあげました)。
- ④ 上田さんは林さんにタオルを貸<sup>か</sup>してもらいました。
- ⑤ 上田さんは林さんに塩<sup>しお</sup>を取<sup>と</sup>ってもらいました。
- ⑥ 林さんは上田さんに塩<sup>しお</sup>を取<sup>と</sup>ってあげました。
- ⑦ 林さんは子どもにドア<sup>か</sup>を開<sup>あ</sup>けてあげました。
- ⑧ おばあさんは林さんに荷物<sup>にもつ</sup>を持<sup>も</sup>ってもらいました。
- ⑨ 子どもは林さんにボタン<sup>か</sup>を押<sup>お</sup>してもらいました (ジュースを買<sup>か</sup>ってもらいました)。

## 32 ~てくれる・~てもらう

林さんは料理を作ってくれました・  
林さんに料理を作ってもらいました



→ P.43

### 【導入例】

- 1 料理を前に喜んでいる女の人を指し「私です」。料理を作った女の人を指し「林さんです。私の友だちです」。
- 2 場面・状況を説明する。林さんを指し「林さんは料理が上手ですが」、私を指し「私は上手じゃありません」。
- 3 林さんを指し「林さんは料理を作ります」。
- 4 指を林さんから私にすべらせながら「くれました」。
- 5 林さんを指し「林さんは」、指を林さんから私に動かしながら「料理を作ってくれました」。
- 6 5と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「林さんは料理を作ってくれました」。
- 7 指を林さんから私にすべらせながら「もらいました」。
- 8 7と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「林さんに料理を作ってもらいました」。



31の「~てあげる・~てもらう」が理解されていることを確認してから導入するとよい。

自分の家族などにも「ウチ」と「ソト」の関係で「くれる」を使うが、ここでは「自分」のケースだけを扱った。

受益者がすべて「私」であるため、文型から「私」を省略し、「(私は) 林さんに料理を作ってもらいました」「林さんは(私に)料理を作ってくれました」とした。

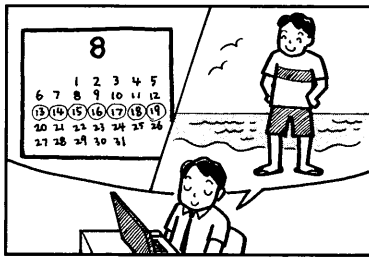
太い線の人物を主格にして文を作るように指示すると、主格により「~てくれる」「~てもらう」のどちらを使えばよいか学習者に判断させることができる。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

### 【例文】

- ① 林さんはパソコンを教<sup>おし</sup>てくれました。
- ② 林さんにパソコンを教<sup>おし</sup>てもらいました。
- ③ 林さんは荷物(かばん)を持<sup>もつ</sup>てくれました。
- ④ 林さんに自転車<sup>じてんしゃ</sup>を直<sup>なお</sup>してもらいました。
- ⑤ 林さんは本<sup>ほん</sup>を拾<sup>ひろ</sup>ってくれました。
- ⑥ 母はセーター<sup>おく</sup>を送<sup>おく</sup>てくれました。
- ⑦ 父にバッグ<sup>か</sup>を買<sup>か</sup>ってもらいました。
- ⑧ 店の人は地図<sup>ちず</sup>を書<sup>か</sup>いてくれました。
- ⑨ 店の人<sup>ひと</sup>に写真<sup>しやしん</sup>を撮<sup>と</sup>ってもらいました。

### 33 ～たら（仮定条件）

1週間、休みがあったら海へ行きます



→ P.44

#### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「男の人は会社で働いています。忙しいです」。
- 2 吹出しの左のカレンダーを指し「8月です。休みがほしいです。でも、休みがありますか、休みがありませんか、まだわかりません」。
- 3 男の人を指し「考えます」。
- 4 カレンダーの丸のついたラインを指し「1週間、休みがあります」。
- 5 吹出しの右を指し「海へ行きます」。
- 6 導入の文を提示する「1週間、休みがあったら海へ行きます」。

#### 【例文】

- ① 海へ行ったら釣りをします。
- ② 魚が釣れたら食べます。
- ③ 寒かったら泳ぎません。
- ④ 暑かったら泳ぎます。
- ⑤ お酒を飲んだら運転しません。
- ⑥ お金があったら車を買います。
- ⑦ 晴れたら（晴れだったら）山に登ります。
- ⑧ 雨が降ったら（雨だったら）テニスをしません。
- ⑨ 熱が下がったらサッカーをします。

### 34 ～たら（確定条件・時間）

駅に着いたら新聞を買います



→ P.45

#### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「朝です。男の人は会社へ行きます」。
- 2 左の絵を指し「男の人は家から駅まで歩いてきました。駅に着きました」。
- 3 右の絵を指し「男の人は新聞を買います」。
- 4 左の絵を指し「駅に着きました」。
- 5 右の絵を指し「新聞を買います」。
- 6 導入の文を提示する「駅に着いたら新聞を買います」。

#### 【例文】

- ① 12時になったら（昼）ごはんを食べます。
- ② 9時になったらテレビ（ニュース）を見ます。
- ③ ごはんを食べたら薬を飲みます。
- ④ エアコン（クーラー）をついたら窓を閉めます。
- ⑤ 家へ帰ったら手を洗います。
- ⑥ 電車に乗ったら本を読みます。
- ⑦ 30分泳いだら休みます。
- ⑧ 卒業したら結婚します。
- ⑨ お湯が沸いたらスパゲティ（パスタ）を入れます。



→ P.46

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「女の方は、お酒を飲んでいきます」。
- 2 とっくりを指し「たくさん飲んでいきます」。
- 3 女の方を指し「でも、だいじょうぶです」。
- 4 吹出しを指し「酔いません」。
- 5 女の方を指し「お酒を飲みます」。
- 6 吹出しを指し「酔いません」。
- 7 導入の文を提示する「お酒を飲んでも酔いません」。

## 【例文】

- ① スイッチを入れてもつきません。
- ② ダイエットしてもやせません。
- ③ 食べても太りません。
- ④ 落ちてても割れません。
- ⑤ 歯が痛くても歯医者（病院）へ行きません。
- ⑥ うるさくても寝られます。
- ⑦ こわくても見ます。
- ⑧ 雨でもジョギングをします（走ります）。
- ⑨ 先生でもわかりません。



→ P.47

## 【導入例】

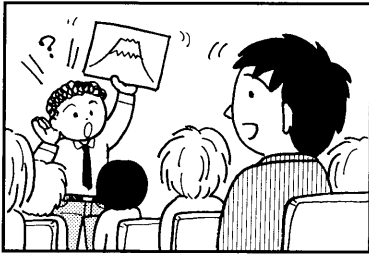
- 1 中央の男の方を指し「吉田さんです」。
- 2 右の男の方を指し「吉田さんの友だちです。ドイツから来ました」。
- 3 場面・状況を説明する「吉田さんは、友だちに本を借りました」。
- 4 吹出しを指し「ドイツ語で『ありがとう』と言いました」。
- 5 「吉田さんは、ドイツ語を勉強しています。だから、ドイツ語がわかります」。
- 6 導入の文を提示する「吉田さんはドイツ語が話せます」。



「話せます」「話すことができます」のどちらにも使用できる。

## 【例文】

- ① 漢字が書けます。
- ② 漢字が読めます。
- ③ ピアノが弾けます。
- ④ 自転車に乗れます（乗れました）。
- ⑤ 着物が着られます。
- ⑥ カードが使えます（カードで買えます）。
- ⑦ スケートができます。
- ⑧ 泳げます。
- ⑨ 寝られません。



→ P.48

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「学校です。教室で先生が絵を持っています。みんなに話しています」。
- 2 先生が持っている絵を指し「富士山の絵」。
- 3 後ろの学生を指し「富士山の絵を見えています」。
- 4 先生を指し「先生は」、後ろの学生を指し「学生に」、先生の?マークを指し「聞いています」。
- 5 先生全体を指し、導入の文を提示する「見えますか」。
- 6 後ろの学生を指し、首を縦にふる。導入の文を提示する「はい、見えます」。
- 7 先生を指し「先生は話しています」。
- 8 後ろの学生を指し「先生の話聞いています」。
- 9 先生を指し「先生は」、後ろの学生を指し「学生に」、先生の?マークを指し「聞いています」。
- 10 先生全体を指し、導入の文を提示する「聞こえますか」。
- 11 後ろの学生を指し、首を縦にふる。導入の文を提示する「はい、聞こえます」。



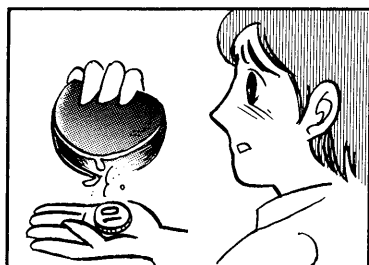
導入は質問と答えになっているが、例文はそうではないので、①の例文を提示して、学習者に理解してもらうとよい。

## 【例文】

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ① 海が見えます。           | ② 船が見えます。            |
| ③ (部屋の窓から) 電車が見えます。 | ④ (めがねがないと) よく見えません。 |
| ⑤ 前が(外)見えません。       | ⑥ 鳥の音が聞こえます。         |
| ⑦ 歌が聞こえます。          | ⑧ もしもし、聞こえますか。       |
| ⑨ 聞こえません。           |                      |

## 38 ～しか～ない

10円しかありません



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「男の人はお金があまりありません」。
- 2 10円玉を指し「10円。少ないです」。
- 3 さいふを指し「お金があまりありません」、10円玉を指し「10円。少ないです」。
- 4 導入の文を提示する「10円しかありません」。

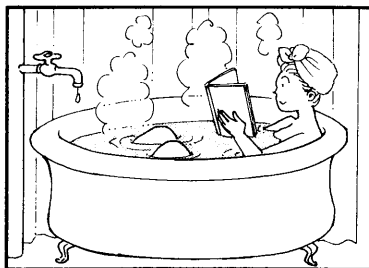
→ P.49

### 【例文】

- |                                                      |                                       |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| ① りんごしかありません。                                        | ② 1つしかありません。                          |
| ③ 1分 <small>ぶん</small> しかありません。                      | ④ (学生 <small>がくせい</small> ) 1人しかいません。 |
| ⑤ ミルク(牛乳 <small>ぎゅうにゅう</small> )しか飲みません。             | ⑥ 野菜 <small>やさい</small> しか食べません。      |
| ⑦ まんがしか読みません。                                        | ⑧ 子ども <small>こども</small> しか乗れません。     |
| ⑨ 女 <small>おんな</small> の人 <small>ひと</small> しか入れません。 |                                       |

## 39 ～ながら

本を読みながら(お)風呂に入ります



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「(お)風呂に入ります」。
- 2 本を指し「本を読みます」。
- 3 女の人を指し「(お)風呂に入ります」。
- 4 本と女の人を交互に指し「読みます。入ります」。
- 5 導入の文を提示する「本を読みながら(お)風呂に入ります」。

→ P.50



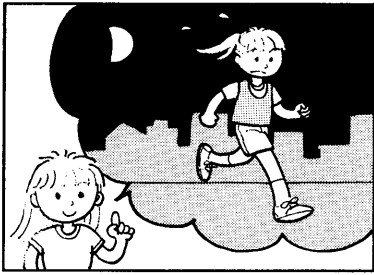
導入の文と例文①から⑥は前件と後件を入れ替えることが可能である。例えば、導入の文は「お風呂に入りながら本を読みます」。例文の⑦から⑨は入れ替えることはできない。導入の際、例文⑦、⑧、⑨は前件と後件の順序を入れ替えると不自然になることを学習者に伝える。

### 【例文】

- |                                                                          |                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| ① テレビを見ながら勉強 <small>べんきょう</small> します。                                   | ② ごはんを食べながら新聞 <small>しんぶん</small> を読みます。                                   |
| ③ 音楽 <small>おんがく</small> を聞きながらそうじをします。                                  | ④ ピアノを弾 <small>ひ</small> きながら歌 <small>うた</small> を歌 <small>うた</small> います。 |
| ⑤ 歌 <small>うた</small> を歌 <small>うた</small> いながら歩 <small>ある</small> きます。  | ⑥ ジュースを飲 <small>の</small> みながらテレビを見 <small>み</small> ます。                   |
| ⑦ 雑誌 <small>ざっし</small> を読 <small>よ</small> みながら待 <small>まち</small> ちます。 | ⑧ 泣 <small>な</small> きながら練 <small>れん</small> 習 <small>しゅう</small> します。     |
| ⑨ 寝 <small>ね</small> ながら本 <small>ほん</small> を読 <small>よ</small> みます。     |                                                                            |

## 40 ~ている (習慣)

夜、走っています



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「女の人が話しています」。
- 2 吹出しの背景を指し「夜です」。
- 3 吹出しの女の子を指し「いつも、走っています」。
- 4 吹出しの背景から女の子が走っている絵に指をすべらせ「夜です。走っています」。
- 5 導入の文を提示する「夜、走っています」。

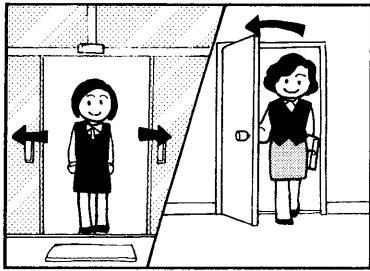
→ P.51

### 【例文】

- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| ① 夜、歯をみがいています。                | ② 朝、コーヒーを飲んでいます。 |
| ③ 朝、新聞を読んでいます。                | ④ 火曜日に病院へ行っています。 |
| ⑤ 土曜日にそうじをしています。              | ⑥ 日曜日に洗濯をしています。  |
| ⑦ バスで音楽を聞いています。               | ⑧ 電車で本を読んでいます。   |
| ⑨ 会社(仕事)でコンピュータ(パソコン)を使っています。 |                  |

## 41 自動詞・他動詞

ドアが開きます・ドアを開けます



→ P.52

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。左右の絵のドアを指し「ドアです」。
- 2 左の絵を指し、もう一度「ドアです」。
- 3 ドアの2つの矢印を指でなぞり、手をあげて何もしないことを示し「開きます」。
- 4 右の絵を指し、もう一度「ドアです」。
- 5 右の絵の女の子の手元を指し、ノブをもって開ける動作をしながら「開けます」。
- 6 左の絵を指し「開きます」。
- 7 右の絵を指し「開けます」。
- 8 左の絵を指し、導入の文を提示する「ドアが開きます」。
- 9 右の絵を指し、導入の文を提示する「ドアを開けます」。

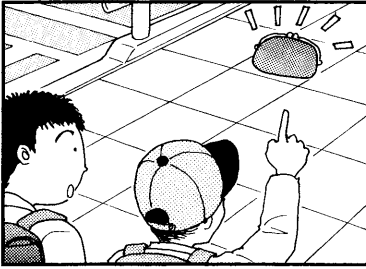
### 【例文】

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① ドアが閉まります。ドアを閉めます。   | ② 火が消えます。火を消します。      |
| ③ 電気がつきます。電気をつけます。    | ④ ボールが落ちます。ボールを落とします。 |
| ⑤ 猫が入ります。猫を入れます。      | ⑥ 魚が焼けます。魚を焼きます。      |
| ⑦ 男の人が立ちます。人形を立てます。   | ⑧ お客さんが並びます。写真を並べます。  |
| ⑨ テレビが壊れました。時計を壊しました。 |                       |



## 42 ~ている (結果)

さいふが落ちています



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「道です。子どもが歩いています」。
- 2 さいふを指し「さいふです」。
- 3 さいふを指し「落ちました。ずっとあります」。
- 4 子どもからさいふに指をすべらせ「みつけました」。
- 5 導入の文を提示する「さいふが落ちています」。

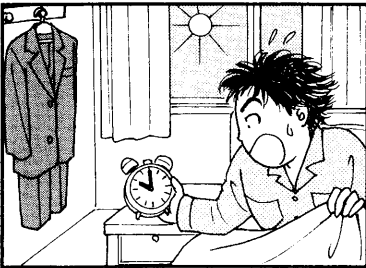
→ P.53

### 【例文】

- |                                                      |                                                   |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ① 鍵 <small>かぎ</small> が開 <small>あ</small> いています。     | ② コンサートが始 <small>はじ</small> まっています。               |
| ③ ボタンがとれてい <small>ま</small> います。                     | ④ 服 <small>ふく</small> が汚 <small>よご</small> れています。 |
| ⑤ レストランが閉 <small>と</small> まっています。                   | ⑥ 車 <small>くるま</small> がとまっています。                  |
| ⑦ テレビがついてい <small>ま</small> います。                     | ⑧ いすがぬれてい <small>ま</small> います。                   |
| ⑨ 電車 <small>でんしゃ</small> が遅 <small>おそ</small> れています。 |                                                   |

## 43 ~てしまう (後悔)

寝ぼうしてしまいました



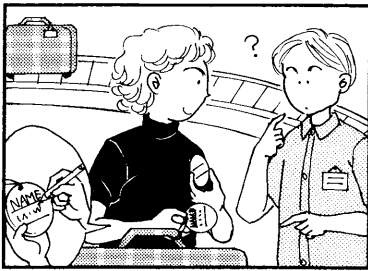
### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「朝です。10時です。男の人は今、起きました。仕事は9時からです」。
- 2 時計を指し「今、10時です。遅いです」。
- 4 男の人を指し「寝ぼうしました。大変です。困ります」。
- 5 導入の文を提示する「寝ぼうしてしまいました」。

→ P.54

### 【例文】

- |                                         |                                                         |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| ① グラスを割 <small>わ</small> ってしまいました。      | ② さいふをなくしてしまいました。                                       |
| ③ めがねを忘 <small>わす</small> れてしまいました。     | ④ ケーキを(たくさん)食 <small>た</small> べてしまいました。                |
| ⑤ ボールを落 <small>お</small> としてしまいました。     | ⑥ 指 <small>ゆび</small> を切 <small>き</small> ってしまいました。     |
| ⑦ コンピュータを壊 <small>こわ</small> してしまいました。  | ⑧ (小)鳥 <small>こどり</small> が逃 <small>に</small> げてしまいました。 |
| ⑨ 怒 <small>おこ</small> られて(しかられて)しまいました。 |                                                         |



→ P.55

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「空港です。スーツケースが出てきます」。
- 2 左上のスーツケースと下のスーツケースを指し「同じです」。
- 3 右の男の人を指し「これは私のスーツケースですか」。
- 4 左の男の人の名札とスーツケースの名札を指し「いいえ、これは私のです」。スーツケースの名札に名前を書いている吹出しを指し「名前を書きました」。
- 5 導入の文を提示する「名前が書いてあります」。

### 【例文】

- |                                            |                                                 |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| ① フォークが並 <sup>なら</sup> べてあります。             | ② ケーキが置 <sup>お</sup> いてあります。                    |
| ③ ワインが冷 <sup>ひ</sup> やしてあります。              | ④ パスポートが入 <sup>い</sup> れてあります。                  |
| ⑤ そうじがし <sup>し</sup> てあります。                | ⑥ チケット（切 <sup>き</sup> 符）が買 <sup>か</sup> ってあります。 |
| ⑦ 窓 <sup>まど</sup> が閉 <sup>し</sup> めてあります。  | ⑧ 窓 <sup>まど</sup> が開 <sup>あ</sup> けてあります。       |
| ⑨ 魚 <sup>さかな</sup> が切 <sup>き</sup> ってあります。 |                                                 |



→ P.56

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「ここは会社です」。
- 2 左の吹出しを指し「12時から会議があります。会議ではごはんが食べられません」。
- 3 右の時計を指し「今、11時半です」、サンドイッチを食べている女の人を指し「もう、ごはんを食べています」。
- 4 吹出しを指し「12時から会議です」、食べている女の人を指し「そのまえに、ごはんを食べます」。
- 5 導入の文を提示する「会議のまえに、ごはんを食べておきます」。



「会議のまえに」は学習者にとって難しいようなら、省いてもよい。

## 【例文】

- ① (会議のまえに) コピーをして (とって) おきます。
- ② (旅行へ行くまえに) チケット (切符) を買って おきます。
- ③ (旅行へ行くまえに) ホテルを予約 (ホテルに電話) して おきます。
- ④ (バスに乗るまえに) 薬を飲んで おきます。
- ⑤ (国へ帰るまえに) 電話をかけて おきます。
- ⑥ (子どもが帰ってくるまえに) 部屋をそうじして おきます。
- ⑦ (ジュースを飲むまえに) ジュースを冷やして (入れて) おきます。
- ⑧ (テストのまえに) 勉強して おきます。
- ⑨ (デートのまえに) 歯をみがいて おきます。

## 46 ～たほうがいい

部屋をそうじしたほうがいいです



### 【導入例】

- 1 左の絵を指し、場面・状況を説明する「とても汚い部屋です」。
- 2 右の絵を指し「部屋をそうじしました。きれいです」。
- 3 左から右の絵に指をすべらせながら「こちらがいいです」。
- 4 左の絵から右の絵に指をすべらせながら導入の文を提示する「部屋をそうじしたほうがいいです」。

→ P.57

### 【例文】

- ① 窓を閉めたほうがいいです。
- ② 電気をつけたほうがいいです。
- ③ 電話をかけた（した）ほうがいいです。
- ④ めがねをかけたほうがいいです。
- ⑤ 火を消したほうがいいです。
- ⑥ 水をやった（あげた）ほうがいいです。
- ⑦ 髪を切ったほうがいいです。
- ⑧ 病院へ行ったほうがいいです。
- ⑨ 先生に聞いたほうがいいです。

## 47 ～かもしれません

病院へ行くかもしれません



### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「この人は今、頭が痛いです。これから、どうするでしょうか」。
- 2 可能性をいくつかあげる「病院へ行きますか」「家で寝ますか」。
- 3 導入の文を提示する「病院へ行くかもしれません。病院へ行かないかもしれません。家で薬を飲むかもしれません」。

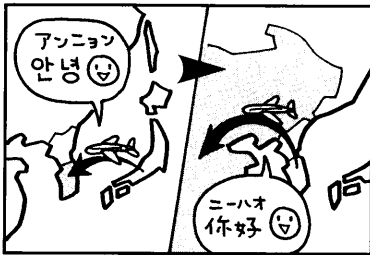
→ P.58



導入の前に、体調が悪い場合、自分ならどうするかを話し合い、「病院へ行きます」などの形を出してから、それに対比させて導入すると、他人の状況を推測していることがより明確になる。

### 【例文】

- ① 魚かもしれません。
- ② 病気かもしれません。
- ③ 猫かもしれません。
- ④ 遅刻するかもしれません。
- ⑤ 雨が降るかもしれません。
- ⑥ 友だちが来たかもしれません。
- ⑦ さいふを落としたかもしれません。
- ⑧ 小さいかもしれません。
- ⑨ きらいかもしれません。



→ P.59

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。左の絵の韓国を指し「韓国」、右の絵の中国を指し「中国」。飛行機を指し「旅行しました」。
- 2 左の絵を指し「韓国へ行きました」、右の絵を指し「中国へ行きました」。
- 3 指を1本たて、左の絵を指し「韓国へ行きました」、矢印を指し「あとで」、指を2本たて、右の絵を指し「中国へ行きました」。
- 4 左の絵から矢印、矢印から右の絵へ指をすべらせながら、導入の文を提示する「韓国へ行ったあとで中国へ行きました」。

## 【例文】

- ① ひらがなを勉強したあとでカタカナを勉強しました。
- ② ごはんを食べたあとでコーヒー（紅茶）を飲みました。
- ③ コンサートに行った（歌を聞いた）あとでCDを買いました。
- ④ 映画を見たあとで本を読みました。
- ⑤ お酒を飲んだあとで歌を歌いました（カラオケをしました）。
- ⑥ テレビを見たあとで電話をしました（かけました）。
- ⑦ （お）風呂に入ったあとでアイスクリームを食べました。
- ⑧ 子どもが寝たあとでお酒を飲みました。
- ⑨ みんな（友だち）が帰ったあとでそうじをしました（片付けました）。



→ P.60

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「明日、テストがあるので、勉強しています。とても大切なテストです」。
- 2 吹出しの絵を指し「だから寝ません」。
- 3 勉強している絵を指し「朝まで勉強します」。
- 4 もう一度、吹出しを指し「寝ません」、吹出しから指をすべらせ、勉強している絵を指し「勉強します」。
- 5 4の動作を繰り返しながら導入の文を提示する「寝ないで勉強します」。

## 【例文】

- ① 砂糖を入れないでコーヒーを飲みます。 ② 電気を消さないで寝ます。
- ③ 辞書を見ないで新聞を読みます。 ④ (朝)ごはんを食べないで会社へ行きます。
- ⑤ 手を洗わないでサンドイッチ (パン) を食べます。
- ⑥ 座らないで食べます。 ⑦ テレビを見ないで勉強します。
- ⑧ 靴をはかないで走ります。 ⑨ バスに乗らないで歩きます (行きます)。



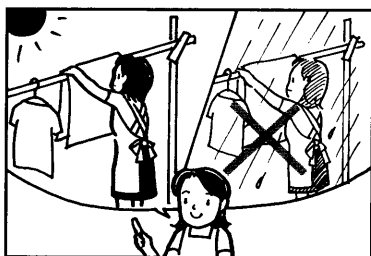
→ P.61

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「男の人は風邪をひいています」。
- 2 男の人を指し「風邪を治したいです。薬を飲みます」。
- 3 吹出しを指し「元気になります。風邪が治ります」。
- 4 男の人を指し「薬を飲みます」。
- 5 吹出しを指し「風邪が治ります」。
- 6 導入の文を提示する「薬を飲めば風邪が治ります」。

## 【例文】

- ① 洗濯すればきれいになります。
- ② (つまみを) 左に回せば音が小さくなります。
- ③ エアコン (クーラー) をつければ涼しくなります。
- ④ (ボタンを) 押せばお湯が出ます。
- ⑤ (レバーを) 踏めば開きます。
- ⑥ 上にあげれば水が出ます。
- ⑦ 安ければ (コンピュータ [パソコン] を) 買います (買えます)。
- ⑧ めがねをかければ見えます (読めます)。
- ⑨ めがねをかけなければ見えません (読めません)。



→ P.62

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「女の人は明日、洗濯をします」。
- 2 吹出しの左を指し「明日は、いい天気でしょうか」、吹出しの右を指し「雨でしょうか、まだわかりません」。まん中の女の人を指し「考えます」。
- 3 吹出しの左を指し「いい天気です。洗濯をします」。
- 4 吹出しの右を指し「雨です。洗濯をしません」。
- 5 吹出しの左を指し「いい天気です。洗濯をします」。
- 6 導入の文を提示する「いい天気なら洗濯をします」。

## 【例文】

- ① 雨なら洗濯をしません。
- ② 1個なら80円です。
- ③ 3個なら200円です。
- ④ (お)すしならお茶を飲みます。
- ⑤ ハンバーガーならジュースを飲みます。
- ⑥ ケーキならコーヒーを飲みます。
- ⑦ 新幹線なら (大阪から東京まで) 3時間です。
- ⑧ 飛行機なら (大阪から東京まで) 1時間です。
- ⑨ バスなら (大阪から東京まで) 8時間20分です。



→ P.63

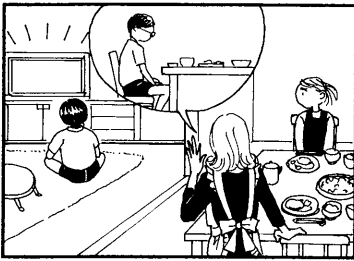
## 【導入例】

- 1 左の絵を使って場面・状況を説明する「日本へ行きます」。
- 2 左の絵のめがねの男の人を指し「日本人です」、隣の男の人を指し「日本人ではありません」。
- 3 左の絵の2人を指し「日本語で話したかったです」、吹出しの×を指し「日本語が話せませんでした」。
- 4 右の絵の外国人の男の人を指し「日本で日本語を勉強しました」、吹出しの○を指し「今、日本語が話せます」。
- 5 左の絵の×を指し「前は日本語が話せませんでした」、右の絵の○を指し「今は日本語が話せます」。
- 6 左の絵、矢印、右の絵へ指をすべらせながら導入の文を提示する「日本語が話せるようになりました」。

## 【例文】

- ① 日本語の新聞が読めるようになりました。
- ② (お) すしが食べられるようになりました。
- ③ はしが使えるようになりました。
- ④ 泳げるようになりました。
- ⑤ 料理ができる (作れる) ようになりました。
- ⑥ 歌えるようになりました。
- ⑦ 携帯電話を持つようになりました。(携帯電話で電話するようになりました。)
- ⑧ そうじをするようになりました。
- ⑨ 友だちと遊ぶようになりました。





→ P.64

## 【導入例】

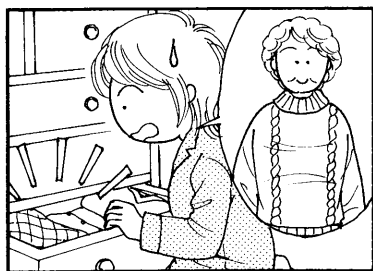
- 1 場面・状況を説明する「ひろし君です。ここは、ひろし君の家です。ひろし君のお母さんと妹です。これから、みんなで、ごはんを食べます」。
- 2 ひろし君を指し「ひろし君はテレビを見ています」。
- 3 妹を指し「みんな、ひろし君を待っています」。
- 4 吹出しを指し「お母さんはひろし君を呼びました」。
- 5 導入の文を提示する「ひろし君はお母さんに呼ばれました」。



過去形の「呼ばれました」で導入している。学習者が混乱しないよう4で説明するときも、「呼びます」ではなく「呼びました」を使う。

## 【例文】

- ① ひろし君は<sup>くん</sup>お母<sup>かあ</sup>さんに<sup>おこ</sup>しられました (怒られました)。
- ② ひろし君は<sup>くん</sup>お母<sup>かあ</sup>さんに<sup>おほ</sup>められました。
- ③ ひろし君は<sup>ねこ</sup>猫に<sup>おこ</sup>こされました。
- ④ ひろし君は<sup>とも</sup>友だち (みんな) に<sup>み</sup>見られました。
- ⑤ ひろし君は<sup>とも</sup>友だち (みんな) に<sup>わら</sup>われました。
- ⑥ ひろし君は<sup>いぬ</sup>妹に<sup>お</sup>押されました。
- ⑦ ひろし君は<sup>いぬ</sup>犬にか<sup>お</sup>まれました。
- ⑧ ひろし君は<sup>いぬ</sup>妹に<sup>たたか</sup>たかれました。
- ⑨ ひろし君は<sup>じてんしゃ</sup>自転車に<sup>ひか</sup>かれました。



→ P.65

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「えりさんです。えりさんの部屋です。えりさんのお母さんです」。
- 2 タンスの引出しを指し「えりさんはセーターが着たいです。でも、セーターがありません」。
- 3 吹出しを指し「これは、えりさんのセーターです。お母さんはえりさんのセーターを着ました」。
- 4 導入の文を提示する「えりさんはお母さんにセーターを着られました」。



過去形の「着られました」で導入している。学習者が混乱しないよう3で説明するときも、「着ます」ではなく「着ました」を使う。

【例文】では「えりさん」の、お父さんも登場する。必要に応じて練習の前に登場人物を説明するとよい。

## 【例文】

- ① えりさんはお母さんに靴をはかれました (はいていかれました)。
- ② えりさんはお父さんにケーキを食べられました。
- ③ えりさんは犬にかばんをかまれました。
- ④ えりさんはお父さんにワインを飲まれました。
- ⑤ えりさんはお母さんに手紙を読まれました。
- ⑥ えりさんはお父さんにカップを割られました。
- ⑦ えりさんは犬に(携帯)電話を壊されました。
- ⑧ えりさんはさるに帽子をとられました。
- ⑨ えりさんは犬にスカートを汚されました。



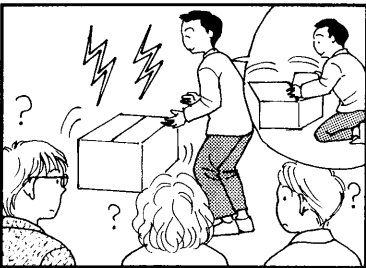
→ P.66

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「風邪です。熱があります」。
- 2 吹出しを指し「仕事があります。でも、休みました」。
- 3 寝ている男の人を指し「風邪で」。
- 4 吹出しを指し「仕事を休みました」。
- 5 導入の文を提示する「風邪で仕事を休みました」。

## 【例文】

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| ① 薬で風邪が治りました。      | ② お酒で頭が痛いです。    |
| ③ コンピュータで目が痛いです。   | ④ スキーで怪我をしました。  |
| ⑤ 仕事で疲れました。        | ⑥ 雨でサッカーができません。 |
| ⑦ 音楽で聞こえません。       | ⑧ 風で傘が壊れました。    |
| ⑨ 故障でエレベーターに乗れません。 |                 |



→ P.67

## 【導入例】

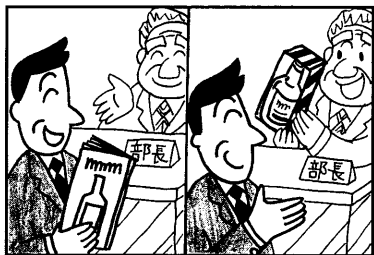
- 1 場面・状況を説明する「箱があります。動いています。みんなが見ています」。
- 2 男の人を指し「何が入っていますか」。
- 3 男の人を指し「ちょっと開けます」。
- 4 男の人を指し「男の人が」、箱を指し「開けます」。
- 5 導入の文を提示する「箱を開けてみます」。

## 【例文】

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| ① 水を飲んでみます。         | ② 料理を食べてみます。  |
| ③ ワンピース (服) を着てみます。 | ④ 靴をはいてみます。   |
| ⑤ 帽子をかぶってみます。       | ⑥ めがねをかけてみます。 |
| ⑦ いすに座ってみます。        | ⑧ ベッドに寝てみます。  |
| ⑨ ケーキを作ってみます。       |               |

## 57 さしあげる・いただく

山田さんは部長にワインをさしあげました・  
山田さんは部長に本をいただきました



→ P.68

### 【導入例】

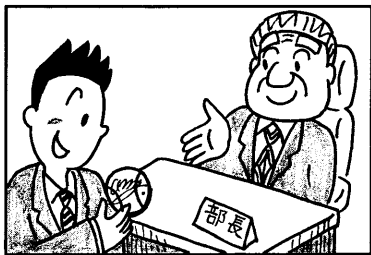
- 1 場面・状況を説明する。両方の絵の左の男の人を指し「山田さん」、右の男の人を指し「部長」。部長を指し「部長は」、山田さんを指し「山田さんの上司です。山田さんより偉いです」。
- 2 部長を指し「部長と」、山田さんを指し「山田さんは」、ワインとワインの本を指し「ワインが好きです」。
- 3 右の絵全体を指してから、ワインを指し「ワイン」、山田さんから部長へと指をすべらせながら「さしあげました」。
- 4 山田さんを指し「山田さん」、部長を指し「部長」、ワインを指し「ワイン」、指を山田さんから部長にすべらせながら「さしあげました」。
- 5 4と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「山田さんは部長にワインをさしあげました」。
- 6 左の絵全体を指してから、本を指し「本」、部長から山田さんへと指をすべらせながら「いただきました」。
- 7 山田さんを指し「山田さん」、部長を指し「部長」、本を指し「本」、指を部長から山田さんにすべらせながら「いただきました」。
- 8 7と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「山田さんは部長に本をいただきました」。



ここではやりとりが終わったものとして、全て過去形にしている。「さしあげる」と「いただく」を一緒に導入すると混乱しそうな場合は、分ける。太い線の人物を主格にして文を作るように指示する。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

### 【例文】

- ① 山田さんは部長にワインをいただきました。
- ② 山田さんは部長にメロンをさしあげました。
- ③ 山田さんは部長に映画のチケット（切符）をいただきました。
- ④ 山田さんは部長にコーヒーをさしあげました。
- ⑤ 山田さんは部長にはがき（年賀状）をいただきました。
- ⑥ 山田さんは部長にカレンダーをいただきました。
- ⑦ 学生は先生にペンをいただきました。
- ⑧ 学生は先生に花をさしあげました。
- ⑨ 学生は先生に手紙をいただきました。



→ P.69

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する。左の男の人を指し「私」、右の男の人を指し「部長」。部長を指し「部長は」、私を指し「私の上司です。私より偉いです」。
- 2 私を指し「私は野球が大好きです」。部長を指し「部長は私が野球が好きだということを知っています」。
- 3 ボールを指し「サインボール。有名な野球選手が名前をボールに書きました」。
- 4 ボールを指し「ボール」、部長から私へ指をすべらせて「くださいました」。
- 5 部長を指し「部長」、私を指し「私」、ボールを指し「ボール」、指を部長から私にすべらせながら「くださいました」。
- 6 5と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「部長は私にボールをくださいました」。
- 7 私を指し「私」、部長を指し「部長」、ボールを指し「ボール」、指を部長から私にすべらせながら「いただきました」。
- 8 7と同じ動作をしながら、導入の文を提示する「私は部長にボールをいただきました」。

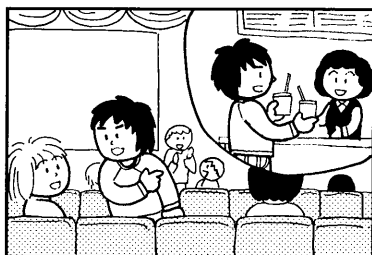


ここではやりとりが終わったものとして、全て過去形にしている。「くださる」と「いただく」を一緒に導入すると混乱しそうな場合は、分ける。③に先輩の山田が登場するので、①②が終わった時点で山田の説明をするか、練習に入る前に③の山田の立場を説明する。

太い線の人物を主格にして文を作るように指示すると、主格により動詞のどちらを使えばよいか学習者に判断させられる。線の太さがわかりにくければ、矢印をつけてもよい。

## 【例文】

- ① 部長は私に帽子をくださいました。
- ② 私は部長に帽子をいただきました。
- ③ 山田さんは私にネクタイをくださいました。
- ④ 私は山田さんにネクタイをいただきました。
- ⑤ 私は部長にコーヒーをいただきました。
- ⑥ 山田さんは私に本をくださいました。
- ⑦ 私は山田さんに切手をいただきました。
- ⑧ 部長は私に写真をくださいました。
- ⑨ 私は山田さんにサンドイッチをいただきました。



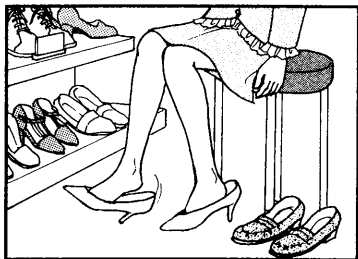
→ P.70

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「映画館です。今から女の人と男の人が映画を見ます。2人はジュースが飲みたいです」。
- 2 男の人を指し「男の人が」、ジュース売り場を指し「ジュースを買います」。
- 3 ジュース売り場から元の座席に指をすべらせながら「きます」。
- 4 座席からジュース売り場まで指をすべらせ、ジュース売り場を指し「ジュースを買って」、そのまま指を座席に戻しながら「きます」。
- 5 導入の文を提示する「ジュースを買ってきます」。

## 【例文】

- ① 窓<sup>まど</sup>を閉<sup>し</sup>めてきます。
- ② 傘<sup>かさ</sup>をとってきます。
- ③ (昼<sup>ひる</sup>) ごはんを食<sup>た</sup>べてきます。
- ④ 手紙<sup>てがみ</sup>を出<sup>だ</sup>してきます。
- ⑤ 手<sup>て</sup>を洗<sup>あら</sup>ってきます。
- ⑥ 水<sup>みず</sup>を持<sup>も</sup>ってきます。
- ⑦ カン(ごみ)を捨<sup>す</sup>ててきます。
- ⑧ (象<sup>ぞう</sup>) の写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を撮<sup>と</sup>ってきます。
- ⑨ 地図<sup>ちず</sup>を見<sup>み</sup>てきます。



→ P.71

## 【導入例】

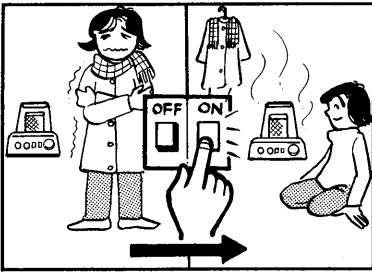
- 1 場面・状況を説明する「靴屋です。女の方は靴が買いたいです。靴をはいています」。
- 2 かか<sup>かか</sup>とを指し「この靴は大きいです」。
- 3 落ちそうになっている靴を指し「この靴はとても大きいです。だめです」。
- 4 導入の文を提示する「この靴は大きすぎます」。

## 【例文】

- ① この自<sup>じてんしゃ</sup>転<sup>たか</sup>車<sup>か</sup>は高<sup>たか</sup>すぎます。
- ② この鉛<sup>えんぴつ</sup>筆<sup>みじか</sup>は短<sup>みじか</sup>すぎます。
- ③ このか<sup>か</sup>ば<sup>ば</sup>んは小<sup>ちい</sup>さすぎます。
- ④ この(お)風<sup>ふう</sup>呂<sup>ろ</sup>は熱<sup>あつ</sup>すぎます。
- ⑤ この道<sup>みち</sup>は狭<sup>せま</sup>すぎます。
- ⑥ この試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>は簡<sup>かん</sup>単<sup>たん</sup>すぎます。
- ⑦ (この男<sup>おとこ</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>)はご<sup>ご</sup>は<sup>は</sup>んを食<sup>た</sup>べ<sup>べ</sup>す<sup>す</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>ま<sup>ま</sup>す。
- ⑧ (この男<sup>おとこ</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>)はビ<sup>び</sup>ール<sup>る</sup>を飲<sup>の</sup>み<sup>み</sup>過<sup>か</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>ま<sup>ま</sup>す。
- ⑨ (この男<sup>おとこ</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>)はた<sup>た</sup>ば<sup>ば</sup>こ<sup>こ</sup>を吸<sup>す</sup>い<sup>い</sup>す<sup>す</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>ま<sup>ま</sup>す。

## 61 ～くする・～にする

部屋を暖かくします



→ P.72

### 【導入例】

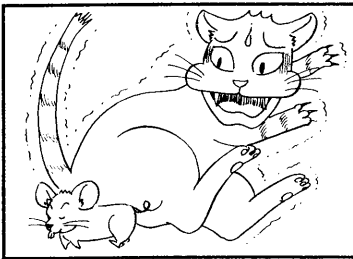
- 1 左の絵を指して場面・状況を説明する「今、冬です。家へ帰りました。寒いです」。
- 2 矢印を指でなぞり「します」と言ってから、スイッチの絵の上でスイッチを入れるように指を動かす。
- 3 右の絵を指し「暖かいです」。
- 4 もう一度左の絵を指し「寒いです」。
- 5 スwitchの絵を指し「します」。
- 6 右の絵を指し「暖かいです」。
- 7 スwitchの絵を指し「暖かく」、一連の続き動作として右の絵を指し「します」。
- 8 導入の文を提示する「部屋を暖かくします」。

### 【例文】

- ① 部屋を明るくします。
- ② ズボンを短くします。
- ③ 音を大きくします。
- ④ 手をきれいにします。
- ⑤ 絵をまっすぐにします。
- ⑥ 川を安全にします。
- ⑦ 子どもを医者にします。
- ⑧ くだものをジュースにします。
- ⑨ ソファをベッドにします。

## 62 ～のに

猫なのにねずみがこわいです



→ P.73

### 【導入例】

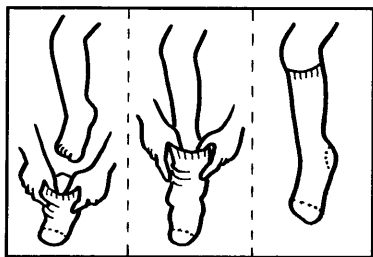
- 1 場面・状況を説明する。猫を指し「猫」、ねずみを指し「ねずみ」。猫を指し「猫はねずみより大きいです。強いです」。
- 2 猫を指し「でも、この猫は」、ねずみを指し「ねずみが」、猫全体を指し「こわいです」。
- 3 2の動作を繰り返しながら導入文を提示する「猫なのにねずみがこわいです」。

### 【例文】

- ① 自転車なのに速いです。
- ② 日曜日なのに仕事をします (しています)。
- ③ 歌手なのに歌が下手です。
- ④ 寒いのに泳いでいます (泳ぎます)。
- ⑤ 汚いのにそうじをしません。
- ⑥ 高い (1万円な) のにおいしくありません。
- ⑦ 勉強したのにできません (わかりません)。
- ⑧ 薬を飲んだのに治りません。
- ⑨ 洗濯したのにきれいじゃありません (きれいになりません)。

## 63 ~ところだ

靴下をはくところ です ・ 靴下をはいているところ です ・ 靴下をはいたところ です



→ P.74

### 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「靴下をはいています」。
- 2 左の絵を指し「今から、靴下をはきます」。
- 3 導入の文を提示する「靴下をはくところ です」。
- 4 まん中を指し「今、靴下をはいています」。
- 5 導入の文を提示する「靴下をはいているところ です」。
- 6 右を指し「ちょうど今、靴下をはきました」。
- 7 導入の文を提示する「靴下をはいたところ です」。

### 【例文】

- ① 髪<sup>かみ</sup>を切るところです。
- ② 髪<sup>かみ</sup>を切っているところです。
- ③ 髪<sup>かみ</sup>を切ったところです。
- ④ 学校<sup>がっこう</sup>へ行くところです。
- ⑤ テレビ（サッカーの試合）<sup>しあい</sup>を見ているところです。
- ⑥ ジュースを飲んだところです。
- ⑦ 料理<sup>りょうり</sup>をしている（作<sup>つく</sup>っている）ところです。（野菜<sup>やさい</sup>を切<sup>き</sup>っているところです。）
- ⑧ カレー（ごはん）<sup>た</sup>を食べるところです。
- ⑨ お皿<sup>さら</sup>を洗<sup>あら</sup>ったところです。

## 64 ~ようだ（状況からの判断）

風邪をひいたようです



### 【導入例】

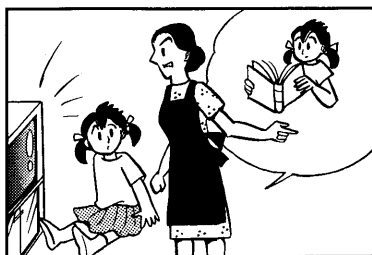
- 1 場面・状況を説明する「男の人は寒いです」。
- 2 男の人を指し「男の人は考えます。寒いです。風邪をひいたでしょうか」。
- 3 うなずきながら「風邪をひいたと思います」。
- 4 導入の文を提示する「風邪をひいたようです」。

→ P.75

### 【例文】

- ① ミルクがほしいようです。（おなかがすいたようです。）
- ② きらいな（おいしくない・食<sup>た</sup>べたくない）ようです。
- ③ 寝<sup>ね</sup>たようです。
- ④ 辛<sup>から</sup>いようです。
- ⑤ さいふを落<sup>お</sup>としたようです。
- ⑥ 雨<sup>あめ</sup>だった（雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>った）ようです。
- ⑦ カレー（ライス）のようです。
- ⑧ 誰<sup>だれ</sup>もいない（留守<sup>るす</sup>の）ようです。
- ⑨ 違<sup>ちが</sup>う人（別<sup>べつ</sup>の人）のようです。





→ P.76

## 【導入例】

- 1 場面・状況を説明する「かなさんです。かなさんの家です。かなさんのお母さんです」。
- 2 かなさんを指し「かなさんはテレビを見ています」。
- 3 お母さんを指し「お母さんは」、吹出しを指し「かなさんが本を読まなければならないと思っています」。
- 4 かなさんを指し「でも、かなさんは本を読みたくありません。テレビが見たいです」。
- 5 吹出しを指し「でも、お母さんは、かなさんに『本を読みなさい』と言います。かなさんは、本を読みます」。
- 6 導入の文を提示する「お母さんはかなさんに本を読ませます」。



⑦～⑨は「かなさんに」ではなく「かなさんを」となる。学習者が混乱しそうな場合、練習の前に説明するとよい。【例文】では「かなさん」のお父さんも登場する。必要に応じて練習の前に登場人物を説明するとよい。

## 【例文】

- ① お母さんはかなさんにそうじをさせます。
- ② お父さんはかなさんに魚を食べさせます。
- ③ お母さんはかなさんに薬を飲ませます。
- ④ お父さんはかなさんにコートを着させます。
- ⑤ お母さんはかなさんに手を洗わせます。
- ⑥ お母さんはかなさんに歯をみがかせます。
- ⑦ お母さんはかなさんを寝させます。
- ⑧ お父さんはかなさんを歯医者（病院）へ行かせます。
- ⑨ お父さんはかなさんを笑わせます。

# 索引

イラスト編 導入・  
例文編

## ■あ

あげる・もらう	林さんは山田さんにプレゼントをあげました・…	40…	96
	山田さんは林さんにプレゼントをもらいました		
～(た)あとで	韓国へ行ったあとで中国へ行きました……………	59…	109
～(が)いちばん	メロンがいちばん高いです……………	20…	83
～(に)～(が)いる・ある	動物園にライオンがいます……………	19…	82
受身(直接)	ひろし君はお母さんに呼ばれました……………	64…	113
受身(持ち主)	えりさんはお母さんにセーターを着られました…	65…	114

## ■か

～がいちばん	メロンがいちばん高いです……………	20…	83
～かもしれません	病院へ行くかもしれません……………	58…	108
～から～まで	学校は9時から3時までです……………	13…	78
～くする・～にする	部屋を暖かくします……………	72…	119
～(を)ください	ジュースをください……………	12…	78
くださる・いただく	部長は私にボールをくださいました・……………	69…	117
	私は部長にボールをいただきました		
～くて・～で	このかばんは大きくて黒いです……………	30…	90
～くなる・～になる	髪が長くなります……………	36…	94
くれる・もらう	林さんは私に犬をくれました・……………	41…	97
	私は林さんに犬をもらいました		
～ことができる・可能	吉田さんはドイツ語が話せます……………	47…	101

## ■さ

さしあげる・いただく	山田さんは部長にワインをさしあげました・……………	68…	116
	山田さんは部長に本をいただきました		
使役	お母さんはかなさんに本を読ませます……………	76…	121
～しか～ない	10円しかありません……………	49…	103
自動詞・他動詞	ドアが開きます・ドアを開けます……………	52…	104
～しに	喫茶店へコーヒーを飲みに行きます……………	23…	85
～すぎる	この靴は大きすぎます……………	71…	118

## ■た

～たあとで	韓国へ行ったあとで中国へ行きました……………	59…	109
～たい	ごはんが食べたいです……………	22…	85
～たとき	日本へ来たとき、漢字がわかりませんでした……………	39…	95
～たほうがいい	部屋をそうじしたほうがいいです……………	57…	108

～たら (仮定条件)	1 週間、休みがあったら海へ行きます ……	44… 100
～たら (確定条件・時間)	駅に着いたら新聞を買います ……	45… 100
～たり～たり	日曜日にそうじをしたり洗濯をしたりします ……	35… 93
～て (接続)	顔を洗って歯をみがきます ……	28… 88
～で (原因・理由)	風邪で仕事を休みました ……	66… 115
～で (手段・道具)	鉛筆で名前を書きます ……	14… 79
～てあげる・～てもらう	林さんは上田さんにスキーを教えてあげました・ 上田さんは林さんにスキーを教えてもらいました	42… 98
～である	名前が書いてあります ……	55… 106
～ている (結果)	さいふが落ちています ……	53… 105
～ている (習慣)	夜、走っています ……	51… 104
～ている (進行)	ごはんを食べています ……	25… 86
～ておく	(会議のまえに) ごはんを食べておきます ……	56… 107
～てから	写真を見てから会います ……	29… 89
～てください	窓を開けてください ……	24… 86
～てくる	ジュースを買ってきます ……	70… 118
～てくれる・～てもらう	林さんは料理を作ってくれました・ 林さんに料理を作ってもらいました	43… 99
～てしまう (後悔)	寝ぼうしてしまいました ……	54… 105
～てはいけない	車をとめてはいけません ……	27… 87
～てみる	箱を開けてみます ……	67… 115
～ても	お酒を飲んでも酔いません ……	46… 101
～てもいい	電話を使ってもいいですか ……	26… 87
～と (一般条件・反復条件)	春になると花が咲きます ……	38… 95
～とき	ごはんを食べるとき、はしを使います ……	37… 94
～(た)とき	日本へ来たとき、漢字がわかりませんでした ……	39… 95
～ところだ	靴下をはくところです・靴下をはいているところです・ 靴下をはいたところです ……	74… 120

## ■ な

～ないでください	辞書を見ないでください ……	31… 90
～ないで～する	寝ないで勉強します ……	60… 110
～ながら	本を読みながら (お)風呂に入ります ……	50… 103
～なくてもいい	傘をささなくてもいいです ……	33… 91
～なければならぬ	5時に起きなければなりません ……	32… 91
～なら (仮定条件)	いい天気なら洗濯をします ……	62… 111
～に～がいる・ある	動物園にライオンがいます ……	19… 82
～のに	猫なのにねずみがこわいです ……	73… 119

## ■ は

～は～が	私は髪が長いです……………	18… 82
～ば (一般条件・仮定条件)	薬を飲めば風邪が治ります……………	61… 110

## ■ ま

～(る)まえに	ごはんを食べるまえに手を洗います……………	34… 92
～ましょう	バスに乗りましょう……………	16… 80
～ませんか	コーヒーを飲みませんか……………	15… 79
見える・聞こえる	見えますか・聞こえますか……………	48… 102
もう・まだ	もう名前を書きましたか・いいえ、まだです……………	17… 81

## ■ や

～ようだ (状況からの判断)	風邪をひいたようです……………	75… 120
～ようになる	日本語が話せるようになりました……………	63… 112
～より～のほうが	バナナよりりんごのほうが高いです……………	21… 84

## ■ ろ

～るまえに	ごはんを食べるまえに手を洗います……………	34… 92
-------	-----------------------	--------

## ■ わ

～をください	ジュースをください……………	12… 78
--------	----------------	--------

なまえ  
名前： \_\_\_\_\_

え み ぶん か  
絵を見て文を書きましょう。

①

\_\_\_\_\_

②

\_\_\_\_\_

③

\_\_\_\_\_

④

\_\_\_\_\_

⑤

\_\_\_\_\_

⑥

\_\_\_\_\_

⑦

\_\_\_\_\_

⑧

\_\_\_\_\_

⑨

\_\_\_\_\_

---

## 執筆者

足立 章子 (担当項目 2、6、7、8、10、18、23、24、29、30、37、45、46、  
48、49、52、57、58、60、62、64)  
梅田 康子 (担当項目 14、17、19、31、32、36、47)  
亀田 仁 (担当項目 28、41、55)  
齋藤 伸子 (担当項目 3、11、12、26、38、61)  
斉藤 祐美 (担当項目 1、4、5、13、15、16、20、21、22、27、33、34、35、  
43、50、51、53、54、59、63、65)  
鶴田 優 (担当項目 9、25、39、40、42、44、56)

## イラスト

おおつじ こゆき  
吉良 ゆう子  
野口 紀子  
野島 朋子  
藤井 桂  
松浦 多恵子  
松田 陽子  
山崎 敦子  
山本 稔子

## 装幀・CDデザイン

谷中 賢人

## 編集

原川 妙子 (凡人社)

---

# 絵で導入・絵で練習

2004年10月22日 初版1刷発行

2009年7月22日 初版3刷発行

著 者 足立章子・梅田康子・亀田 仁  
齋藤伸子・斉藤祐美・鶴田 優

発 行 株式会社 凡人社  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13  
電話 03-3263-3959

C D 製作 爽美録音株式会社

印刷・製本 倉敷印刷株式会社

©2004 Akiko Atachi, Yasuko Umeda, Hitoshi Kameda, Nobuko Saito, Yumi Saito, Suguru Tsuruta  
Printed in Japan

---

\*本書およびCD-ROMにおける著作権の扱いについて

著作権者と出版者との契約により、本書およびCD-ROMを所有している方は、営利を目的とする場合を除き、  
掲載されているすべての図案を自由に複写・複製することができます。